

**大学番号：011**

**認可**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズキ</small> 木 千 敏 <small>トシ</small>
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 経営学部

＜経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
経営学部長	(タナカ タケノリ) 田中武憲 (平成29年4月)		
経営学科長	(タシロ タツヒコ) 田代樹彦 (平成25年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経営学部 経営学科 学士 (経営学)	4年	215人	- 年次人	860人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を ( ) 書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	195 (-) [-]	-	195 (-) [-]	-	195 (-) [-]	-	215 (-) [-]	-			1.08 倍	
志願者数	1,513 (0) [13]	- (-) [-]	1,660 (1) [14]	- (-) [-]	1,305 (0) [6]	- (-) [-]	1,816 (0) [6]	- (-) [-]				
受験者数	1,472 (0) [10]	- (-) [-]	1,591 (1) [12]	- (-) [-]	1,264 (0) [4]	- (-) [-]	1,757 (0) [5]	- (-) [-]				
合格者数	479 (0) [5]	- (-) [-]	437 (1) [6]	- (-) [-]	445 (0) [2]	- (-) [-]	315 (0) [1]	- (-) [-]				
B 入学者数	238 (0) [5]	- (-) [-]	201 (1) [4]	- (-) [-]	227 (0) [2]	- (-) [-]	203 (0) [1]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.22		1.03		1.16		0.94					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 5 ] (2) 240	[ - ] ( - ) -	[ 4 ] (2) 203	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (0) 227	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (0) 203	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 9 ] (3) 206	[ - ] ( - ) -	[ 5 ] (1) 234	[ - ] ( - ) -	[ 4 ] (1) 203	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (2) 224	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 15 ] (3) 260	[ - ] ( - ) -	[ 11 ] (3) 209	[ - ] ( - ) -	[ 5 ] (2) 232	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (3) 200	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 12 ] (31) 235	[ - ] ( - ) -	[ 16 ] (24) 277	[ - ] ( - ) -	[ 12 ] (34) 239	[ - ] ( - ) -	[ 7 ] (33) 260	[ - ] ( - ) -	
計	[ 41 ] (39) 941	[ - ] ( - ) -	[ 36 ] (30) 923	[ - ] ( - ) -	[ 23 ] (37) 901	[ - ] ( - ) -	[ 14 ] (38) 887	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	238 人	10 人	平成26年度	4 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(3人)	4.20 %
			平成27年度	3 人	0 人	進路変更(2人)、成業見込みなし(1人)	
			平成28年度	3 人	0 人	進路変更(2人)、他大学入学(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	201 人	6 人	平成27年度	4 人	0 人	就学の意味なし(1人)、進路変更(3人)	2.98 %
			平成28年度	2 人	0 人	就職(1人)、進路変更(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	227 人	3 人	平成28年度	3 人	0 人	他大学受験(1人)、他大学入学(2人)	1.32 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	203 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	869 人	19 人					2.18 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)					
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>						
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>						
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>						
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>						
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>						
(2) 校 舎	専 用	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del>	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少					
	(232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	(0.00㎡)	(0.00㎡)	(232,261.33㎡) (238,413.83㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	171室 <del>187室</del>	演 習 室	154室 <del>187室</del>	実験実習室	231室 <del>230室</del>	情報処理学習施設	26室 <del>29室</del>	語学学習施設	5室	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少
	(補助職員 9人)	(補助職員 5人)									
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)					
	大学全体			470 449 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)			
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>				
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>				
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) (12,150)	(14,030) (12,591)	120 (123)				
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)					
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)					
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル									

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更	
										学部名
経費の見積り	教員1人当り研究費等	薬学部以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書購入費	薬学部以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	
	共同研究費等	薬学部以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備購入費	薬学部以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	
	(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-		
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-			
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-			
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円			
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-			
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-			
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士(法学)	1.07	平成11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	平成11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士(経営学)	1.08	平成12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士(経営学)	1.13	平成12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士(経済学)	1.10	平成12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士(経済学)	1.15	平成12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士(理学)	1.02	平成12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士(工学)	1.09	平成16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士(工学)	1.07	平成12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士(工学)	1.09	平成12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士(工学)	0.86	平成25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士(工学)	1.11	平成12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士(工学)	1.04	平成12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士(工学)	1.02	平成25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.12	平成12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士(工学)	1.08	平成12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士(工学)	1.10	平成12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.10	平成11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.11	平成11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.06	平成17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士(薬学)	1.10	平成18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士(都市情報学)	1.07	平成7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士(人間学)	1.08	平成15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士(外国語学)	1.09	平成28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
大学院法学研究科 法律学専攻										
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度			
大学院経営学研究科 経営学専攻										
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度			
大学院経済学研究科 経済学専攻										
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度			
大学院理工学研究科 数学専攻										
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度			
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度			
情報工学専攻										
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度			
電気電子工学専攻										
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度			
材料機能工学専攻										
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度			
応用化学専攻										
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度			
機械工学専攻										
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度			
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度			
交通機械工学専攻										
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度			
メカトロニクス工学専攻										
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度			
社会基盤デザイン工学専攻										
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度			
環境創造学専攻										
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度			
建築学専攻										
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度			

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<経営学部 経営学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
13	5	0	0	18	12	5	0	0	17	13	5	0	0	18
(12)	(5)	(0)	(0)	(17)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		学内他学部へ異動のため。(29)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <経営学部 経営学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p>経営学部経営学科（780名→860名）</p>	<table border="1" data-bbox="1049 584 1557 954"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>75</td> <td>895</td> <td>878</td> <td>96</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>5</td> <td>185</td> <td>173</td> <td>34</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>10</td> <td>159</td> <td>136</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>15</td> <td>336</td> <td>333</td> <td>15</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>110</td> <td>241</td> <td>237</td> <td>160</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>215</td> <td>1,816</td> <td>1,757</td> <td>315</td> <td>203</td> </tr> </tbody> </table>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	75	895	878	96	28	一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—	一般入試 (F方式)	5	185	173	34	9	一般入試 (B方式)	10	159	136	10	5	一般入試 (C方式)	15	336	333	15	2	推薦・特別入試	110	241	237	160	159	合計	215	1,816	1,757	315	203
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	75	895	878	96	28																																												
一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—																																												
一般入試 (F方式)	5	185	173	34	9																																												
一般入試 (B方式)	10	159	136	10	5																																												
一般入試 (C方式)	15	336	333	15	2																																												
推薦・特別入試	110	241	237	160	159																																												
合計	215	1,816	1,757	315	203																																												
<p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p>(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p>(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p>①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなり、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p>②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p>③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p>④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p>(c) 教員組織の変更内容 教授：13名 准教授：5名 講師：0名 助教：0名 計18名</p>	<p>本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：12名 准教授：5名 講師：0名 助教：0名 計17名</p> <p>教授1名の学内他学部への異動により、1名の減員となりました。当該教員の後任採用については、今後公募を行う予定です。</p>																																																

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモンズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
--	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成29年度開設

名城大学 経営学部 経営学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

(注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。

ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。

2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。

3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②ドーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

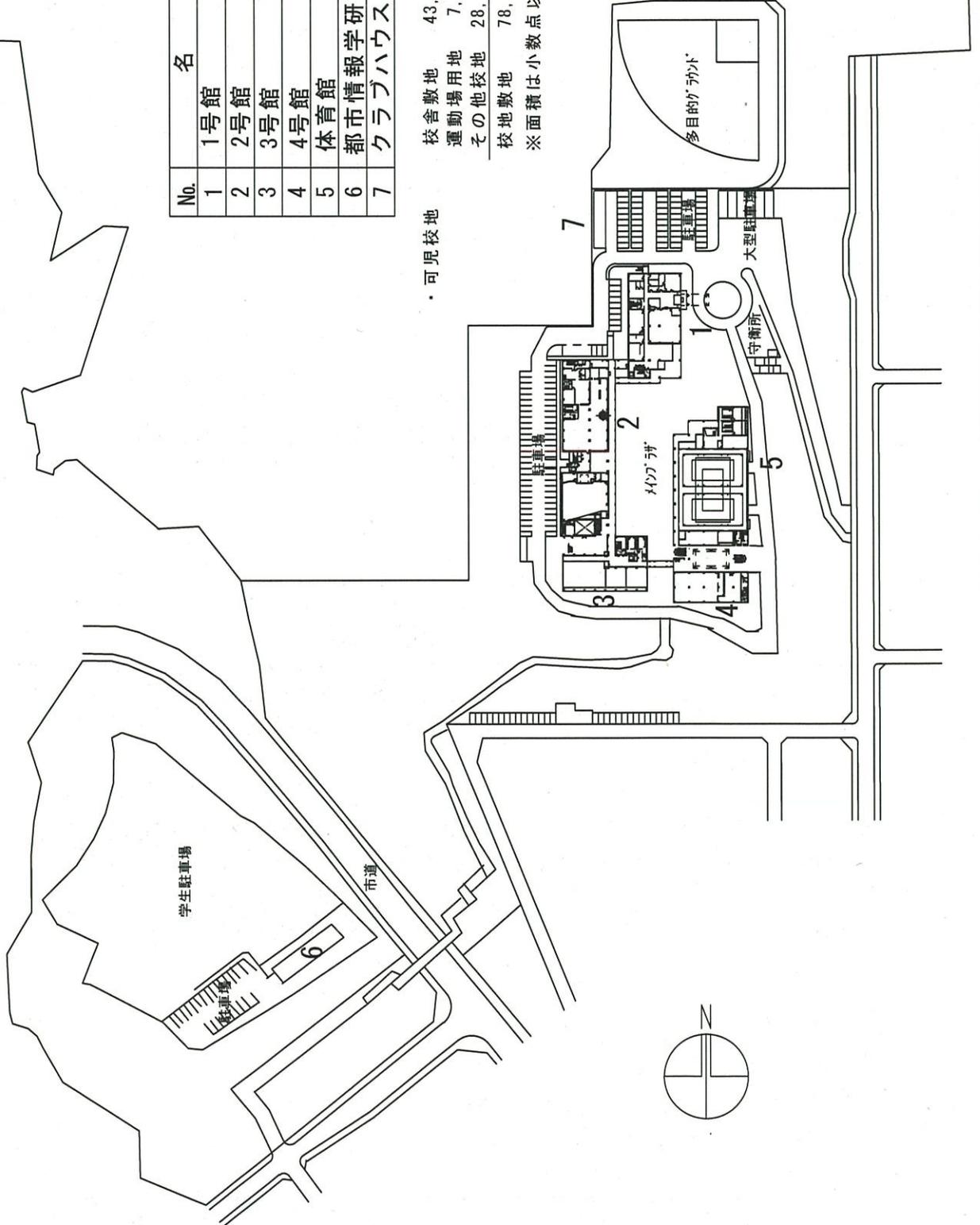
校舎敷地 43,102㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

・可児校地

校舎面積

10,032㎡

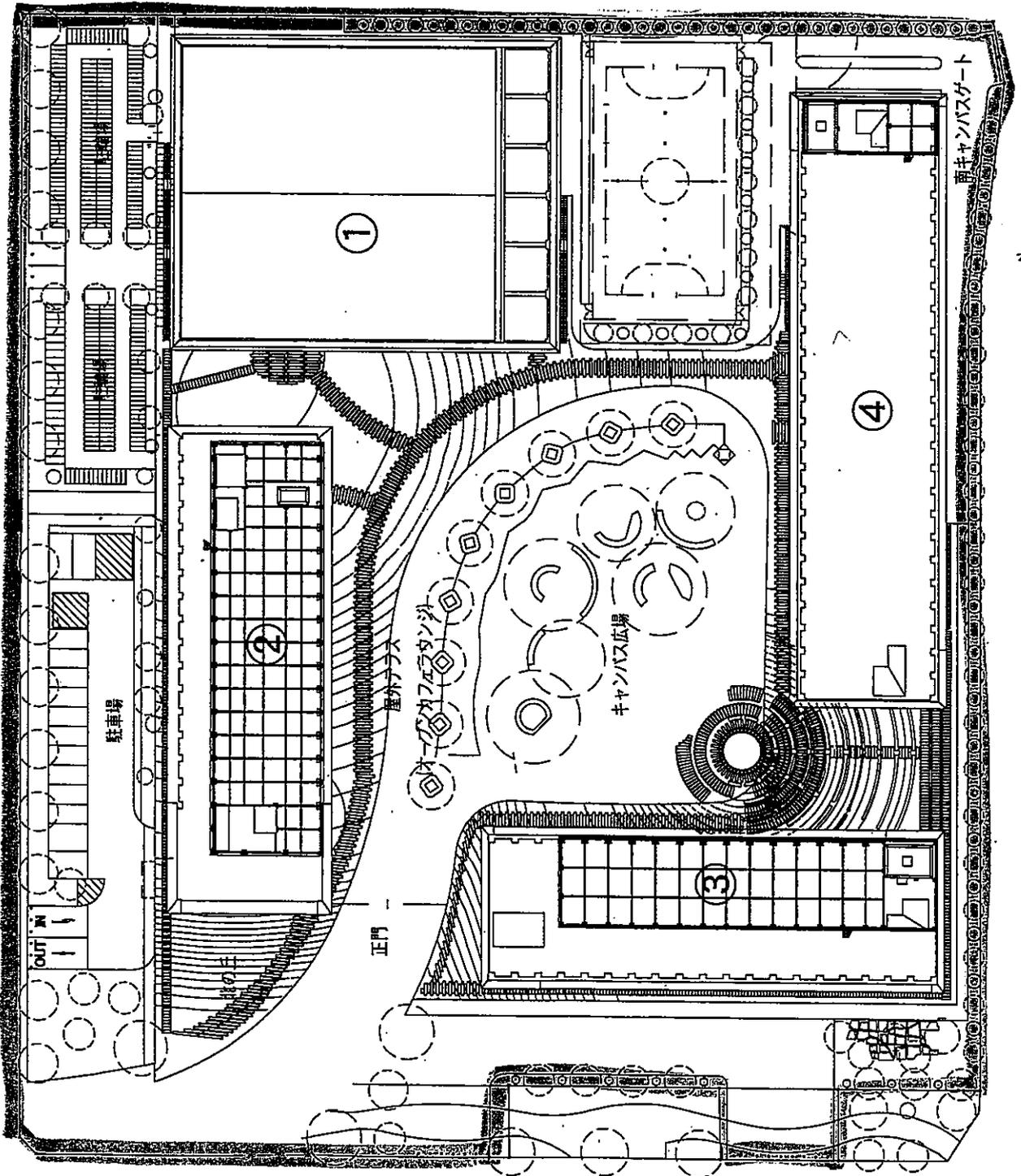
※面積は小数点以下四捨五入。



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
 経済学部 経済学科  
 理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
 材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
 交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
 農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
 薬学部 薬学科（6年制）  
 都市情報学部 都市情報学科  
 人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズキ</small> 木 <small>キチ</small> 千 <small>トシ</small> 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
 2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
 例) ○○大学 △△学部 □□学科  
 (◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
 3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 経営学部

<国際経営学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
経営学部長	(タナカ タケノリ) 田中武憲 (平成29年4月)		
国際経営 学科長	(ヒガシダ アキラ) 東田明 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経営学部 国際経営学科 学士(経営学)	4年	95人	- 年次人	380人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90 (-) [-]	-	90 (-) [-]	-	90 (-) [-]	-	95 (-) [-]	-	1.13 倍			
志願者数	266 (2) [7]	- (-) [-]	510 (1) [5]	- (-) [-]	407 (0) [12]	- (-) [-]	611 (0) [14]	- (-) [-]				
受験者数	254 (2) [7]	- (-) [-]	488 (1) [5]	- (-) [-]	393 (0) [11]	- (-) [-]	591 (0) [14]	- (-) [-]				
合格者数	190 (1) [5]	- (-) [-]	233 (0) [5]	- (-) [-]	246 (0) [7]	- (-) [-]	142 (0) [7]	- (-) [-]				
B 入学者数	98 (1) [5]	- (-) [-]	101 (0) [4]	- (-) [-]	115 (0) [7]	- (-) [-]	102 (0) [6]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.08		1.12		1.27		1.07					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 5 ] (1) 99	[ - ] ( - ) -	[ 4 ] (1) 102	[ - ] ( - ) -	[ 7 ] (1) 116	[ - ] ( - ) -	[ 6 ] (0) 102	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 9 ] (3) 112	[ - ] ( - ) -	[ 5 ] (0) 97	[ - ] ( - ) -	[ 4 ] (0) 99	[ - ] ( - ) -	[ 8 ] (3) 115	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 9 ] (1) 118	[ - ] ( - ) -	[ 9 ] (3) 113	[ - ] ( - ) -	[ 5 ] (2) 96	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (3) 99	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 7 ] (11) 99	[ - ] ( - ) -	[ 10 ] (12) 126	[ - ] ( - ) -	[ 11 ] (16) 126	[ - ] ( - ) -	[ 9 ] (20) 113	[ - ] ( - ) -	
計	[ 30 ] (16) 428		[ 28 ] (16) 438		[ 27 ] (19) 437		[ 26 ] (26) 429		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	98 人	5 人	平成26年度	2 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(1人)	5.10 %
			平成27年度	1 人	0 人	就学的意思なし(1人)	
			平成28年度	2 人	0 人	家庭の事情(1人)、病気怪我(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	101 人	2 人	平成27年度	2 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(1人)	1.98 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	115 人	4 人	平成28年度	4 人	0 人	進路変更(1人)、他大学受験(1人)、他大 学入学(1人)、成業の見込みなし(1人)	3.47 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	102 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	416 人	11 人					2.64 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 <del>449</del> 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) <del>(12,150)</del>	(14,030) <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>(12,150)</del>	14,040 <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更
経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部 以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書 購入費	薬学部 以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円
	共同研究 費等	薬学部 以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備 購入費	薬学部 以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円
	(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-	
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-		
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-		
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円		
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-		
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-		
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士 (法学)	1.07	平成 11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	平成 11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士 (経営学)	1.08	平成 12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士 (経営学)	1.13	平成 12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士 (経済学)	1.10	平成 12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	1.15	平成 12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士 (理学)	1.02	平成 12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士 (工学)	1.09	平成 16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士 (工学)	1.07	平成 12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士 (工学)	1.09	平成 12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士 (工学)	0.86	平成 25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士 (工学)	1.11	平成 12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士 (工学)	1.04	平成 12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士 (工学)	1.02	平成 25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.12	平成 12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士 (工学)	1.08	平成 12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士 (工学)	1.10	平成 12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.10	平成 11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.11	平成 11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.06	平成 17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士 (薬学)	1.10	平成 18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士 (都市情報学)	1.07	平成 7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士 (人間学)	1.08	平成 15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士 (外国語学)	1.09	平成 28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<経営学部 国際経営学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	4	0	0	14	10	4	0	0	14	10	4	0	0	14
(10)	(4)	(0)	(0)	(14)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <経営学部 国際経営学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">経営学部国際経営学科（360名→380名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容 教授：10名 准教授：4名 講師：0名 助教：0名 計14名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>25</td> <td>210</td> <td>206</td> <td>19</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>5</td> <td>90</td> <td>83</td> <td>17</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>5</td> <td>50</td> <td>41</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>13</td> <td>139</td> <td>139</td> <td>13</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>47</td> <td>122</td> <td>122</td> <td>90</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95</td> <td>611</td> <td>591</td> <td>142</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p style="margin-top: 20px;">教授：10名 准教授：4名 講師：0名 助教：0名 計14名</p> <p style="text-align: center;">教員組織に変更はありません。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	25	210	206	19	7	一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—	一般入試 (F方式)	5	90	83	17	3	一般入試 (B方式)	5	50	41	3	2	一般入試 (C方式)	13	139	139	13	2	推薦・特別入試	47	122	122	90	88	合計	95	611	591	142	102
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	25	210	206	19	7																																												
一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—																																												
一般入試 (F方式)	5	90	83	17	3																																												
一般入試 (B方式)	5	50	41	3	2																																												
一般入試 (C方式)	13	139	139	13	2																																												
推薦・特別入試	47	122	122	90	88																																												
合計	95	611	591	142	102																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモنزの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
--	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成29年度開設

名城大学 経営学部 国際経営学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。  
 ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②トーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

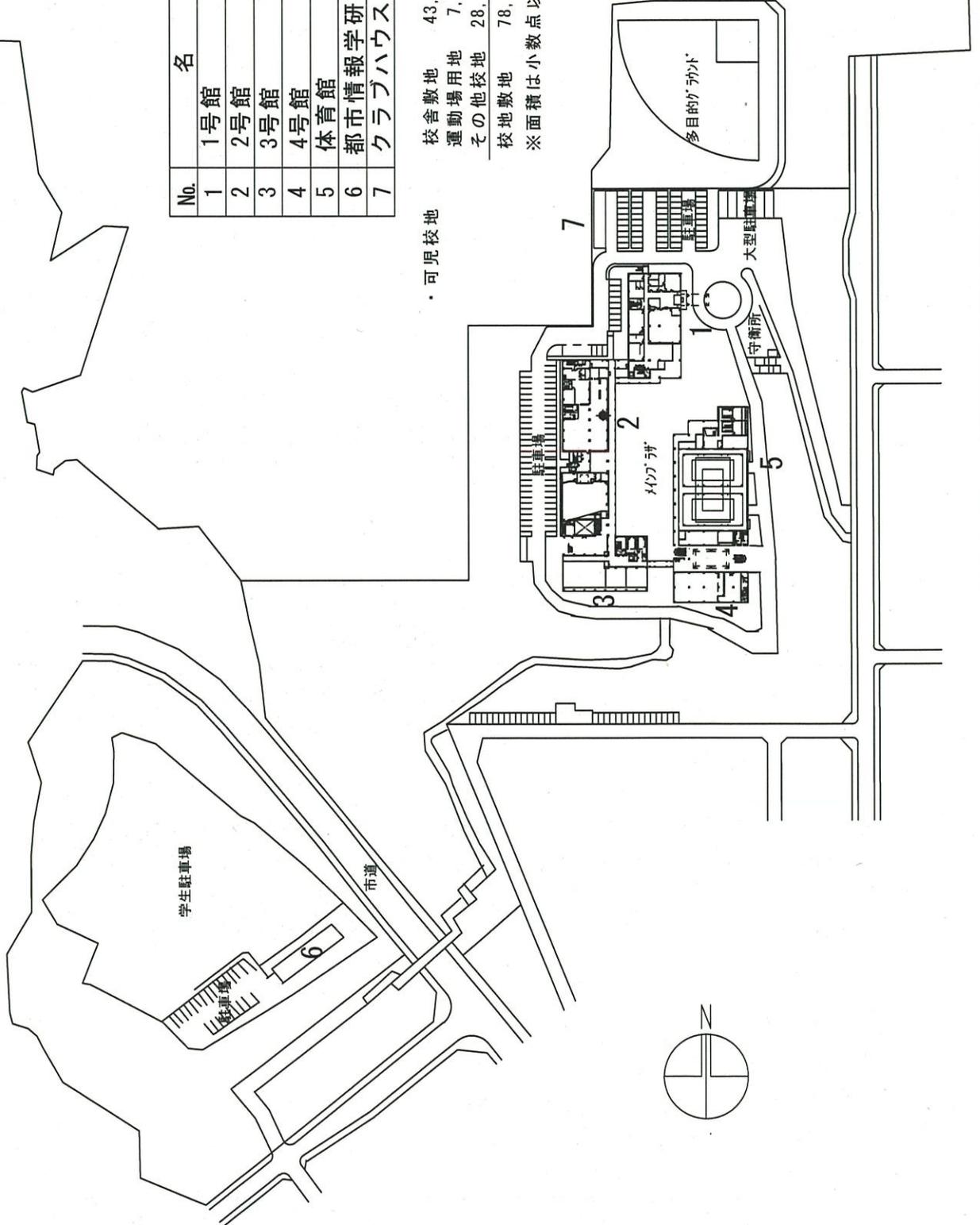
校舎敷地 43,102㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

・可児校地

校舎面積

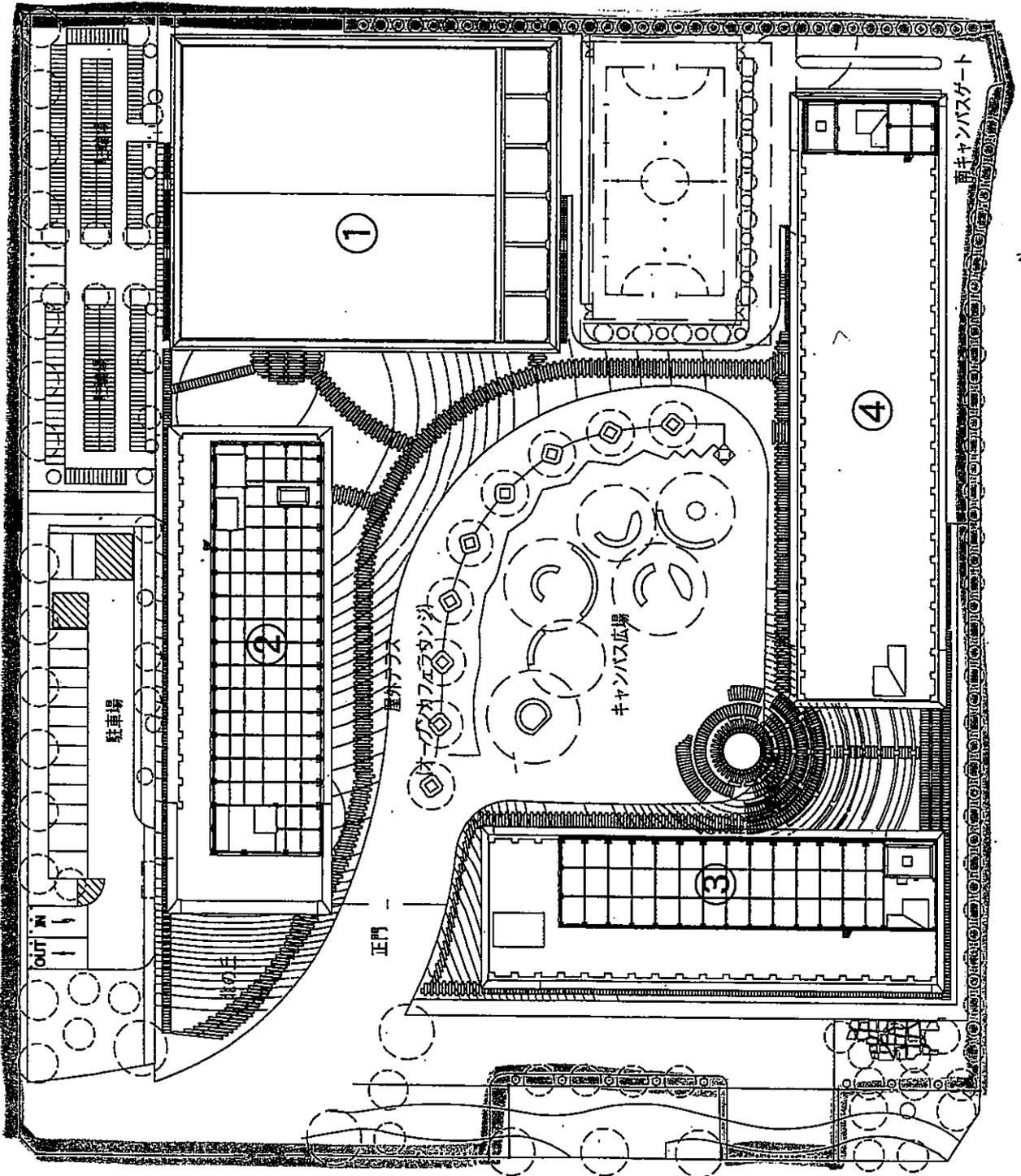
10,032㎡

※面積は小数点以下四捨五入。



# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズ</small> 鈴 <small>キ</small> 木 <small>チ</small> 千 <small>トシ</small> 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 経済学部

＜経済学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
経済学部長	(ヤマモト ユウゴ) 山本雄吾 (平成27年4月)		
経済学科長	(マツオ ヒデオ) 松尾秀雄 (平成27年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 経済学科 学士(経済学)	4年	210人	- 年次人	840人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	185 (-) [-]	-	185 (-) [-]	-	185 (-) [-]	-	210 (-) [-]	-			1.10倍	
志願者数	1,610 (2) [2]	- (-) [-]	1,673 (0) [0]	- (-) [-]	1,917 (0) [7]	- (-) [-]	1,832 (1) [3]	- (-) [-]				
受験者数	1,561 (2) [2]	- (-) [-]	1,620 (0) [0]	- (-) [-]	1,850 (0) [6]	- (-) [-]	1,766 (1) [3]	- (-) [-]				
合格者数	555 (2) [0]	- (-) [-]	622 (0) [0]	- (-) [-]	586 (0) [1]	- (-) [-]	590 (0) [3]	- (-) [-]				
B 入学者数	209 (2) [0]	- (-) [-]	202 (0) [0]	- (-) [-]	220 (0) [1]	- (-) [-]	215 (0) [3]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.12		1.09		1.18		1.02					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 0 ] (1) 210	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 203	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (0) 220	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (2) 217	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 0 ] (1) 207	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 211	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 203	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (2) 224	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 2 ] (2) 209	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 204	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (3) 212	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 201	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 5 ] (27) 240	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (21) 227	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (22) 221	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (27) 233	[ - ] ( - ) -	
計	[ 7 ] (31) 866	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (25) 845	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (25) 856	[ - ] ( - ) -	[ 4 ] (33) 875	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	209 人	3 人	平成26年度	0 人	0 人		1.43 %
			平成27年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	
			平成28年度	2 人	0 人	一身上の都合(1人)、進路変更(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	202 人	3 人	平成27年度	1 人	0 人	就学的意思なし(1人)	1.48 %
			平成28年度	2 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	220 人	4 人	平成28年度	4 人	0 人	家庭の事情(1人)、就学的意思なし(1人)、進路変更(1人)、成業の見込みなし(1人)	1.81 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	215 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	846 人	10 人					1.18 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 449 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 12,150	14,040 <del>12,601</del>	120 123	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) (12,150)	(14,030) (12,591)	120 (123)	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 (28,114) (12,150)	14,040 (14,030) (12,591)	120 123 (123)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 1,545席		1,575,305冊 1,533,833冊				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更	
										学部名
経費の見積り	教員1人当り研究費等	薬学部以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書購入費	薬学部以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	
	共同研究費等	薬学部以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備購入費	薬学部以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	
	(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-		
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-			
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-			
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円			
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-			
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-			
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士(法学)	1.07	平成11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	平成11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士(経営学)	1.08	平成12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士(経営学)	1.13	平成12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士(経済学)	1.10	平成12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士(経済学)	1.15	平成12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士(理学)	1.02	平成12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士(工学)	1.09	平成16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士(工学)	1.07	平成12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士(工学)	1.09	平成12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士(工学)	0.86	平成25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士(工学)	1.11	平成12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士(工学)	1.04	平成12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士(工学)	1.02	平成25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.12	平成12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士(工学)	1.08	平成12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士(工学)	1.10	平成12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.10	平成11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.11	平成11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.06	平成17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士(薬学)	1.10	平成18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士(都市情報学)	1.07	平成7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士(人間学)	1.08	平成15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士(外国語学)	1.09	平成28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<経済学部 経済学科>

##### (1) 専任教員数等

##### (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	5	0	3	18	10	5	0	3	18	10	5	0	3	18
(10)	(5)	(0)	(3)	(18)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

##### (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

##### (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

##### (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <経済学部 経済学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p>経済学部経済学科（740名→840名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p>(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p>(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p>①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p>②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p>③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p>④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p>(c) 教員組織の変更内容 教授：10名 准教授：5名 講師：0名 助教：3名 計18名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>78</td> <td>926</td> <td>909</td> <td>283</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>5</td> <td>205</td> <td>197</td> <td>60</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>12</td> <td>208</td> <td>168</td> <td>27</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>15</td> <td>330</td> <td>329</td> <td>104</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>100</td> <td>163</td> <td>163</td> <td>116</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>210</td> <td>1,832</td> <td>1,766</td> <td>590</td> <td>215</td> </tr> </tbody> </table> <p>本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：10名 准教授：5名 講師：0名 助教：3名 計18名</p> <p>教員組織に変更はありません。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	78	926	909	283	68	一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—	一般入試 (F方式)	5	205	197	60	15	一般入試 (B方式)	12	208	168	27	11	一般入試 (C方式)	15	330	329	104	5	推薦・特別入試	100	163	163	116	116	合計	210	1,832	1,766	590	215
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	78	926	909	283	68																																												
一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—																																												
一般入試 (F方式)	5	205	197	60	15																																												
一般入試 (B方式)	12	208	168	27	11																																												
一般入試 (C方式)	15	330	329	104	5																																												
推薦・特別入試	100	163	163	116	116																																												
合計	210	1,832	1,766	590	215																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモンズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
--	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあったに関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 経済学部 経済学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白 1 4 号館	4 2 0 m <sup>2</sup>	8 5 1 m <sup>2</sup>
②ドーム前キャンパス北・東館	1 0, 8 8 9 m <sup>2</sup>	1 3, 7 2 7 m <sup>2</sup>
③可児 1 号館	2, 9 3 4 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
④可児 2 号館	4, 1 9 0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑤可児 3 号館 (A 棟)	7 0 1 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑥可児 3 号館 (B 棟)	1, 8 2 2 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑦都市情報学研究所	3 8 5 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑧可児体育館	1, 7 8 3 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
	完成時（平成 33 年 3 月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。  
 ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②ドーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

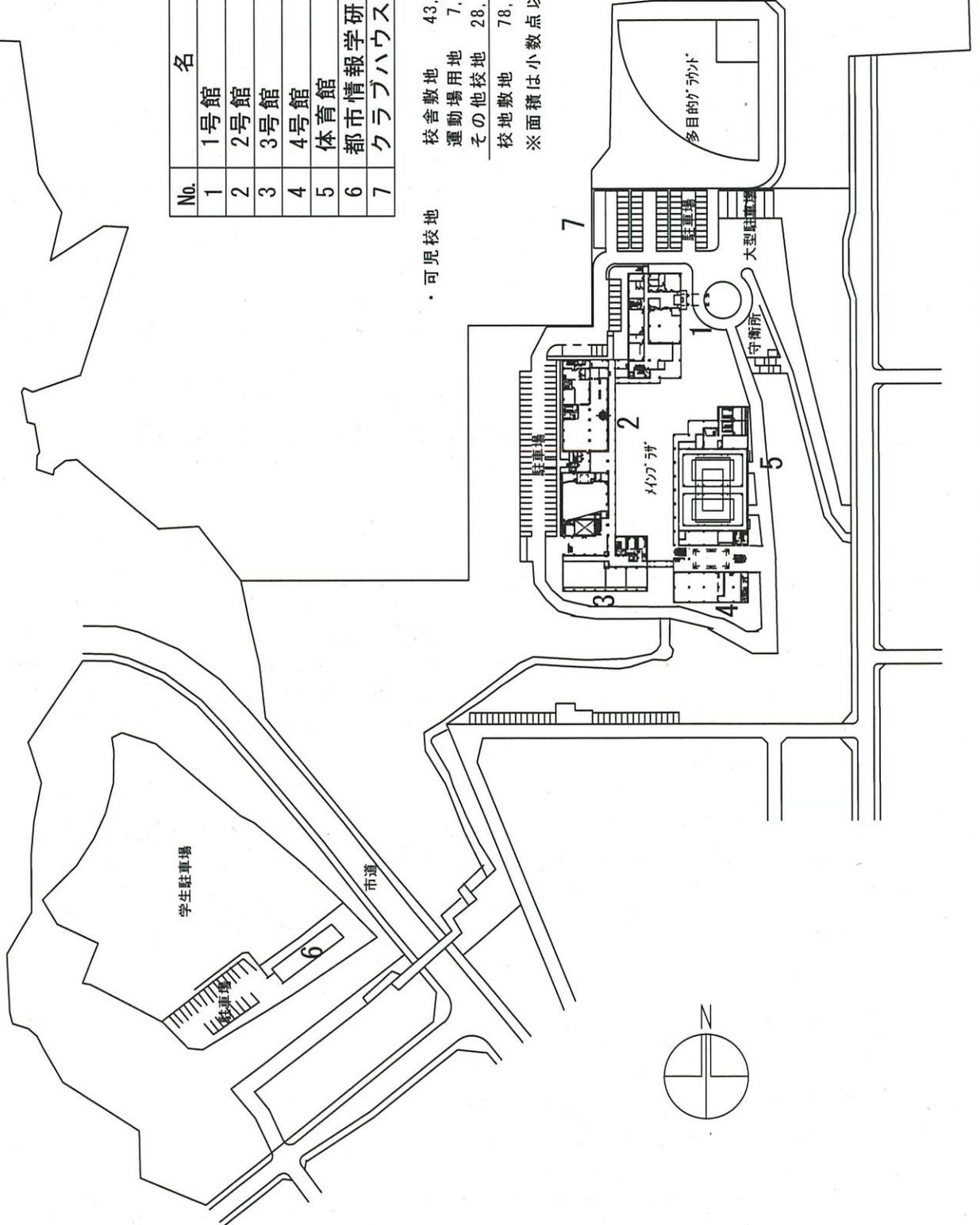
# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡ 校舎面積 10,032㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

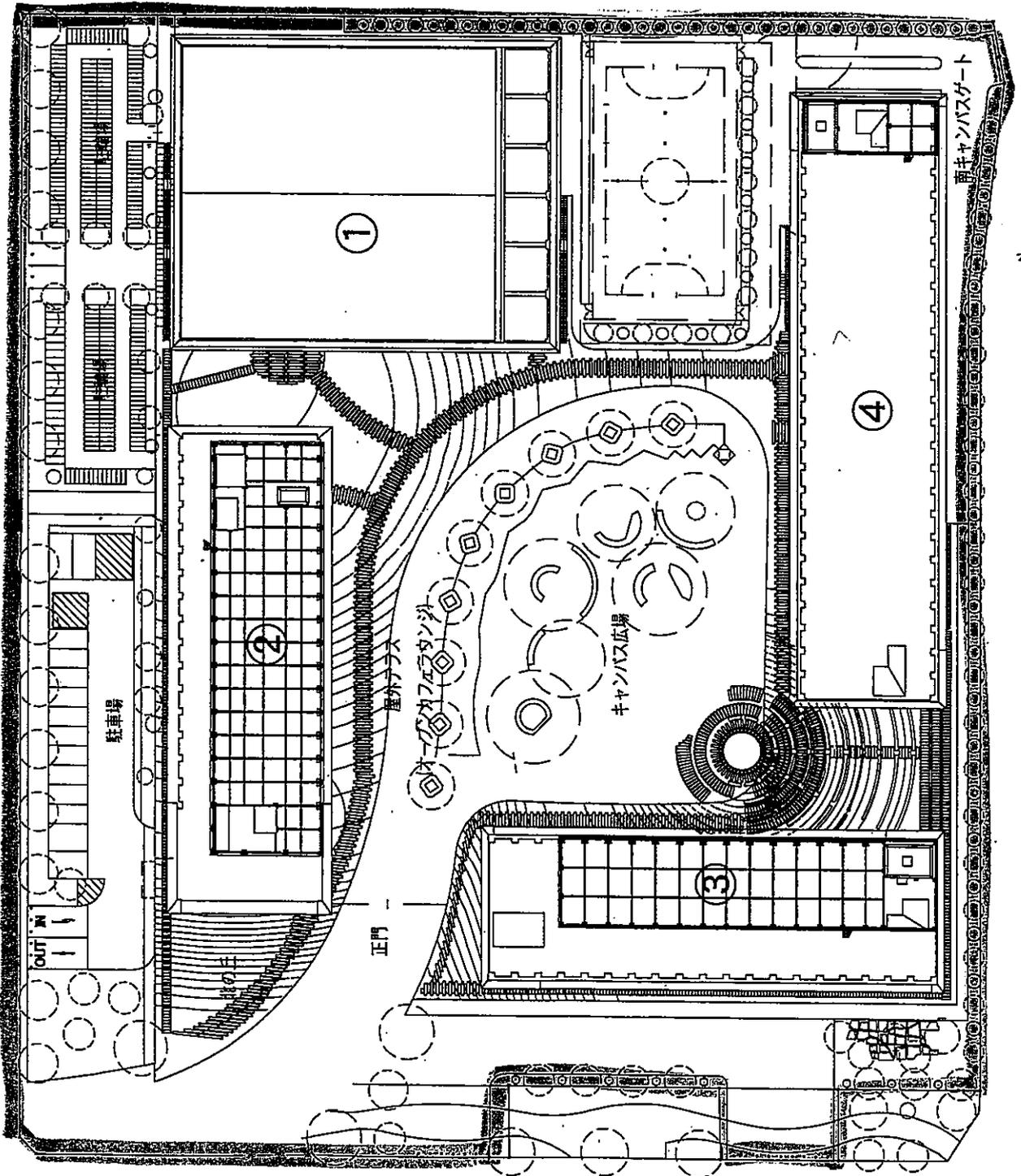
※面積は小数点以下四捨五入。

・可児校地



# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズ</small> 鈴 <small>キ</small> 木 <small>チ</small> 千 <small>トシ</small> 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 理工学部

### <数学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
理工学部長	(カトリ ヒロアキ) 加鳥裕明 (平成27年4月)		
数学科長	(エジリ ノリオ) 江尻典雄 (平成28年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 数学科 学士(理学)	4年	90人	- 年次人	360人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( ) 書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	85 (-) [-]	-	85 (-) [-]	-	85 (-) [-]	-	90 (-) [-]	-			1.02 倍	
志願者数	1,320 (1) [0]	- (-) [-]	1,238 (0) [0]	- (-) [-]	1,372 (0) [1]	- (-) [-]	1,437 (2) [1]	- (-) [-]				
受験者数	1,286 (1) [0]	- (-) [-]	1,184 (0) [0]	- (-) [-]	1,319 (0) [1]	- (-) [-]	1,383 (2) [1]	- (-) [-]				
合格者数	434 (1) [0]	- (-) [-]	450 (0) [0]	- (-) [-]	471 (0) [0]	- (-) [-]	449 (1) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	82 (1) [0]	- (-) [-]	98 (0) [0]	- (-) [-]	89 (0) [0]	- (-) [-]	87 (1) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	0.96		1.15		1.04		0.96					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (3) 85	[-] (-) -	[0] (3) 101	[-] (-) -	[0] (7) 96	[-] (-) -	[0] (3) 90	[-] (-) -	
2年次	[0] (1) 92	[-] (-) -	[0] (1) 77	[-] (-) -	[0] (2) 92	[-] (-) -	[0] (3) 95	[-] (-) -	
3年次	[0] (2) 88	[-] (-) -	[0] (2) 92	[-] (-) -	[0] (1) 76	[-] (-) -	[0] (0) 88	[-] (-) -	
4年次	[0] (9) 97	[-] (-) -	[0] (7) 92	[-] (-) -	[0] (12) 102	[-] (-) -	[0] (9) 85	[-] (-) -	
計	[0] (15) 362		[0] (13) 362		[0] (22) 366		[0] (15) 358		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	82 人	7 人	平成26年度	4 人	0 人	進路変更(1人)、他大学入学(3人)	8.53 %
			平成27年度	2 人	0 人	進路変更(2人)	
			平成28年度	1 人	0 人	経済的都合(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	98 人	4 人	平成27年度	3 人	0 人	経済的都合(1人)、就学的意思なし(1人)、進路変更(1人)	4.08 %
			平成28年度	1 人	0 人	経済的都合(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	89 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	87 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	356 人	11 人					3.08 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)					
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>						
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>						
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>						
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>						
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>						
(2) 校 舎	専 用	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del>	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少					
	(232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	(0.00㎡)	(0.00㎡)	(232,261.33㎡) (238,413.83㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	171室 <del>187室</del>	演 習 室	154室 <del>187室</del>	実験実習室	231室 <del>230室</del>	情報処理学習施設	26室 <del>29室</del>	語学学習施設	5室	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少
	(補助職員 9人)	(補助職員 5人)									
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)					
	大学全体			470 449 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29)  視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29)  機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29)  標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)			
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>				
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>				
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) (12,150)	(14,030) (12,591)	120 (123)				
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29)  閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)					
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)					
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル									

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更
経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部 以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書 購入費	薬学部 以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円
	共同研究 費等	薬学部 以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備 購入費	薬学部 以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円
	(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-	
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-		
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-		
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円		
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-		
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-		
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士 (法学)	1.07	平成 11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	平成 11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士 (経営学)	1.08	平成 12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士 (経営学)	1.13	平成 12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士 (経済学)	1.10	平成 12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	1.15	平成 12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士 (理学)	1.02	平成 12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士 (工学)	1.09	平成 16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士 (工学)	1.07	平成 12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士 (工学)	1.09	平成 12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士 (工学)	0.86	平成 25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士 (工学)	1.11	平成 12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士 (工学)	1.04	平成 12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士 (工学)	1.02	平成 25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.12	平成 12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士 (工学)	1.08	平成 12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士 (工学)	1.10	平成 12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.10	平成 11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.11	平成 11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.06	平成 17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士 (薬学)	1.10	平成 18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士 (都市情報学)	1.07	平成 7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士 (人間学)	1.08	平成 15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士 (外国語学)	1.09	平成 28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
大学院法学研究科 法律学専攻										
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度			
大学院経営学研究科 経営学専攻										
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度			
大学院経済学研究科 経済学専攻										
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度			
大学院理工学研究科 数学専攻										
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度			
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度			
情報工学専攻										
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度			
電気電子工学専攻										
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度			
材料機能工学専攻										
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度			
応用化学専攻										
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度			
機械工学専攻										
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度			
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度			
交通機械工学専攻										
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度			
メカトロニクス工学専攻										
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度			
社会基盤デザイン工学専攻										
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度			
環境創造学専攻										
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度			
建築学専攻										
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度			

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<理工学部 数学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	6	1	2	18	7	8	0	4	19	7	8	0	4	19
(7)	(8)	(0)	(4)	(19)						[ Δ2 ]	[ 2 ]	[ Δ1 ]	[ 2 ]	[ 1 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <理工学部 数学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">理工学部数学科（340名→360名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容</p> <p>教授：9名 准教授：6名 講師：1名 助教：2名 計18名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>32</td> <td>503</td> <td>493</td> <td>195</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>5</td> <td>157</td> <td>151</td> <td>38</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>5</td> <td>323</td> <td>314</td> <td>83</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>10</td> <td>173</td> <td>144</td> <td>30</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>7</td> <td>204</td> <td>204</td> <td>60</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>31</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>43</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>90</td> <td>1,437</td> <td>1,383</td> <td>449</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のとおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：7名 准教授：8名 講師：0名 助教：4名 計19名</p> <p>教員採用計画の変更により、内訳の変更及び1名の増員を行いました。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	32	503	493	195	27	一般入試 (M方式)	5	157	151	38	14	一般入試 (F方式)	5	323	314	83	6	一般入試 (B方式)	10	173	144	30	4	一般入試 (C方式)	7	204	204	60	3	推薦・特別入試	31	77	77	43	33	合計	90	1,437	1,383	449	87
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	32	503	493	195	27																																												
一般入試 (M方式)	5	157	151	38	14																																												
一般入試 (F方式)	5	323	314	83	6																																												
一般入試 (B方式)	10	173	144	30	4																																												
一般入試 (C方式)	7	204	204	60	3																																												
推薦・特別入試	31	77	77	43	33																																												
合計	90	1,437	1,383	449	87																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモنزの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
--	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 理工学部 数学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，上記様式により提出してください。  
 ただし，面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には，この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を，建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には，「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に，「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②ドーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

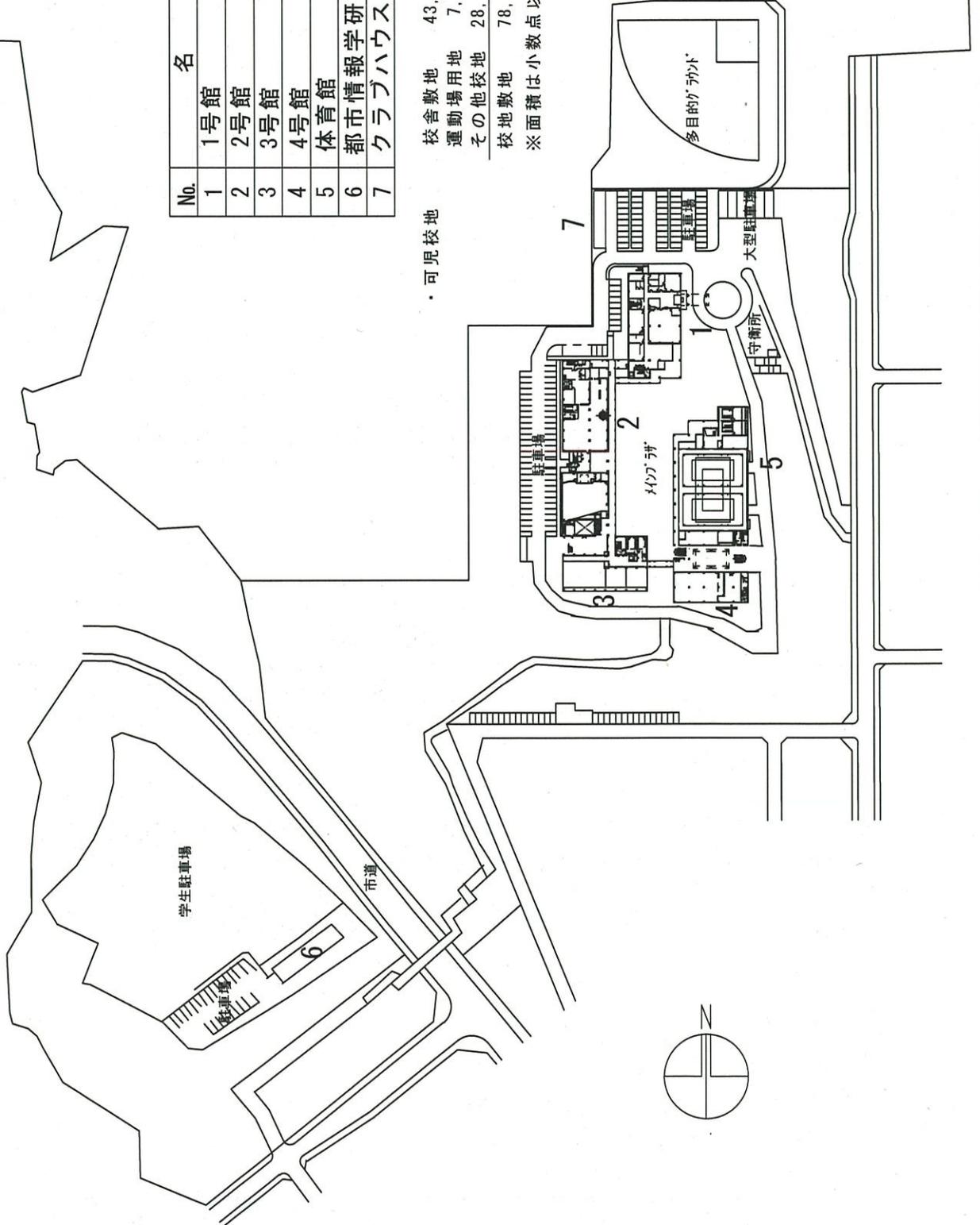
# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡ 校舎面積 10,032㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

※面積は小数点以下四捨五入。

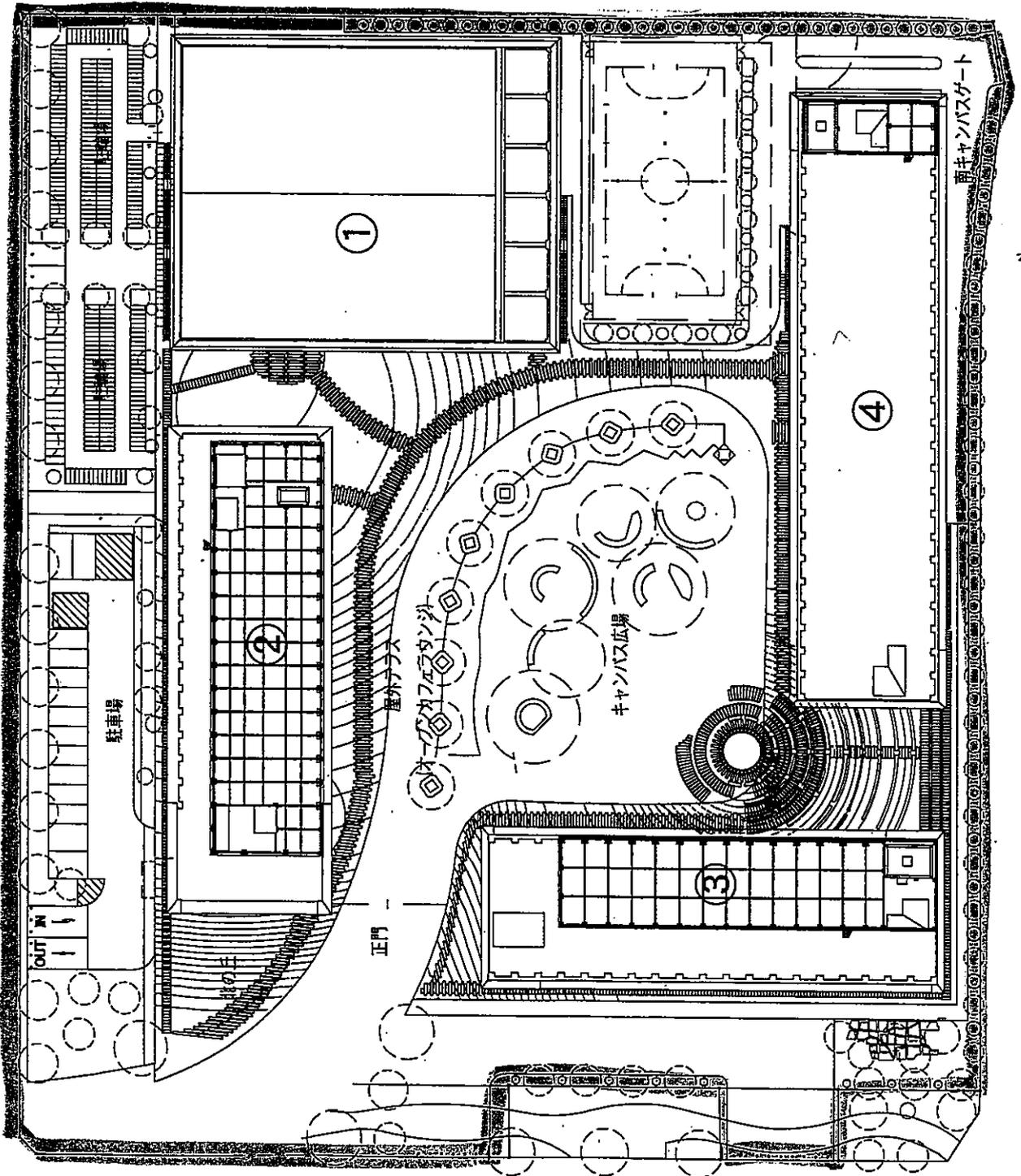
・可児校地



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズキ</small> 木 千 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 理工学部

<情報工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
理工学部長	(カトリ ヒロアキ) 加鳥裕明 (平成27年4月)		
情報工学科長	(ヤナギダ ヤスユキ) 柳田康幸 (平成27年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 情報工学科 学士(工学)	4年	150人	- 年次人	600人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	145 (-) [-]	-	145 (-) [-]	-	145 (-) [-]	-	150 (-) [-]	-	1.09 倍			
志願者数	2,618 (0) [0]	- (-) [-]	2,899 (1) [1]	- (-) [-]	2,522 (0) [2]	- (-) [-]	3,334 (1) [1]	- (-) [-]				
受験者数	2,537 (0) [0]	- (-) [-]	2,816 (0) [1]	- (-) [-]	2,445 (0) [2]	- (-) [-]	3,241 (1) [1]	- (-) [-]				
合格者数	751 (0) [0]	- (-) [-]	681 (0) [0]	- (-) [-]	737 (0) [0]	- (-) [-]	812 (0) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	154 (0) [0]	- (-) [-]	156 (0) [0]	- (-) [-]	152 (0) [0]	- (-) [-]	181 (0) [1]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.06		1.07		1.04		1.20					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 0 ] (2) 156	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 156	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 152	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (0) 181	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 1 ] (2) 158	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (17) 170	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (18) 169	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (21) 169	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 1 ] (1) 174	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (3) 139	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 149	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 141	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 5 ] (29) 208	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (35) 198	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (40) 175	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (28) 172	[ - ] ( - ) -	
計	[ 7 ] (34) 696	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (55) 663	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (60) 645	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (51) 663	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	154 人	6 人	平成26年度	2 人	0 人	進路変更(2人)	3.89 %
			平成27年度	2 人	0 人	進路変更(2人)	
			平成28年度	2 人	0 人	進路変更(1人)、他大学入学(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	156 人	10 人	平成27年度	8 人	0 人	経済的都合(1人)、就学的意思なし(2人)、進路変更(1人)、他大学受験(2人)、他大学入学(2人)	6.41 %
			平成28年度	2 人	0 人	経済的都合(1人)、就学的意思なし(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	152 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	進路変更(2人)	1.31 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	181 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	643 人	18 人					2.79 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 <del>449</del> 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) <del>(12,150)</del>	(14,030) <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更
経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部 以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書 購入費	薬学部 以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円
	共同研究 費等	薬学部 以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備 購入費	薬学部 以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円
	(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-	
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-		
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-		
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円		
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-		
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-		
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士 (法学)	1.07	平成 11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	平成 11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士 (経営学)	1.08	平成 12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士 (経営学)	1.13	平成 12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士 (経済学)	1.10	平成 12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	1.15	平成 12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士 (理学)	1.02	平成 12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士 (工学)	1.09	平成 16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士 (工学)	1.07	平成 12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士 (工学)	1.09	平成 12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士 (工学)	0.86	平成 25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士 (工学)	1.11	平成 12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士 (工学)	1.04	平成 12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士 (工学)	1.02	平成 25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.12	平成 12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士 (工学)	1.08	平成 12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士 (工学)	1.10	平成 12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.10	平成 11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.11	平成 11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.06	平成 17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士 (薬学)	1.10	平成 18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士 (都市情報学)	1.07	平成 7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士 (人間学)	1.08	平成 15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士 (外国語学)	1.09	平成 28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<理工学部 情報工学科>

##### (1) 専任教員数等

##### (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	7	0	1	19	11	7	0	1	19	11	7	0	1	19
(11)	(7)	(0)	(1)	(19)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

##### (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

##### (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

##### (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

<理工学部 情報工学科>

### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">理工学部情報工学科（580名→600名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系的性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容</p> <p>教授：11名 准教授：7名 講師：0名 助教：1名 計19名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>45</td> <td>1,321</td> <td>1,295</td> <td>333</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>20</td> <td>382</td> <td>370</td> <td>96</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>20</td> <td>947</td> <td>927</td> <td>212</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>5</td> <td>192</td> <td>158</td> <td>18</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>7</td> <td>342</td> <td>341</td> <td>98</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>53</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>55</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>150</td> <td>3,334</td> <td>3,241</td> <td>812</td> <td>181</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系的性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のとおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：11名 准教授：7名 講師：0名 助教：1名 計19名</p> <p style="text-align: center;">教員組織に変更はありません。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	45	1,321	1,295	333	75	一般入試 (M方式)	20	382	370	96	27	一般入試 (F方式)	20	947	927	212	21	一般入試 (B方式)	5	192	158	18	7	一般入試 (C方式)	7	342	341	98	4	推薦・特別入試	53	150	150	55	47	合計	150	3,334	3,241	812	181
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	45	1,321	1,295	333	75																																												
一般入試 (M方式)	20	382	370	96	27																																												
一般入試 (F方式)	20	947	927	212	21																																												
一般入試 (B方式)	5	192	158	18	7																																												
一般入試 (C方式)	7	342	341	98	4																																												
推薦・特別入試	53	150	150	55	47																																												
合計	150	3,334	3,241	812	181																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモন্ズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 理工学部 情報工学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，上記様式により提出してください。  
 ただし，面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には，この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を，建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には，「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に，「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②ドーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

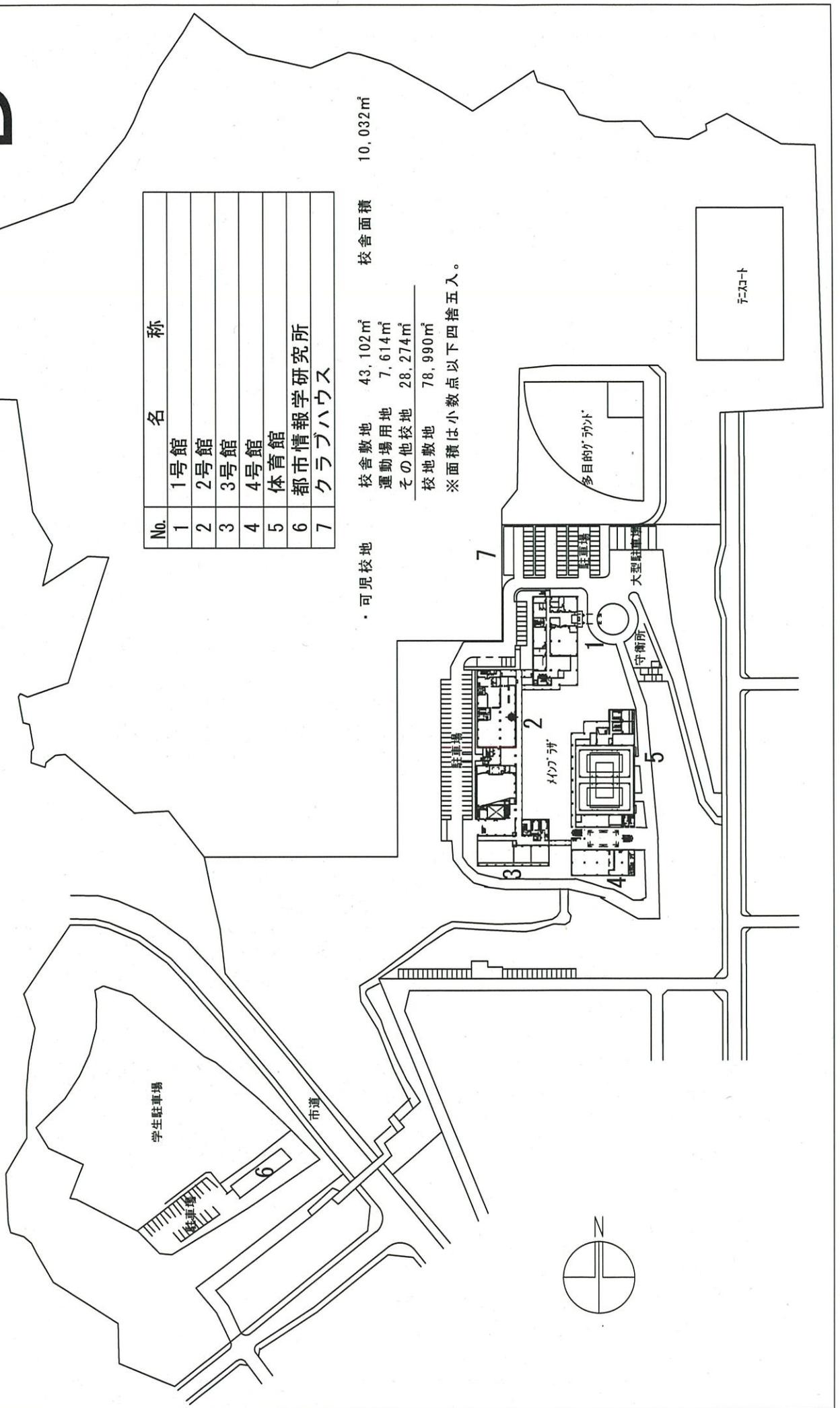
# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡ 校舎面積 10,032㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

※面積は小数点以下四捨五入。

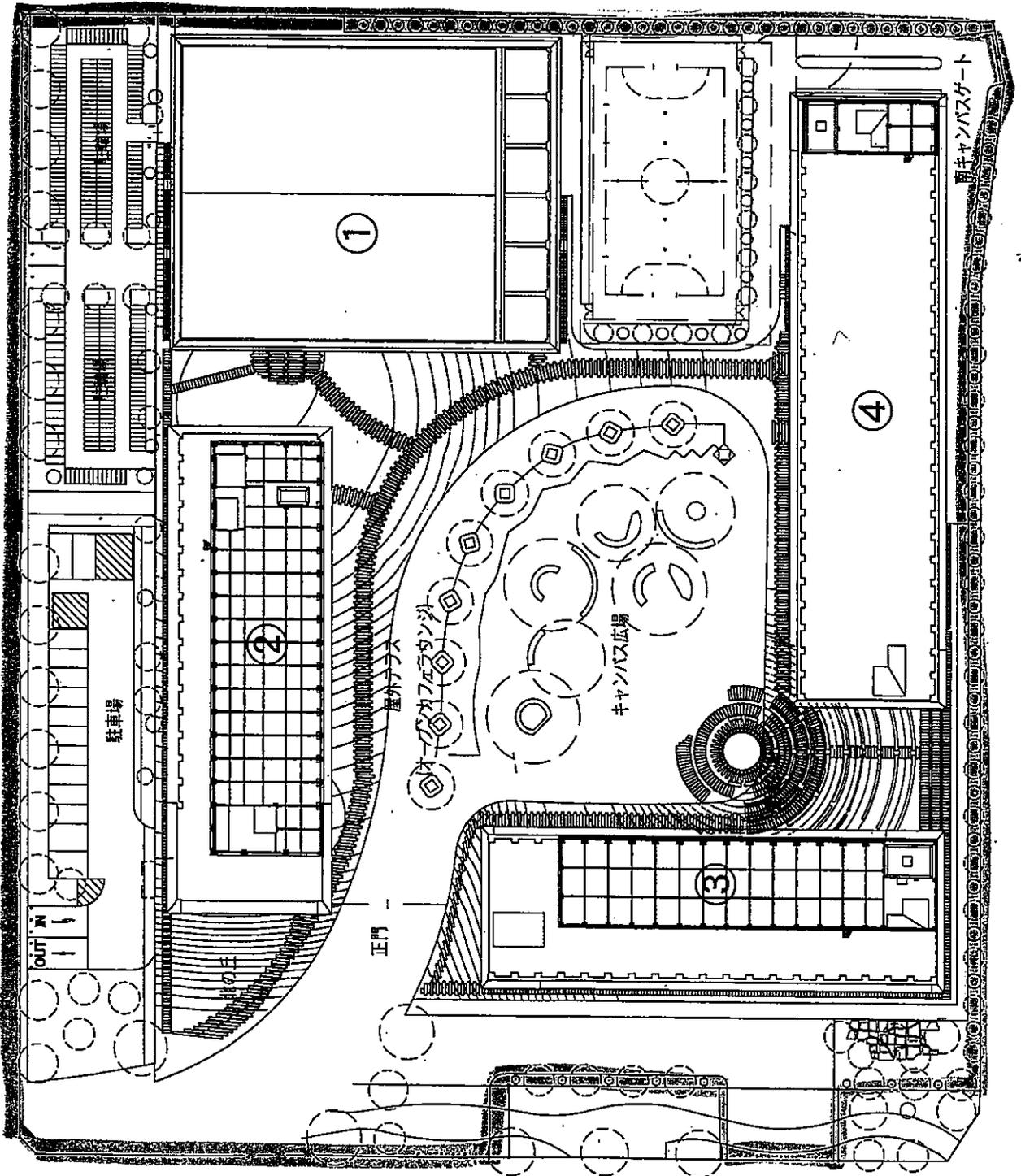
・可児校地



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営本部総合政策部

職名・氏名 課長 スズ 鈴 キ 木 チ 千 トシ 敏

電話番号 052-838-2004

（夜間） 052-838-2004

F A X 052-832-2317

e-mail oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 理工学部

＜電気電子工学科＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	.....	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	.....	7
3. 既設大学等の状況	.....	9
4. 教員組織の状況	.....	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	.....	13
6. その他全般的事項	.....	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
理工学部長	(カトリ ヒロアキ) 加鳥裕明 (平成27年4月)		
電気電子工学科長	(イトウ マサフミ) 伊藤昌文 (平成28年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 電気電子工学科 学士(工学)	4年	150人	- 年次人	600人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	130 (-) [-]	-	130 (-) [-]	-	130 (-) [-]	-	150 (-) [-]	-			1.07 倍	
志願者数	2,258 (2) [0]	- (-) [-]	2,271 (0) [0]	- (-) [-]	2,386 (0) [2]	- (-) [-]	2,497 (3) [0]	- (-) [-]				
受験者数	2,203 (2) [0]	- (-) [-]	2,200 (0) [0]	- (-) [-]	2,324 (0) [2]	- (-) [-]	2,421 (3) [0]	- (-) [-]				
合格者数	784 (0) [0]	- (-) [-]	748 (0) [0]	- (-) [-]	724 (0) [0]	- (-) [-]	841 (1) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	138 (0) [0]	- (-) [-]	133 (0) [0]	- (-) [-]	142 (0) [0]	- (-) [-]	167 (1) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.06		1.02		1.09		1.11					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 0 ] (4) 142	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (5) 138	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (3) 145	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (3) 170	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 0 ] (0) 145	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (11) 144	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (14) 144	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (12) 151	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 1 ] (1) 157	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (3) 136	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 129	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 129	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 1 ] (35) 176	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (25) 167	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (27) 160	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (31) 158	[ - ] ( - ) -	
計	[ 2 ] (40) 620	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (44) 585	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (46) 578	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (47) 608	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	138 人	10 人	平成26年度	3 人	0 人	就学の意味なし(1人)、他大学入学(2人)	7.24 %
			平成27年度	4 人	0 人	就学の意味なし(1人)、進路変更(3人)	
			平成28年度	3 人	0 人	就学の意味なし(2人)、進路変更(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	133 人	3 人	平成27年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	2.25 %
			平成28年度	2 人	0 人	就学の意味なし(2人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	142 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	病気怪我(1人)	0.70 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	167 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	580 人	14 人					2.41 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 <del>449</del> 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) <del>(12,150)</del>	(14,030) <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>(12,150)</del>	14,040 <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更
経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部 以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書 購入費	薬学部 以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円
	共同研究 費等	薬学部 以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備 購入費	薬学部 以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円
	(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-	
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-		
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-		
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円		
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-		
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-		
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士 (法学)	1.07	平成 11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	平成 11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士 (経営学)	1.08	平成 12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士 (経営学)	1.13	平成 12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士 (経済学)	1.10	平成 12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	1.15	平成 12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士 (理学)	1.02	平成 12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士 (工学)	1.09	平成 16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士 (工学)	1.07	平成 12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士 (工学)	1.09	平成 12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士 (工学)	0.86	平成 25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士 (工学)	1.11	平成 12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士 (工学)	1.04	平成 12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士 (工学)	1.02	平成 25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.12	平成 12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士 (工学)	1.08	平成 12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士 (工学)	1.10	平成 12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.10	平成 11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.11	平成 11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.06	平成 17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士 (薬学)	1.10	平成 18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士 (都市情報学)	1.07	平成 7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士 (人間学)	1.08	平成 15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士 (外国語学)	1.09	平成 28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入 学 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士 (法学)	0.33	昭和 42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士 (法学)	0.04	昭和 44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士 (経営学)	0.72	平成 13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (経営学)	0.22	平成 15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.60	平成 12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (経済学)	0.22	平成 14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士 (理学)	0.87	平成 14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (理学)	0.00	平成 7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士 (工学)	0.73	平成 14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士 (工学)	1.50	平成 14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士 (工学)	1.26	平成 14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士 (工学)	1.04	平成 29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士 (工学)	1.32	平成 14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.40	平成 4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士 (工学)	1.18	平成 14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士 (工学)	1.15	平成 29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士 (工学)	0.61	平成 14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士 (工学)	0.60	平成 14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士 (工学)	0.56	平成 14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<理工学部 電気電子工学科>

##### (1) 専任教員数等

##### (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	4	0	0	15	10	6	0	1	17	10	6	0	1	17
(10)	(6)	(0)	(1)	(17)						[ Δ1 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 2 ]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

##### (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

##### (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

##### (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <理工学部 電気電子工学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">理工学部電気電子工学科（520名→600名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容</p> <p>教授：11名 准教授：4名 講師：0名 助教：0名 計15名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試(A方式)</td> <td>50</td> <td>1,062</td> <td>1,044</td> <td>353</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>一般入試(M方式)</td> <td>20</td> <td>271</td> <td>257</td> <td>78</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>一般入試(F方式)</td> <td>20</td> <td>681</td> <td>670</td> <td>219</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>一般入試(B方式)</td> <td>5</td> <td>146</td> <td>113</td> <td>20</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>一般入試(C方式)</td> <td>7</td> <td>273</td> <td>273</td> <td>122</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>48</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>49</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>150</td> <td>2,497</td> <td>2,421</td> <td>841</td> <td>167</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：10名 准教授：6名 講師：0名 助教：1名 計17名</p> <p>教員採用計画の変更により、内訳の変更及び2名の増員を行いました。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試(A方式)	50	1,062	1,044	353	78	一般入試(M方式)	20	271	257	78	12	一般入試(F方式)	20	681	670	219	20	一般入試(B方式)	5	146	113	20	7	一般入試(C方式)	7	273	273	122	7	推薦・特別入試	48	64	64	49	43	合計	150	2,497	2,421	841	167
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試(A方式)	50	1,062	1,044	353	78																																												
一般入試(M方式)	20	271	257	78	12																																												
一般入試(F方式)	20	681	670	219	20																																												
一般入試(B方式)	5	146	113	20	7																																												
一般入試(C方式)	7	273	273	122	7																																												
推薦・特別入試	48	64	64	49	43																																												
合計	150	2,497	2,421	841	167																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自律的学習支援施設であるラーニング commons の設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 理工学部 電気電子工学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白 1 4 号館	4 2 0 m <sup>2</sup>	8 5 1 m <sup>2</sup>
②ドーム前キャンパス北・東館	1 0, 8 8 9 m <sup>2</sup>	1 3, 7 2 7 m <sup>2</sup>
③可児 1 号館	2, 9 3 4 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
④可児 2 号館	4, 1 9 0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑤可児 3 号館 (A 棟)	7 0 1 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑥可児 3 号館 (B 棟)	1, 8 2 2 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑦都市情報学研究所	3 8 5 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑧可児体育館	1, 7 8 3 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
	完成時（平成 33 年 3 月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，上記様式により提出してください。  
 ただし，面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には，この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を，建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には，「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に，「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②トーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

# D

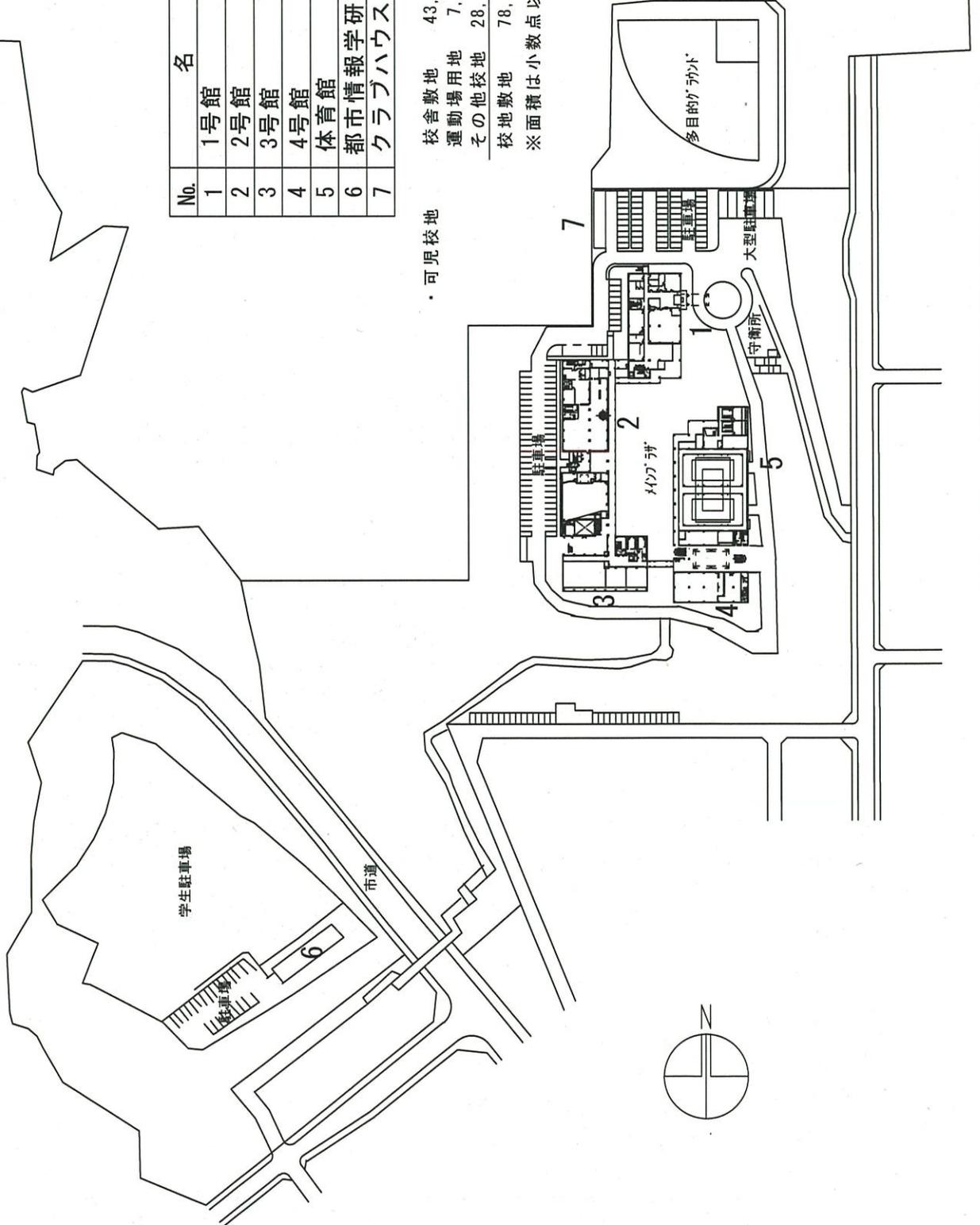
No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

・可児校地

校舎面積 10,032㎡

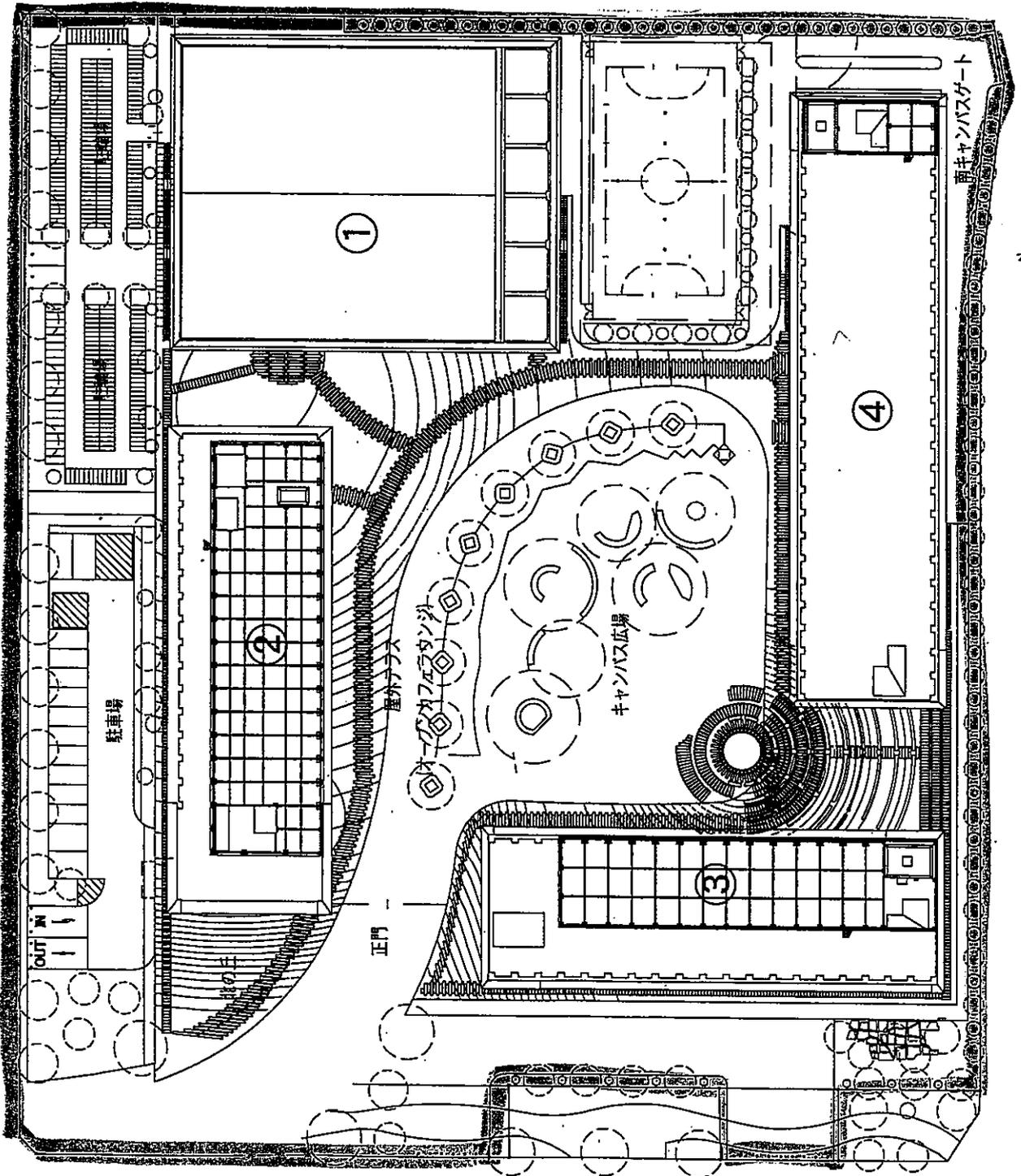
※面積は小数点以下四捨五入。



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズキ</small> 木 千 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 理工学部

<材料機能工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
理工学部長	(カトリ ヒロアキ) 加鳥裕明 (平成27年4月)		
材料機能工 学科長	(カミヤマ サトシ) 上山智 (平成27年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 材料機能工学科 学士(工学)	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	65 (-) [-]	人	65 (-) [-]	人	65 (-) [-]	人	80 (-) [-]	人	1.09 倍			
志願者数	1,199 (0) [0]	- (-) [-]	954 (0) [0]	- (-) [-]	958 (0) [0]	- (-) [-]	1,174 (0) [0]	- (-) [-]				
受験者数	1,168 (0) [0]	- (-) [-]	928 (0) [0]	- (-) [-]	931 (0) [0]	- (-) [-]	1,135 (0) [0]	- (-) [-]				
合格者数	357 (0) [0]	- (-) [-]	393 (0) [0]	- (-) [-]	430 (0) [0]	- (-) [-]	437 (0) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	60 (0) [0]	- (-) [-]	60 (0) [0]	- (-) [-]	77 (0) [0]	- (-) [-]	109 (0) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	0.92		0.92		1.18		1.36					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 0 ] (1) 61	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 60	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 77	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 109	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 1 ] (2) 90	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (12) 69	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (12) 71	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (9) 85	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 2 ] (1) 109	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 77	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 53	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 59	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 0 ] (18) 121	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (14) 119	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (23) 98	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (18) 71	[ - ] ( - ) -	
計	[ 3 ] (22) 381	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (27) 325	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (35) 299	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (27) 324	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	60人	7人	平成26年度	2人	0人	進路変更(1人)、他大学入学(1人)	11.66%
			平成27年度	4人	0人	経済的都合(1人)、進路変更(2人)、病気 怪我(1人)	
			平成28年度	1人	0人	就学の意味なし(1人)	
			平成29年度	0人	0人		
平成27年度 入学者	60人	2人	平成27年度	1人	0人	進路変更(1人)	3.33%
			平成28年度	1人	0人	進路変更(1人)	
			平成29年度	0人	0人		
平成28年度 入学者	77人	2人	平成28年度	2人	0人	進路変更(2人)	2.59%
			平成29年度	0人	0人		
平成29年度 入学者	109人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00%
合計	306人	11人					3.59%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 <del>449</del> 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) <del>(12,150)</del>	(14,030) <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>(12,150)</del>	14,040 <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更
経費の見積り	教員1人当り研究費等	薬学部以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書購入費	薬学部以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円
	共同研究費等	薬学部以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備購入費	薬学部以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円
	(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-	
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-		
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-		
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円		
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-		
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-		
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学								備考			
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地				
	年	人	年次 人	人		倍						
法学部									平成28年より 学生募集停止			
法学科	4	400	-	1,520	学士 (法学)	1.07	平成 11年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地				
応用実務法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	平成 11年度					
経営学部										愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
経営学科	4	215	-	800	学士 (経営学)	1.08	平成 12年度					
国際経営学科	4	95	-	365	学士 (経営学)	1.13	平成 12年度					
経済学部											愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	
経済学科	4	210	-	765	学士 (経済学)	1.10	平成 12年度					
産業社会学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	1.15	平成 12年度					
理工学部												愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
数学科	4	90	-	345	学士 (理学)	1.02	平成 12年度					
情報工学科	4	150	-	585	学士 (工学)	1.09	平成 16年度					
電気電子工学科	4	150	-	540	学士 (工学)	1.07	平成 12年度					
材料機能工学科	4	80	-	275	学士 (工学)	1.09	平成 12年度					
応用化学科	4	70	-	250	学士 (工学)	0.86	平成 25年度					
機械工学科	4	125	-	485	学士 (工学)	1.11	平成 12年度					
交通機械工学科	4	125	-	455	学士 (工学)	1.04	平成 12年度					
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士 (工学)	1.02	平成 25年度					
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.12	平成 12年度					
環境創造学科	4	80	-	350	学士 (工学)	1.08	平成 12年度					
建築学科	4	145	-	550	学士 (工学)	1.10	平成 12年度					
農学部												
生物資源学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.10	平成 11年度					
応用生物化学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.11	平成 11年度					
生物環境科学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.06	平成 17年度					
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地				
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士 (薬学)	1.10	平成 18年度					
都市情報学部									愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9			
都市情報学科	4	220	-	820	学士 (都市情報学)	1.07	平成 7年度					
人間学部												
人間学科	4	220	-	820	学士 (人間学)	1.08	平成 15年度					
外国語学部									愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9			
国際英語学科	4	130	-	260	学士 (外国語学)	1.09	平成 28年度					

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<理工学部 材料機能工学科>

##### (1) 専任教員数等

##### (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	4	0	1	12	7	4	0	1	12	7	4	0	1	12
(7)	(4)	(0)	(1)	(12)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

##### (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

##### (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

##### (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

<理工学部 材料機能工学科>

### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p>理工学部材料機能工学科（260名→320名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p>(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p>(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p>①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p>②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p>③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p>④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p>(c) 教員組織の変更内容 教授：7名 准教授：4名 講師：0名 助教：1名 計12名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試(A方式)</td> <td>20</td> <td>398</td> <td>390</td> <td>159</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>一般入試(M方式)</td> <td>7</td> <td>123</td> <td>121</td> <td>55</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>一般入試(F方式)</td> <td>10</td> <td>327</td> <td>322</td> <td>117</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>一般入試(B方式)</td> <td>7</td> <td>98</td> <td>75</td> <td>11</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>一般入試(C方式)</td> <td>8</td> <td>172</td> <td>172</td> <td>64</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>28</td> <td>56</td> <td>55</td> <td>31</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>80</td> <td>1,174</td> <td>1,135</td> <td>437</td> <td>109</td> </tr> </tbody> </table> <p>本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のとおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：7名 准教授：4名 講師：0名 助教：1名 計12名</p> <p>教員組織に変更はありません。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試(A方式)	20	398	390	159	45	一般入試(M方式)	7	123	121	55	18	一般入試(F方式)	10	327	322	117	18	一般入試(B方式)	7	98	75	11	1	一般入試(C方式)	8	172	172	64	3	推薦・特別入試	28	56	55	31	24	合計	80	1,174	1,135	437	109
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試(A方式)	20	398	390	159	45																																												
一般入試(M方式)	7	123	121	55	18																																												
一般入試(F方式)	10	327	322	117	18																																												
一般入試(B方式)	7	98	75	11	1																																												
一般入試(C方式)	8	172	172	64	3																																												
推薦・特別入試	28	56	55	31	24																																												
合計	80	1,174	1,135	437	109																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモন্ズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 理工学部 材料機能工学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。  
 ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②トーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

# D

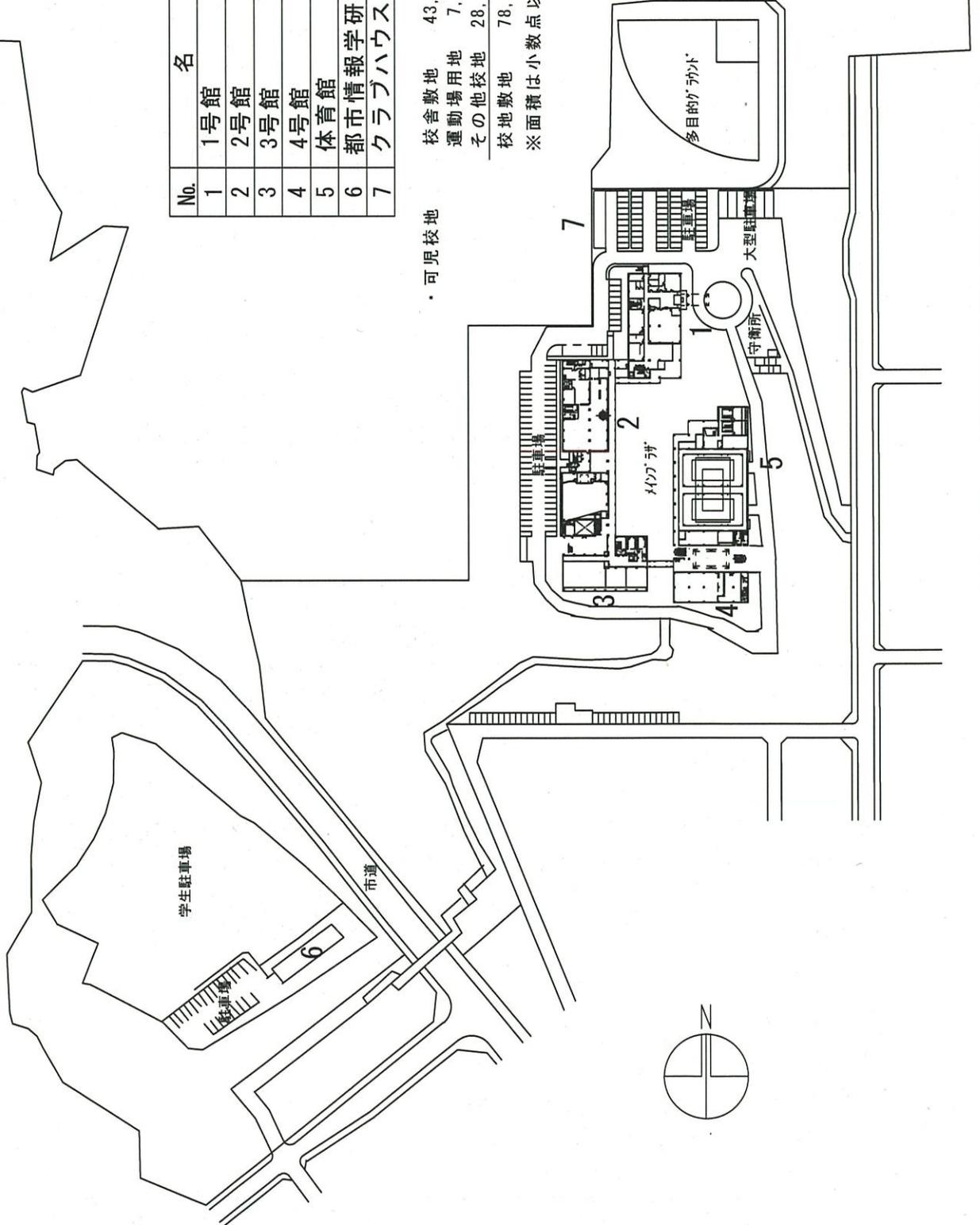
No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

・可児校地

校舎面積 10,032㎡

※面積は小数点以下四捨五入。

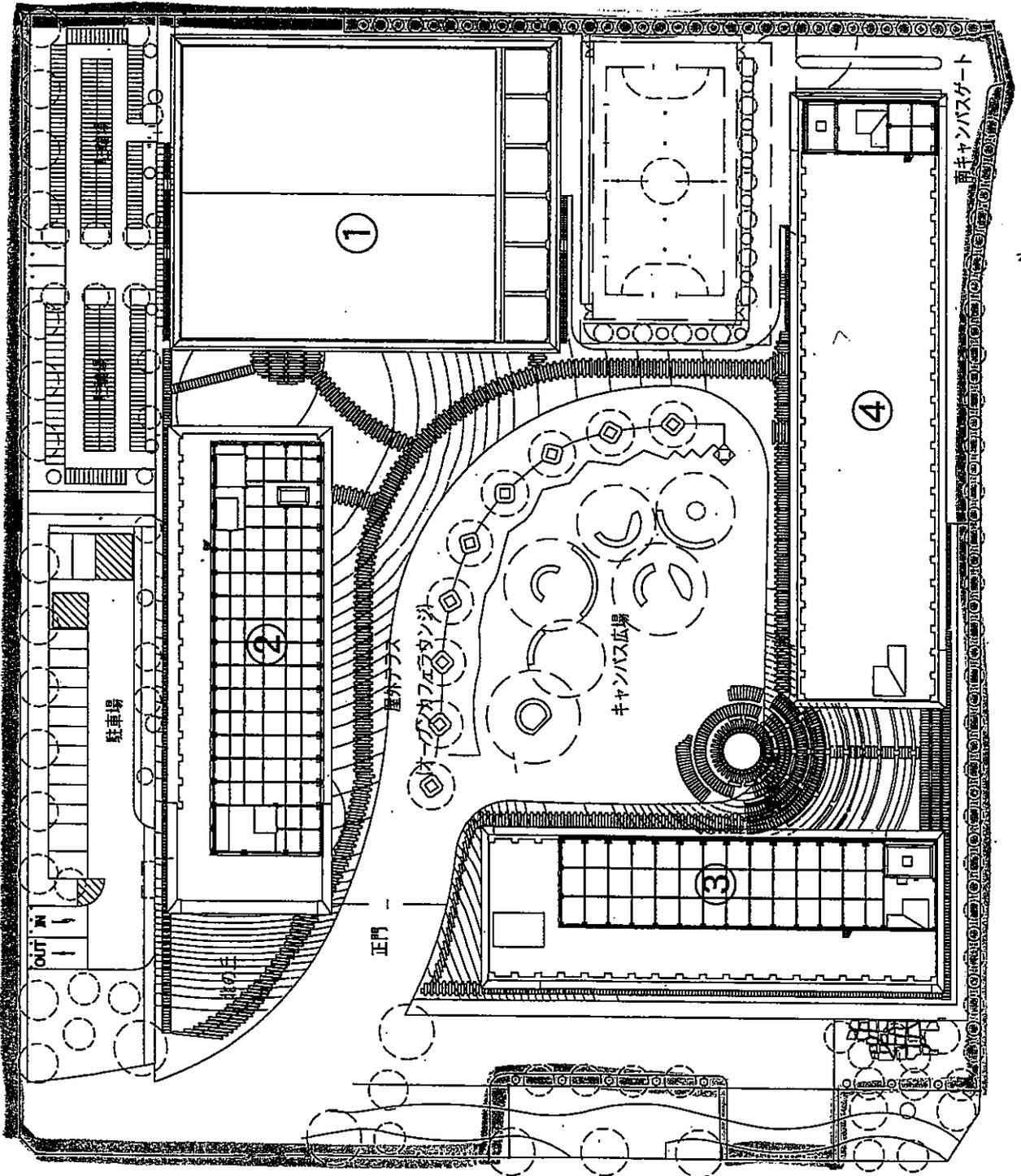


テニスコート



# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス

**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営本部総合政策部

職名・氏名 課長 スズ鈴木 キチ千 トシ敏

電話番号 052-838-2004

（夜間） 052-838-2004

F A X 052-832-2317

e-mail oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 理工学部

### <応用化学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
理工学部長	(カトリ ヒロアキ) 加鳥裕明 (平成27年4月)		
応用化学科長	(ナガタ トオシ) 永田央 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 応用化学科 学士 (工学)	4年	70人	- 年次人	280人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を ( ) 書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [-]	-	60 (-) [-]	-	60 (-) [-]	-	70 (-) [-]	-			0.86 倍	
志願者数	1,598 (-) [0]	- (-) [-]	1,704 (2) [0]	- (-) [-]	1,623 (1) [0]	- (-) [-]	1,678 (0) [0]	- (-) [-]				
受験者数	1,565 (-) [0]	- (-) [-]	1,651 (1) [0]	- (-) [-]	1,589 (1) [0]	- (-) [-]	1,632 (0) [0]	- (-) [-]				
合格者数	445 (-) [0]	- (-) [-]	491 (1) [0]	- (-) [-]	453 (0) [0]	- (-) [-]	546 (0) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	55 (0) [0]	- (-) [-]	63 (0) [0]	- (-) [-]	45 (0) [0]	- (-) [-]	52 (0) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	0.91		1.05		0.75		0.74					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる  
「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 0 ] (0) 55	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 63	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 45	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 53	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 0 ] (0) 64	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 54	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (5) 68	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (5) 48	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ - ] (0) -	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 63	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 48	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 62	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ - ] (0) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] (0) -	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 62	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (3) 50	[ - ] ( - ) -	
計	[ 0 ] (0) 119	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 180	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (6) 223	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (9) 213	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	55 人	3 人	平成26年度	2 人	0 人	進路変更(1人)、病気怪我(1人)	5.45 %
			平成27年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	63 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	1.58 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	45 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	他大学入学(1人)	2.22 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	52 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	215 人	5 人					2.32 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 <del>449</del> 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) <del>(12,150)</del>	(14,030) <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>(12,150)</del>	14,040 <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更	
										学部名
経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部 以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書 購入費	薬学部 以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	
	共同研究 費等	薬学部 以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備 購入費	薬学部 以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	
	(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-		
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-			
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-			
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円			
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-			
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-			
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士 (法学)	1.07	平成 11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	平成 11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士 (経営学)	1.08	平成 12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士 (経営学)	1.13	平成 12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士 (経済学)	1.10	平成 12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	1.15	平成 12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士 (理学)	1.02	平成 12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士 (工学)	1.09	平成 16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士 (工学)	1.07	平成 12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士 (工学)	1.09	平成 12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士 (工学)	0.86	平成 25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士 (工学)	1.11	平成 12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士 (工学)	1.04	平成 12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士 (工学)	1.02	平成 25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.12	平成 12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士 (工学)	1.08	平成 12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士 (工学)	1.10	平成 12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.10	平成 11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.11	平成 11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.06	平成 17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士 (薬学)	1.10	平成 18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士 (都市情報学)	1.07	平成 7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士 (人間学)	1.08	平成 15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士 (外国語学)	1.09	平成 28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<理工学部 応用化学科>

##### (1) 専任教員数等

##### (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
5	3	0	2	10	5	3	0	2	10	5	3	0	2	10
(5)	(3)	(0)	(2)	(10)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

##### (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

##### (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

##### (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <理工学部 応用化学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">理工学部応用化学科（240名→280名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容 教授：5名 准教授：3名 講師：0名 助教：2名 計10名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>23</td> <td>658</td> <td>646</td> <td>209</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>5</td> <td>143</td> <td>140</td> <td>44</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>10</td> <td>482</td> <td>477</td> <td>150</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>5</td> <td>121</td> <td>95</td> <td>19</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>7</td> <td>243</td> <td>243</td> <td>101</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>20</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>23</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>70</td> <td>1,678</td> <td>1,632</td> <td>546</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p style="margin-top: 20px;">教授：5名 准教授：3名 講師：0名 助教：2名 計10名</p> <p style="text-align: center;">教員組織に変更はありません。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	23	658	646	209	13	一般入試 (M方式)	5	143	140	44	11	一般入試 (F方式)	10	482	477	150	6	一般入試 (B方式)	5	121	95	19	3	一般入試 (C方式)	7	243	243	101	2	推薦・特別入試	20	31	31	23	17	合計	70	1,678	1,632	546	52
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	23	658	646	209	13																																												
一般入試 (M方式)	5	143	140	44	11																																												
一般入試 (F方式)	10	482	477	150	6																																												
一般入試 (B方式)	5	121	95	19	3																																												
一般入試 (C方式)	7	243	243	101	2																																												
推薦・特別入試	20	31	31	23	17																																												
合計	70	1,678	1,632	546	52																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモন্ズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成29年度開設

名城大学 理工学部 応用化学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。  
 ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②トーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

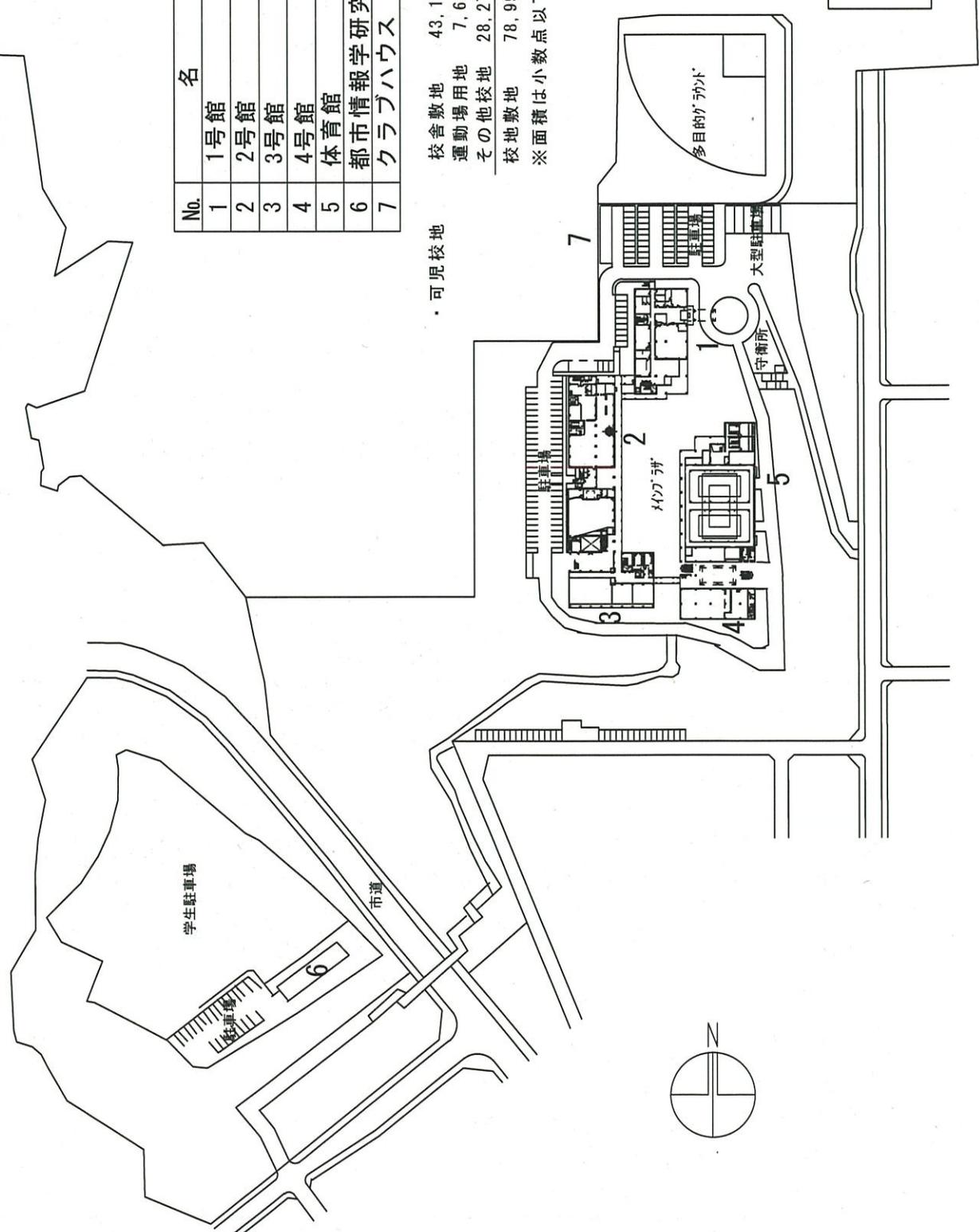
# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡  
 ※面積は小数点以下四捨五入。

・可児校地

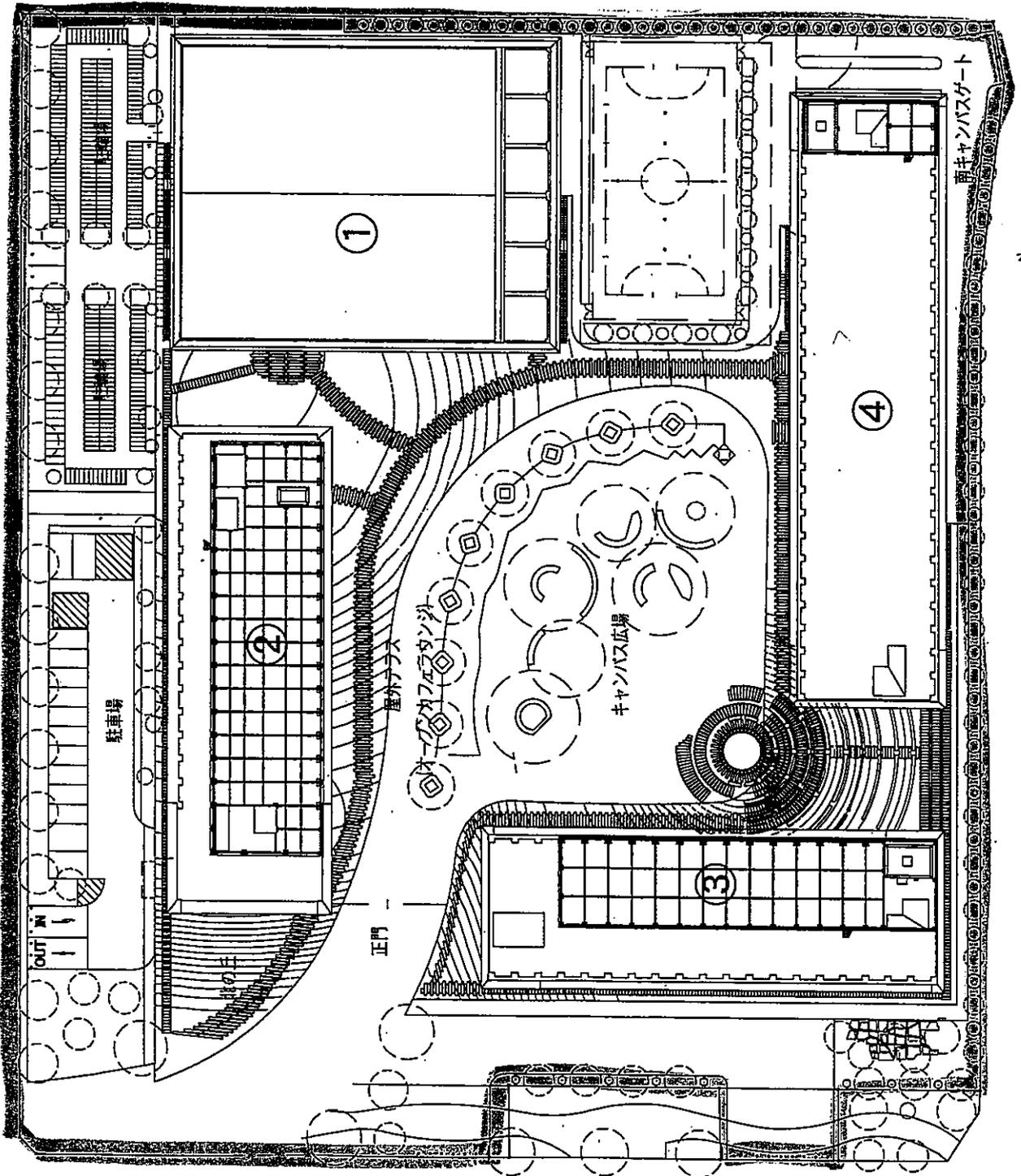
校舎面積 10,032㎡



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

**認可**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営本部総合政策部

職名・氏名 課長 スズ 鈴 キ 木 チ 千 トシ 敏

電話番号 052-838-2004

（夜間） 052-838-2004

F A X 052-832-2317

e-mail oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 理工学部

### <機械工学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
理工学部長	(カトリ ヒロアキ) 加鳥裕明 (平成27年4月)		
機械工学科長	(フジヤマ カズナリ) 藤山一成 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 機械工学科 学士(工学)	4年	125人	- 年次人	500人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120 (-) [-]	-	120 (-) [-]	-	120 (-) [-]	-	125 (-) [-]	-	1.11 倍			
志願者数	2,527 (1) [1]	- (-) [-]	2,291 (0) [2]	- (-) [-]	2,800 (2) [2]	- (-) [-]	2,712 (1) [0]	- (-) [-]				
受験者数	2,456 (1) [1]	- (-) [-]	2,916 (0) [2]	- (-) [-]	2,708 (1) [2]	- (-) [-]	2,629 (1) [0]	- (-) [-]				
合格者数	867 (1) [1]	- (-) [-]	812 (0) [1]	- (-) [-]	751 (0) [0]	- (-) [-]	863 (0) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	159 (0) [1]	- (-) [-]	146 (0) [1]	- (-) [-]	106 (0) [0]	- (-) [-]	132 (0) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.32		1.21		0.88		1.05					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] (1) 160	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (5) 151	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (4) 110	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (6) 138	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 1 ] (1) 121	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (15) 169	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (21) 166	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (19) 119	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 3 ] (1) 181	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (3) 105	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (0) 142	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (1) 140	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 0 ] (18) 181	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (12) 185	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (28) 130	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (14) 155	[ - ] ( - ) -	
計	[ 5 ] (21) 643	[ - ] ( - ) -	[ 6 ] (35) 610	[ - ] ( - ) -	[ 5 ] (53) 548	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (40) 552	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	159 人	10 人	平成26年度	1 人	0 人	他大学入学(1人)	6.28 %
			平成27年度	4 人	0 人	就学の意味なし(2人)、他大学入学(2人)	
			平成28年度	5 人	0 人	就学の意味なし(1人)、就職(1人)、進路 再考(1人)、進路変更(1人)、病気怪我(1 人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	146 人	6 人	平成27年度	2 人	0 人	他大学受験(1人)、他大学入学(1人)	4.10 %
			平成28年度	4 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(2人)、他大 学入学(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	106 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	他大学入学(2人)	1.88 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	132 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	543 人	18 人					3.31 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 449 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 12,150	14,040 <del>12,601</del>	120 123	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) (12,150)	(14,030) (12,591)	120 (123)	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 (28,114) (12,150)	14,040 (14,030) (12,591)	120 123 (123)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 1,545席		1,575,305冊 1,533,833冊				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

	区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部	474千円	474千円	図書 購入費	薬学部	84,517千円	86,230千円	86,230千円
			以外	479千円	479千円		以外	218,869千円	218,869千円	218,869千円
		共同研究 費等	薬学部	476千円	476千円	設備 購入費	薬学部	2,610千円	2,663千円	2,663千円
			以外	477千円	477千円		以外	6,998千円	6,998千円	6,998千円
			薬学部	68,632千円	68,632千円		薬学部	510,884千円	318,538千円	318,538千円
			以外	53,108千円	53,108千円		以外	668,617千円	668,617千円	668,617千円
		薬学部	12,144千円	12,144千円		薬学部	152,418千円	96,326千円	96,326千円	
			9,656千円	9,656千円			138,049千円	138,049千円	138,049千円	
	学生 1人 当り 納付 金	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-		
		理工学部	1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-		
		農学部	1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-		
		薬学部	2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円		
		都市情報学部	1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-		
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-			
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士(法学)	1.07	平成11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	平成11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士(経営学)	1.08	平成12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士(経営学)	1.13	平成12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士(経済学)	1.10	平成12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士(経済学)	1.15	平成12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士(理学)	1.02	平成12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士(工学)	1.09	平成16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士(工学)	1.07	平成12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士(工学)	1.09	平成12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士(工学)	0.86	平成25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士(工学)	1.11	平成12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士(工学)	1.04	平成12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士(工学)	1.02	平成25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.12	平成12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士(工学)	1.08	平成12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士(工学)	1.10	平成12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.10	平成11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.11	平成11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.06	平成17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士(薬学)	1.10	平成18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士(都市情報学)	1.07	平成7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士(人間学)	1.08	平成15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士(外国語学)	1.09	平成28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は 称 号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻 修士課程	2	15	-	30	修士 (法学)	0.33	昭和 42年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	
博士後期課程	3	8	-	24	博士 (法学)	0.04	昭和 44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (経営学)	0.72	平成 13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (経営学)	0.22	平成 15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻 修士課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.60	平成 12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (経済学)	0.22	平成 14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (理学)	0.87	平成 14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (理学)	0.00	平成 7年度		
情報工学専攻 修士課程	2	30	-	60	修士 (工学)	0.73	平成 14年度		
電気電子工学専攻 博士前期課程	2	20	-	40	修士 (工学)	1.50	平成 14年度		
材料機能工学専攻 修士課程	2	30	-	60	修士 (工学)	1.26	平成 14年度		
応用化学専攻 修士課程	2	24	-	24	修士 (工学)	1.04	平成 29年度		
機械工学専攻 修士課程	2	24	-	44	修士 (工学)	1.32	平成 14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.40	平成 4年度		
交通機械工学専攻 修士課程	2	16	-	32	修士 (工学)	1.18	平成 14年度		
メカトロニクス工学専攻 修士課程	2	20	-	20	修士 (工学)	1.15	平成 29年度		
社会基盤デザイン工学専攻 修士課程	2	18	-	38	修士 (工学)	0.61	平成 14年度		
環境創造学専攻 修士課程	2	8	-	18	修士 (工学)	0.60	平成 14年度		
建築学専攻 修士課程	2	16	-	32	修士 (工学)	0.56	平成 14年度		

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<理工学部 機械工学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	8	0	0	15	7	7	0	1	15	7	7	0	1	15
(7)	(7)	(0)	(1)	(15)						[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

<理工学部 機械工学科>

### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">理工学部機械工学科（480名→500名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系的性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容</p> <p>教授：7名 准教授：8名 講師：0名 助教：0名 計15名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>45</td> <td>1,178</td> <td>1,160</td> <td>394</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>15</td> <td>232</td> <td>226</td> <td>67</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>10</td> <td>749</td> <td>737</td> <td>267</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>10</td> <td>172</td> <td>125</td> <td>14</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>5</td> <td>294</td> <td>294</td> <td>77</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>40</td> <td>87</td> <td>87</td> <td>44</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>125</td> <td>2,712</td> <td>2,629</td> <td>863</td> <td>132</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系的性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：7名 准教授：7名 講師：0名 助教：1名 計15名</p> <p>教員採用計画の変更、及び准教授1名の昇格により内訳の変更を行いました。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	45	1,178	1,160	394	58	一般入試 (M方式)	15	232	226	67	10	一般入試 (F方式)	10	749	737	267	20	一般入試 (B方式)	10	172	125	14	4	一般入試 (C方式)	5	294	294	77	2	推薦・特別入試	40	87	87	44	38	合計	125	2,712	2,629	863	132
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	45	1,178	1,160	394	58																																												
一般入試 (M方式)	15	232	226	67	10																																												
一般入試 (F方式)	10	749	737	267	20																																												
一般入試 (B方式)	10	172	125	14	4																																												
一般入試 (C方式)	5	294	294	77	2																																												
推薦・特別入試	40	87	87	44	38																																												
合計	125	2,712	2,629	863	132																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモنزの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
--	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあったに関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 理工学部 機械工学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，上記様式により提出してください。  
 ただし，面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には，この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を，建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には，「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に，「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②トーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

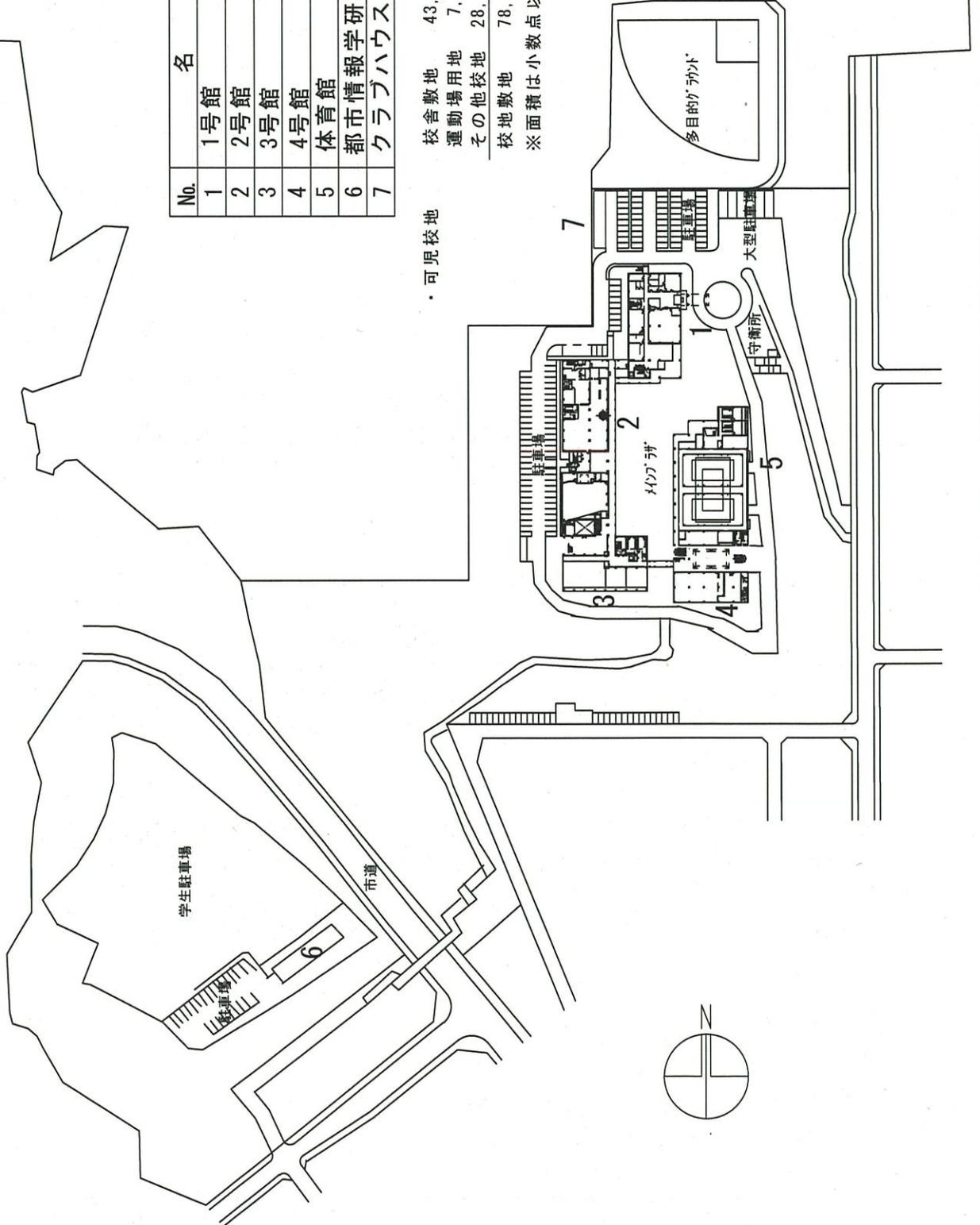
# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡ 校舎面積 10,032㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

※面積は小数点以下四捨五入。

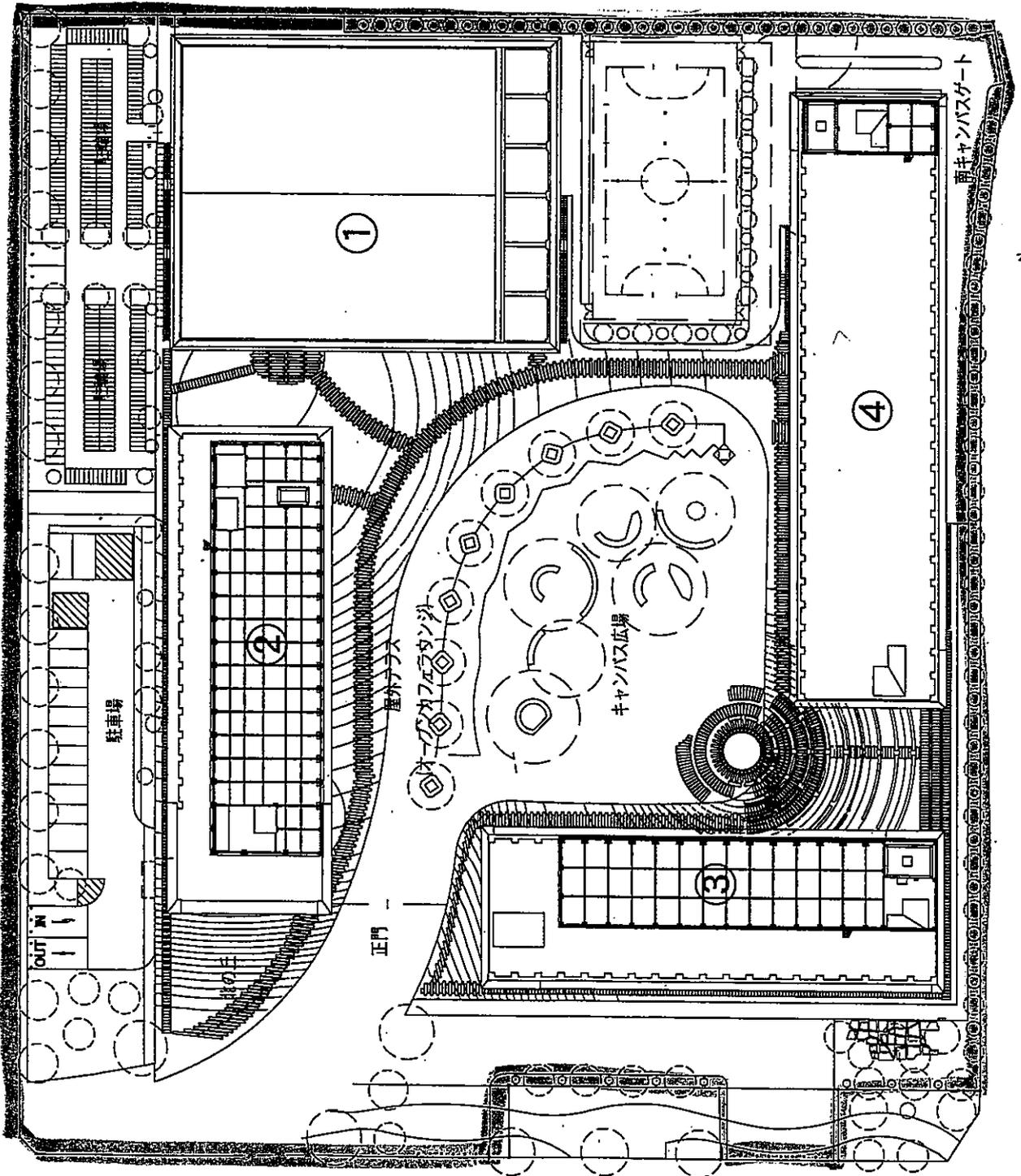
・可児校地



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズ</small> 鈴 <small>キ</small> 木 <small>チ</small> 千 <small>トシ</small> 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 理工学部

＜交通機械工学科＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	.....	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	.....	7
3. 既設大学等の状況	.....	9
4. 教員組織の状況	.....	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	.....	13
6. その他全般的事項	.....	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
理工学部長	(カトリ ヒロアキ) 加鳥裕明 (平成27年4月)		
交通機械工 学科長	(スズキ マサヒロ) 鈴木昌弘 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 交通機械工学科 学士(工学)	4年	125人	- 年次人	500人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	110 (-) [-]	-	110 (-) [-]	-	110 (-) [-]	-	125 (-) [-]	-	1.04 倍			
志願者数	1,500 (0) [3]	- (-) [-]	1,353 (0) [0]	- (-) [-]	1,373 (2) [1]	- (-) [-]	1,362 (0) [0]	- (-) [-]				
受験者数	1,472 (0) [3]	- (-) [-]	1,317 (0) [0]	- (-) [-]	1,332 (2) [1]	- (-) [-]	1,334 (0) [0]	- (-) [-]				
合格者数	361 (0) [2]	- (-) [-]	370 (0) [0]	- (-) [-]	378 (2) [0]	- (-) [-]	351 (0) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	134 (0) [2]	- (-) [-]	109 (0) [0]	- (-) [-]	120 (1) [0]	- (-) [-]	111 (0) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.21		0.99		1.09		0.88					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] (0) 134	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 110	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 120	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 111	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 3 ] (2) 121	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (21) 153	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (30) 139	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (15) 132	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 2 ] (1) 156	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (1) 94	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (0) 122	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (0) 117	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 0 ] (22) 158	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (15) 169	[ - ] ( - ) -	[ 4 ] (20) 113	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (11) 133	[ - ] ( - ) -	
計	[ 7 ] (25) 569	[ - ] ( - ) -	[ 7 ] (38) 526	[ - ] ( - ) -	[ 6 ] (50) 494	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (26) 493	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	134 人	8 人	平成26年度	2 人	0 人	就学の意味なし(1人)、他大学入学(1人)	5.97 %
			平成27年度	2 人	0 人	就学の意味なし(1人)、進路変更(1人)	
			平成28年度	4 人	0 人	就学の意味なし(2人)、就職(1人)、他大 学入学(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	109 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	120 人	4 人	平成28年度	4 人	0 人	就学の意味なし(2人)、進路変更(1人)、 他大学受験(1人)	3.33 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	111 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	474 人	12 人					2.53 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 <del>449</del> 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) <del>(12,150)</del>	(14,030) <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更	
										学部名
経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部 以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書 購入費	薬学部 以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	
	共同研究 費等	薬学部 以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備 購入費	薬学部 以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	
	(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-		
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-			
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-			
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円			
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-			
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-			
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士(法学)	1.07	平成11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	平成11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士(経営学)	1.08	平成12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士(経営学)	1.13	平成12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士(経済学)	1.10	平成12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士(経済学)	1.15	平成12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士(理学)	1.02	平成12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士(工学)	1.09	平成16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士(工学)	1.07	平成12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士(工学)	1.09	平成12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士(工学)	0.86	平成25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士(工学)	1.11	平成12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士(工学)	1.04	平成12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士(工学)	1.02	平成25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.12	平成12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士(工学)	1.08	平成12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士(工学)	1.10	平成12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.10	平成11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.11	平成11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.06	平成17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士(薬学)	1.10	平成18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士(都市情報学)	1.07	平成7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士(人間学)	1.08	平成15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士(外国語学)	1.09	平成28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
大学院法学研究科 法律学専攻										
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度			
大学院経営学研究科 経営学専攻										
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度			
大学院経済学研究科 経済学専攻										
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度			
大学院理工学研究科 数学専攻										
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度			
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度			
情報工学専攻										
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度			
電気電子工学専攻										
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度			
材料機能工学専攻										
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度			
応用化学専攻										
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度			
機械工学専攻										
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度			
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度			
交通機械工学専攻										
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度			
メカトロニクス工学専攻										
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度			
社会基盤デザイン工学専攻										
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度			
環境創造学専攻										
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度			
建築学専攻										
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度			

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<理工学部 交通機械工学科>

##### (1) 専任教員数等

##### (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
6	7	1	0	14	6	7	1	0	14	6	7	1	0	14
(6)	(7)	(1)	(0)	(14)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

##### (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

##### (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

##### (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <理工学部 交通機械工学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">理工学部交通機械工学科（440名→500名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系的な、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容 教授：6名 准教授：7名 講師：1名 助教：0名 計14名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>35</td> <td>451</td> <td>446</td> <td>101</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>15</td> <td>180</td> <td>176</td> <td>57</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>15</td> <td>404</td> <td>401</td> <td>96</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>10</td> <td>113</td> <td>97</td> <td>12</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>7</td> <td>134</td> <td>134</td> <td>40</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>43</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>45</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>125</td> <td>1,362</td> <td>1,334</td> <td>351</td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系的及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p style="margin-top: 20px;">教授：6名 准教授：7名 講師：1名 助教：0名 計14名</p> <p style="text-align: center;">教員組織に変更はありません。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	35	451	446	101	28	一般入試 (M方式)	15	180	176	57	18	一般入試 (F方式)	15	404	401	96	15	一般入試 (B方式)	10	113	97	12	5	一般入試 (C方式)	7	134	134	40	4	推薦・特別入試	43	80	80	45	41	合計	125	1,362	1,334	351	111
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	35	451	446	101	28																																												
一般入試 (M方式)	15	180	176	57	18																																												
一般入試 (F方式)	15	404	401	96	15																																												
一般入試 (B方式)	10	113	97	12	5																																												
一般入試 (C方式)	7	134	134	40	4																																												
推薦・特別入試	43	80	80	45	41																																												
合計	125	1,362	1,334	351	111																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモন্ズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあったに関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成29年度開設

名城大学 理工学部 交通機械工学科		
建物区分	認可時の計画	変更計画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。  
 ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②ドーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

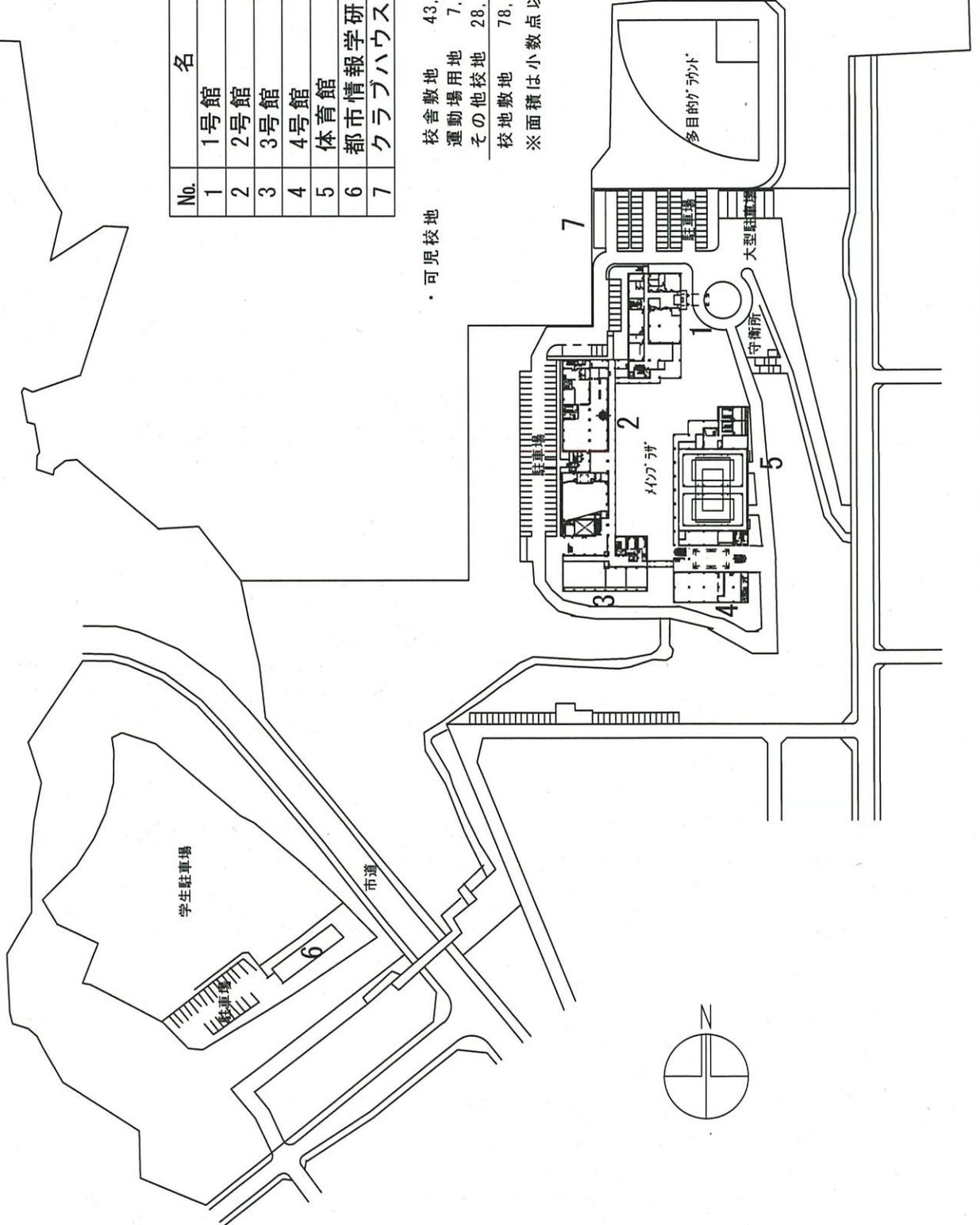
# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡ 校舎面積 10,032㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

※面積は小数点以下四捨五入。

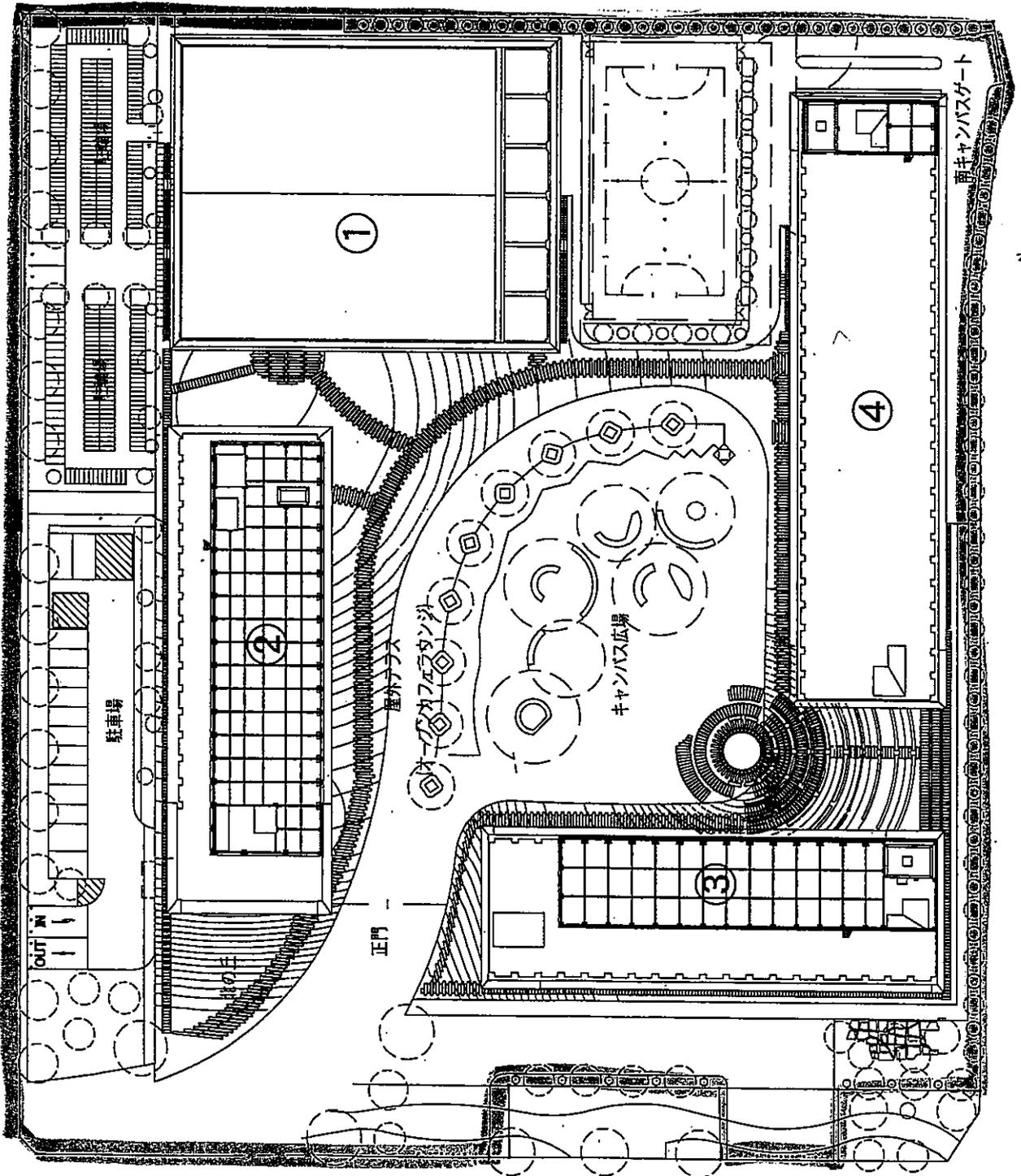
・可児校地



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営本部総合政策部

職名・氏名 課長 スズ 鈴 キ 木 チ 千 トシ 敏

電話番号 052-838-2004

（夜間） 052-838-2004

F A X 052-832-2317

e-mail oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 理工学部

<メカトロニクス工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
理工学部長	(カトリ ヒロアキ) 加鳥裕明 (平成27年4月)		
メカトロニクス工 学科長	(ヤン チェンミン) 楊劍鳴 (平成28年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 メカトロニクス工学科 学士(工学)	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	75 (-) [-]	-	75 (-) [-]	-	75 (-) [-]	-	80 (-) [-]	-			1.02 倍	
志願者数	973 (-) [0]	- (-) [-]	991 (0) [0]	- (-) [-]	1,021 (0) [0]	- (-) [-]	1,068 (0) [0]	- (-) [-]				
受験者数	929 (-) [0]	- (-) [-]	960 (0) [0]	- (-) [-]	974 (0) [0]	- (-) [-]	1,034 (0) [0]	- (-) [-]				
合格者数	256 (-) [0]	- (-) [-]	272 (0) [0]	- (-) [-]	299 (0) [0]	- (-) [-]	286 (0) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	73 (0) [0]	- (-) [-]	81 (0) [0]	- (-) [-]	81 (0) [0]	- (-) [-]	77 (0) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	0.97		1.08		1.08		0.96					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 0 ] (3) 76	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (3) 84	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 83	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 79	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 0 ] (0) 101	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (8) 80	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (8) 87	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (6) 86	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ - ] (0) -	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 91	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 71	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 80	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ - ] (0) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] (0) -	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 91	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (4) 73	[ - ] ( - ) -	
計	[ 0 ] (3) 177	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (11) 255	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (10) 332	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (13) 318	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	73 人	1 人	平成26年度	0 人	0 人		1.36 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	81 人	3 人	平成27年度	3 人	0 人	就学的意思なし(1人)、進路変更(1人)、 他大学受験(1人)	3.70 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	81 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	就学的意思なし(1人)	1.23 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	77 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	312 人	5 人					1.60 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)					
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>						
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>						
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>						
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>						
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>						
(2) 校 舎	専 用	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del>	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少					
	(232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	(0.00㎡)	(0.00㎡)	(232,261.33㎡) (238,413.83㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	171室 <del>187室</del>	演 習 室	154室 <del>187室</del>	実験実習室	231室 <del>230室</del>	情報処理学習施設	26室 <del>29室</del>	語学学習施設	5室	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少
	(補助職員 9人)	(補助職員 5人)									
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)					
	大学全体			470 449 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)			
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>				
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>				
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) (12,150)	(14,030) (12,591)	120 (123)				
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)					
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)					
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル									

	区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部	474千円	474千円	図書 購入費	薬学部	84,517千円	86,230千円	86,230千円
			以外	479千円	479千円		以外	218,869千円	218,869千円	218,869千円
		共同研究 費等	薬学部	476千円	476千円	設備 購入費	薬学部	2,610千円	2,663千円	2,663千円
			以外	477千円	477千円		以外	6,998千円	6,998千円	6,998千円
			薬学部	68,632千円	68,632千円		薬学部	510,884千円	318,538千円	318,538千円
			以外	53,108千円	53,108千円		以外	668,617千円	668,617千円	668,617千円
		薬学部	12,144千円	12,144千円		薬学部	152,418千円	96,326千円	96,326千円	
			9,656千円	9,656千円			138,049千円	138,049千円	138,049千円	
	学生 1人 当り 納付 金	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-		
		理工学部	1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-		
		農学部	1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-		
		薬学部	2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円		
		都市情報学部	1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-		
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-			
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士(法学)	1.07	平成11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	平成11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士(経営学)	1.08	平成12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士(経営学)	1.13	平成12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士(経済学)	1.10	平成12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士(経済学)	1.15	平成12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士(理学)	1.02	平成12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士(工学)	1.09	平成16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士(工学)	1.07	平成12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士(工学)	1.09	平成12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士(工学)	0.86	平成25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士(工学)	1.11	平成12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士(工学)	1.04	平成12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士(工学)	1.02	平成25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.12	平成12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士(工学)	1.08	平成12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士(工学)	1.10	平成12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.10	平成11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.11	平成11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.06	平成17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士(薬学)	1.10	平成18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士(都市情報学)	1.07	平成7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士(人間学)	1.08	平成15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士(外国語学)	1.09	平成28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<理工学部 メカトロニクス工学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	3	3	1	12	4	4	3	1	12	4	4	3	1	12
(4)	(4)	(3)	(1)	(12)						[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <理工学部 メカトロニクス工学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="text-align: center;">理工学部メカトロニクス工学科（300名→320名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p>(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p>(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p>①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系的性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p>②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p>③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p>④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p>(c) 教員組織の変更内容 教授：5名 准教授：3名 講師：3名 助教：1名 計12名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試(A方式)</td> <td>25</td> <td>302</td> <td>300</td> <td>98</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>一般入試(M方式)</td> <td>7</td> <td>137</td> <td>135</td> <td>25</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>一般入試(F方式)</td> <td>10</td> <td>265</td> <td>262</td> <td>70</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>一般入試(B方式)</td> <td>5</td> <td>141</td> <td>115</td> <td>15</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>一般入試(C方式)</td> <td>5</td> <td>158</td> <td>157</td> <td>38</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>28</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>40</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>80</td> <td>1,068</td> <td>1,034</td> <td>286</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <p>本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系的性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のとおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：4名 准教授：4名 講師：3名 助教：1名 計12名</p> <p>教員採用計画の変更により内訳の変更を行いました。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試(A方式)	25	302	300	98	24	一般入試(M方式)	7	137	135	25	7	一般入試(F方式)	10	265	262	70	4	一般入試(B方式)	5	141	115	15	6	一般入試(C方式)	5	158	157	38	3	推薦・特別入試	28	65	65	40	33	合計	80	1,068	1,034	286	77
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試(A方式)	25	302	300	98	24																																												
一般入試(M方式)	7	137	135	25	7																																												
一般入試(F方式)	10	265	262	70	4																																												
一般入試(B方式)	5	141	115	15	6																																												
一般入試(C方式)	5	158	157	38	3																																												
推薦・特別入試	28	65	65	40	33																																												
合計	80	1,068	1,034	286	77																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモন্ズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成29年度開設

名城大学 理工学部 メカトロニクス工学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

（注）1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。

ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。

2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。

3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②トーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

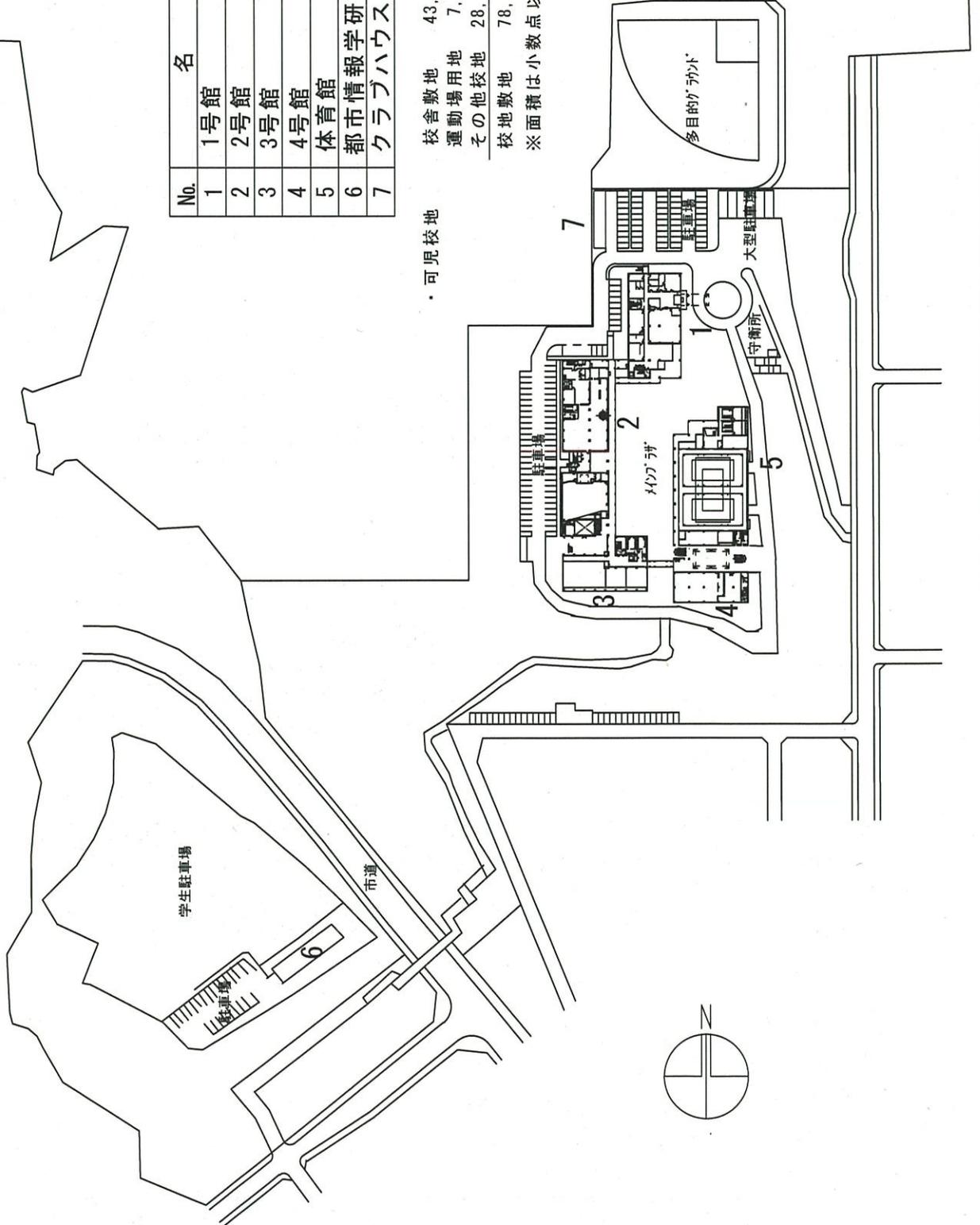
校舎敷地 43,102㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

・可児校地

校舎面積

10,032㎡

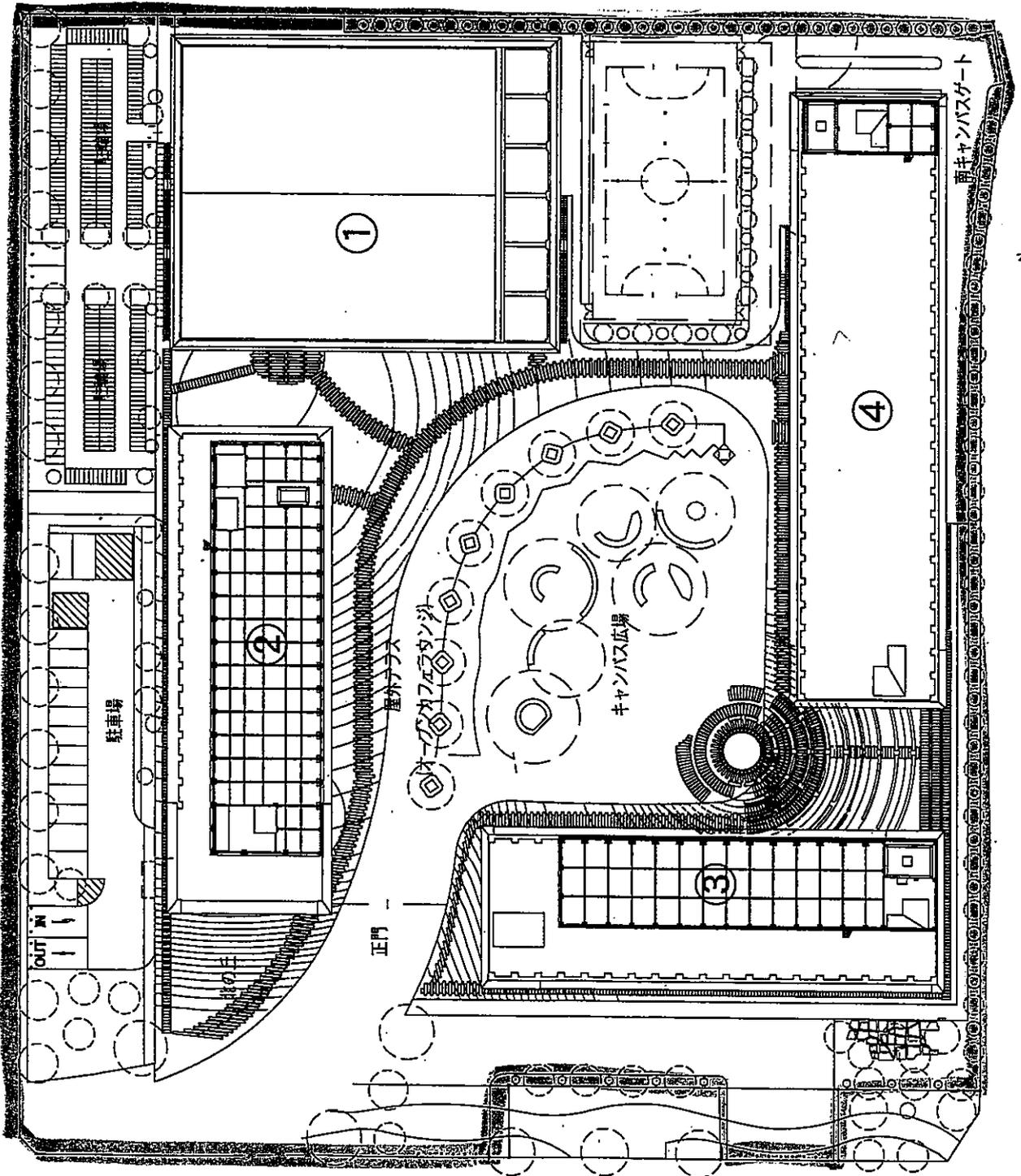
※面積は小数点以下四捨五入。



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズキ</small> 木 千 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 理工学部 建築学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白 1 4 号館	4 2 0 m <sup>2</sup>	8 5 1 m <sup>2</sup>
②ドーム前キャンパス北・東館	1 0, 8 8 9 m <sup>2</sup>	1 3, 7 2 7 m <sup>2</sup>
③可児 1 号館	2, 9 3 4 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
④可児 2 号館	4, 1 9 0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑤可児 3 号館 (A 棟)	7 0 1 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑥可児 3 号館 (B 棟)	1, 8 2 2 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑦都市情報学研究所	3 8 5 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑧可児体育館	1, 7 8 3 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
	完成時（平成 33 年 3 月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。  
 ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②トーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

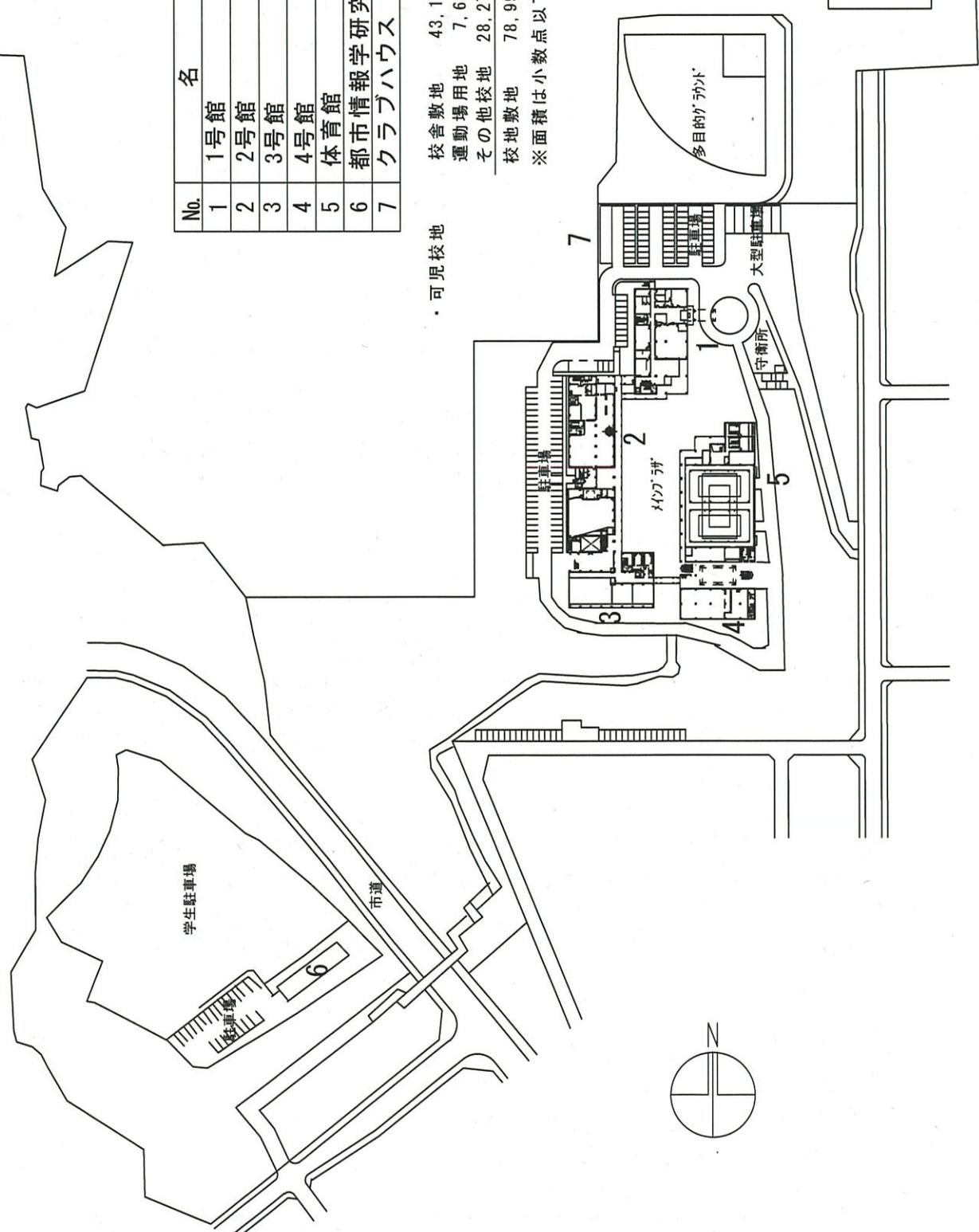
# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡  
 ※面積は小数点以下四捨五入。

・可児校地

校舎面積 10,032㎡

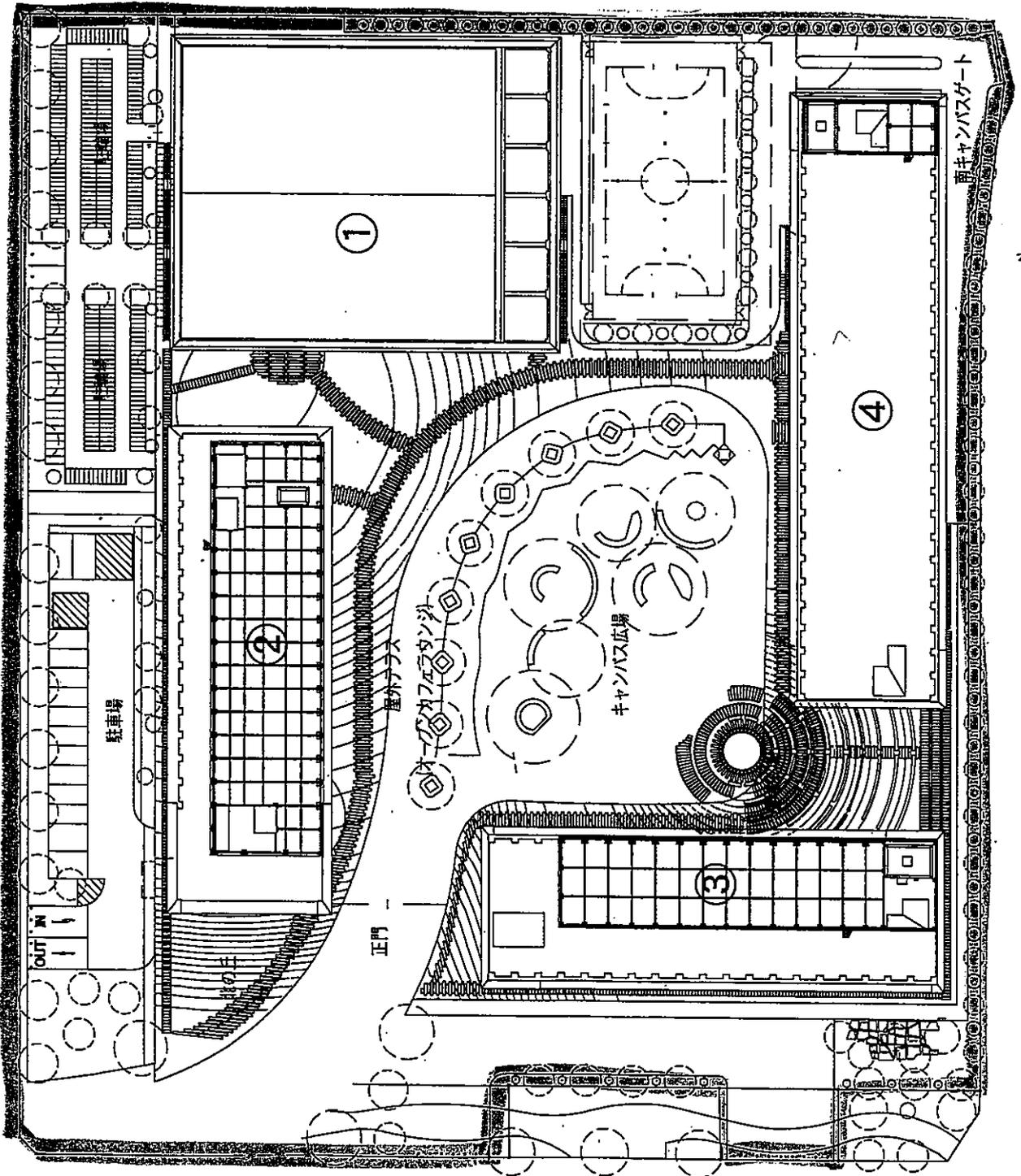


テニスコート



# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズ</small> 鈴 <small>キ</small> 木 <small>チ</small> 千 <small>トシ</small> 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 農学部

＜生物資源学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
農学部長	(オハラ アキヒロ) 小原章裕 (平成27年4月)		
生物資源 学科長	(ヒラノ タツヤ) 平野達也 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 生物資源学科 学士(農学)	4年	110人	- 年次人	440人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	110 (-) [-]	-			1.10倍	
志願者数	1,150 (0) [2]	- (-) [-]	1,171 (1) [0]	- (-) [-]	1,413 (0) [4]	- (-) [-]	1,677 (1) [1]	- (-) [-]				
受験者数	1,091 (0) [2]	- (-) [-]	1,124 (1) [0]	- (-) [-]	1,347 (0) [4]	- (-) [-]	1,620 (0) [1]	- (-) [-]				
合格者数	401 (0) [1]	- (-) [-]	465 (0) [0]	- (-) [-]	544 (0) [0]	- (-) [-]	619 (0) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	110 (0) [1]	- (-) [-]	108 (0) [0]	- (-) [-]	108 (0) [0]	- (-) [-]	126 (0) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.10		1.08		1.08		1.14					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] (0) 110	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 108	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 108	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 126	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 0 ] (10) 128	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (5) 116	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (7) 114	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (10) 117	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 0 ] (5) 115	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (5) 125	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (6) 114	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (5) 106	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 0 ] (8) 113	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (11) 117	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (5) 123	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (6) 114	[ - ] ( - ) -	
計	[ 1 ] (23) 466	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (21) 466	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (18) 459	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (21) 463	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	110 人	3 人	平成26年度	0 人	0 人	他大学受験(1人)、他大学入学(1人) 就学の意思なし(1人)	2.72 %
			平成27年度	2 人	0 人		
			平成28年度	1 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	108 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人	進路変更(1人)	0.92 %
			平成28年度	1 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	108 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	126 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	452 人	4 人					0.88 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 <del>449</del> 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) <del>(12,150)</del>	(14,030) <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>(12,150)</del>	14,040 <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更	
										学部名
経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部 以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書 購入費	薬学部 以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	
	共同研究 費等	薬学部 以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備 購入費	薬学部 以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	
	(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-		
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-			
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-			
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円			
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-			
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-			
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学								備考			
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 員	収定 容員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地				
	年	人	年次 人	人		倍						
法学部									平成28年より 学生募集停止			
法学科	4	400	-	1,520	学士 (法学)	1.07	平成 11年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地				
応用実務法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	平成 11年度					
経営学部										愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
経営学科	4	215	-	800	学士 (経営学)	1.08	平成 12年度					
国際経営学科	4	95	-	365	学士 (経営学)	1.13	平成 12年度					
経済学部											愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	
経済学科	4	210	-	765	学士 (経済学)	1.10	平成 12年度					
産業社会学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	1.15	平成 12年度					
理工学部												愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
数学科	4	90	-	345	学士 (理学)	1.02	平成 12年度					
情報工学科	4	150	-	585	学士 (工学)	1.09	平成 16年度					
電気電子工学科	4	150	-	540	学士 (工学)	1.07	平成 12年度					
材料機能工学科	4	80	-	275	学士 (工学)	1.09	平成 12年度					
応用化学科	4	70	-	250	学士 (工学)	0.86	平成 25年度					
機械工学科	4	125	-	485	学士 (工学)	1.11	平成 12年度					
交通機械工学科	4	125	-	455	学士 (工学)	1.04	平成 12年度					
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士 (工学)	1.02	平成 25年度					
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.12	平成 12年度					
環境創造学科	4	80	-	350	学士 (工学)	1.08	平成 12年度					
建築学科	4	145	-	550	学士 (工学)	1.10	平成 12年度					
農学部												
生物資源学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.10	平成 11年度					
応用生物化学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.11	平成 11年度					
生物環境科学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.06	平成 17年度					
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地				
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士 (薬学)	1.10	平成 18年度					
都市情報学部									愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9			
都市情報学科	4	220	-	820	学士 (都市情報学)	1.07	平成 7年度					
人間学部										愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9		
人間学科	4	220	-	820	学士 (人間学)	1.08	平成 15年度					
外国語学部											愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9	
国際英語学科	4	130	-	260	学士 (外国語学)	1.09	平成 28年度					

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<農学部 生物資源学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	5	0	0	13	8	5	0	0	13	8	5	0	0	13
(8)	(5)	(0)	(0)	(13)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <農学部 生物資源学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">農学部生物資源学科（400名→440名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容 教授：8名 准教授：5名 講師：0名 助教：0名 計13名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>50</td> <td>682</td> <td>672</td> <td>204</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>15</td> <td>561</td> <td>552</td> <td>267</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>10</td> <td>128</td> <td>91</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>10</td> <td>212</td> <td>211</td> <td>99</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>25</td> <td>94</td> <td>94</td> <td>39</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>110</td> <td>1,677</td> <td>1,620</td> <td>619</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のとおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p style="margin-top: 20px;">教授：8名 准教授：5名 講師：0名 助教：0名 計13名</p> <p style="text-align: center;">教員組織に変更はありません。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	50	682	672	204	31	一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—	一般入試 (F方式)	15	561	552	267	51	一般入試 (B方式)	10	128	91	10	5	一般入試 (C方式)	10	212	211	99	7	推薦・特別入試	25	94	94	39	32	合計	110	1,677	1,620	619	126
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	50	682	672	204	31																																												
一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—																																												
一般入試 (F方式)	15	561	552	267	51																																												
一般入試 (B方式)	10	128	91	10	5																																												
一般入試 (C方式)	10	212	211	99	7																																												
推薦・特別入試	25	94	94	39	32																																												
合計	110	1,677	1,620	619	126																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモন্ズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 農学部 生物資源学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。  
 ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②ドーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

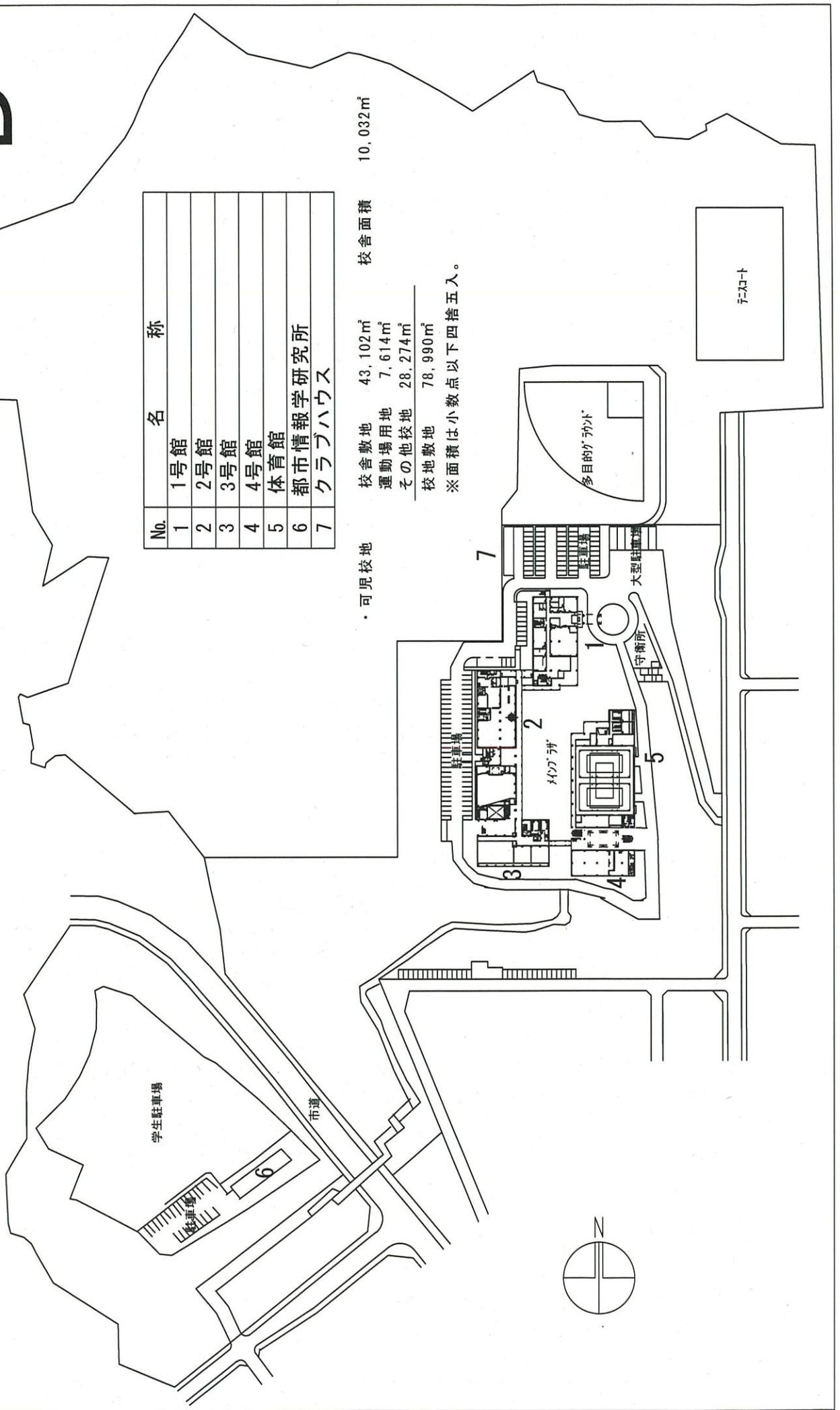
# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡ 校舎面積 10,032㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

※面積は小数点以下四捨五入。

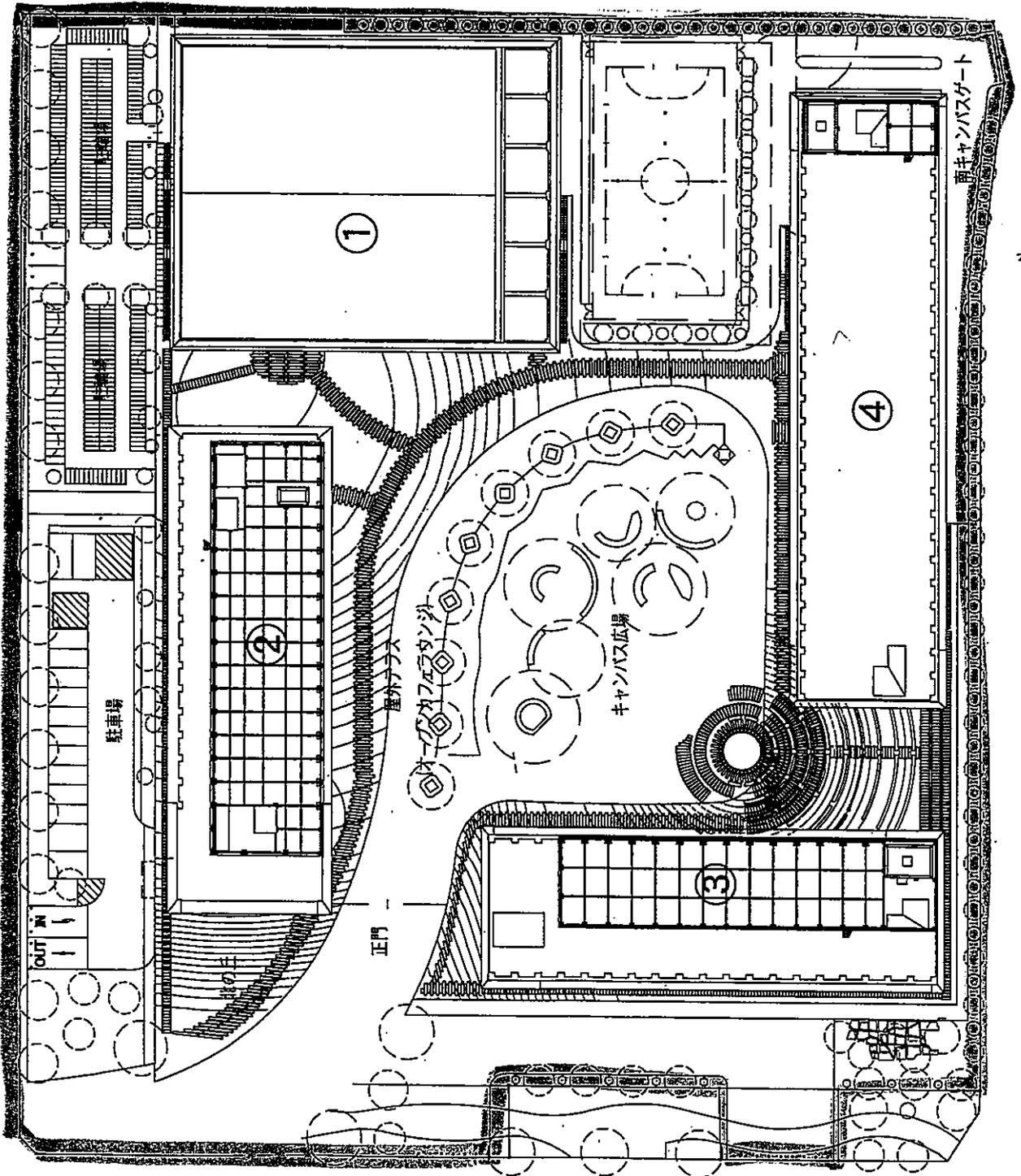
・可児校地



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズ</small> 鈴 <small>キ</small> 木 <small>チ</small> 千 <small>トシ</small> 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 農学部

＜応用生物化学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
農学部長	(オハラ アキヒロ) 小原章裕 (平成27年4月)		
応用生物化学 学科長	(ハヤシ トシヤ) 林利哉 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 応用生物化学科 学士(農学)	4年	110人	- 年次人	440人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	110 (-) [-]	-	1.11 倍			
志願者数	1,882 (2) [3]	- (-) [-]	1,722 (1) [0]	- (-) [-]	2,184 (0) [0]	- (-) [-]	2,291 (1) [0]	- (-) [-]				
受験者数	1,805 (1) [3]	- (-) [-]	1,629 (1) [0]	- (-) [-]	2,122 (0) [0]	- (-) [-]	2,236 (1) [0]	- (-) [-]				
合格者数	565 (0) [1]	- (-) [-]	572 (0) [0]	- (-) [-]	640 (0) [0]	- (-) [-]	712 (0) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	114 (0) [1]	- (-) [-]	118 (0) [0]	- (-) [-]	110 (0) [0]	- (-) [-]	116 (0) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.14		1.18		1.10		1.05					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入し  
てください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] (0) 114	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 118	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 111	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 118	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 1 ] (8) 127	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (5) 119	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (9) 126	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (4) 114	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 1 ] (6) 107	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 119	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (1) 106	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (5) 125	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 0 ] (3) 106	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (2) 104	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (5) 122	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 100	[ - ] ( - ) -	
計	[ 3 ] (17) 454	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (8) 460	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (16) 465	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (11) 457	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)	
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数			
平成26年度 入学者	114 人	5 人	平成26年度	0 人	0 人	就学の意味なし(1人)、進路変更(1人)、 他大学入学(2人)	4.38 %	
			平成27年度	4 人	0 人			
			平成28年度	1 人	0 人			就学の意味なし(1人)
			平成29年度	0 人	0 人			
平成27年度 入学者	118 人	2 人	平成27年度	1 人	0 人	他大学入学(1人)	1.69 %	
			平成28年度	1 人	0 人	他大学入学(1人)		
			平成29年度	0 人	0 人			
平成28年度 入学者	110 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	就学の意味なし(1人)	0.90 %	
			平成29年度	0 人	0 人			
平成29年度 入学者	116 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %	
合 計	458 人	8 人					1.74 %	

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 <del>449</del> 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) <del>(12,150)</del>	(14,030) <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>(12,150)</del>	14,040 <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
(6) 図 書 館	面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更
経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部 以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書 購入費	薬学部 以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円
	共同研究 費等	薬学部 以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備 購入費	薬学部 以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円
	(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-	
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-		
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-		
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円		
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-		
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-		
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士 (法学)	1.07	平成 11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	平成 11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士 (経営学)	1.08	平成 12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士 (経営学)	1.13	平成 12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士 (経済学)	1.10	平成 12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	1.15	平成 12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士 (理学)	1.02	平成 12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士 (工学)	1.09	平成 16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士 (工学)	1.07	平成 12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士 (工学)	1.09	平成 12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士 (工学)	0.86	平成 25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士 (工学)	1.11	平成 12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士 (工学)	1.04	平成 12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士 (工学)	1.02	平成 25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.12	平成 12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士 (工学)	1.08	平成 12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士 (工学)	1.10	平成 12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.10	平成 11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.11	平成 11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.06	平成 17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士 (薬学)	1.10	平成 18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士 (都市情報学)	1.07	平成 7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士 (人間学)	1.08	平成 15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士 (外国語学)	1.09	平成 28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入 学 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士 (法学)	0.33	昭和 42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士 (法学)	0.04	昭和 44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士 (経営学)	0.72	平成 13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (経営学)	0.22	平成 15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.60	平成 12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (経済学)	0.22	平成 14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士 (理学)	0.87	平成 14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (理学)	0.00	平成 7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士 (工学)	0.73	平成 14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士 (工学)	1.50	平成 14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士 (工学)	1.26	平成 14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士 (工学)	1.04	平成 29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士 (工学)	1.32	平成 14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.40	平成 4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士 (工学)	1.18	平成 14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士 (工学)	1.15	平成 29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士 (工学)	0.61	平成 14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士 (工学)	0.60	平成 14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士 (工学)	0.56	平成 14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<農学部 応用生物化学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	4	0	2	13	7	4	0	2	13	7	4	0	2	13
(7)	(4)	(0)	(2)	(13)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <農学部 応用生物化学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">農学部応用生物化学科（400名→440名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容 教授：7名 准教授：4名 講師：0名 助教：2名 計13名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>50</td> <td>975</td> <td>964</td> <td>246</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>15</td> <td>719</td> <td>712</td> <td>298</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>10</td> <td>172</td> <td>136</td> <td>10</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>10</td> <td>295</td> <td>295</td> <td>110</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>25</td> <td>130</td> <td>129</td> <td>48</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>110</td> <td>2,291</td> <td>2,236</td> <td>712</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のとおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：7名 准教授：4名 講師：0名 助教：2名 計13名</p> <p style="text-align: center;">教員組織に変更はありません。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	50	975	964	246	33	一般入試 (M方式)	—	—	—	—	0	一般入試 (F方式)	15	719	712	298	44	一般入試 (B方式)	10	172	136	10	3	一般入試 (C方式)	10	295	295	110	2	推薦・特別入試	25	130	129	48	34	合計	110	2,291	2,236	712	116
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	50	975	964	246	33																																												
一般入試 (M方式)	—	—	—	—	0																																												
一般入試 (F方式)	15	719	712	298	44																																												
一般入試 (B方式)	10	172	136	10	3																																												
一般入試 (C方式)	10	295	295	110	2																																												
推薦・特別入試	25	130	129	48	34																																												
合計	110	2,291	2,236	712	116																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモন্ズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 農学部 応用生物化学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白 1 4 号館	4 2 0 m <sup>2</sup>	8 5 1 m <sup>2</sup>
②ドーム前キャンパス北・東館	1 0, 8 8 9 m <sup>2</sup>	1 3, 7 2 7 m <sup>2</sup>
③可児 1 号館	2, 9 3 4 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
④可児 2 号館	4, 1 9 0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑤可児 3 号館 (A 棟)	7 0 1 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑥可児 3 号館 (B 棟)	1, 8 2 2 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑦都市情報学研究所	3 8 5 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑧可児体育館	1, 7 8 3 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
	完成時（平成 33 年 3 月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。  
 ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②トーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

# D

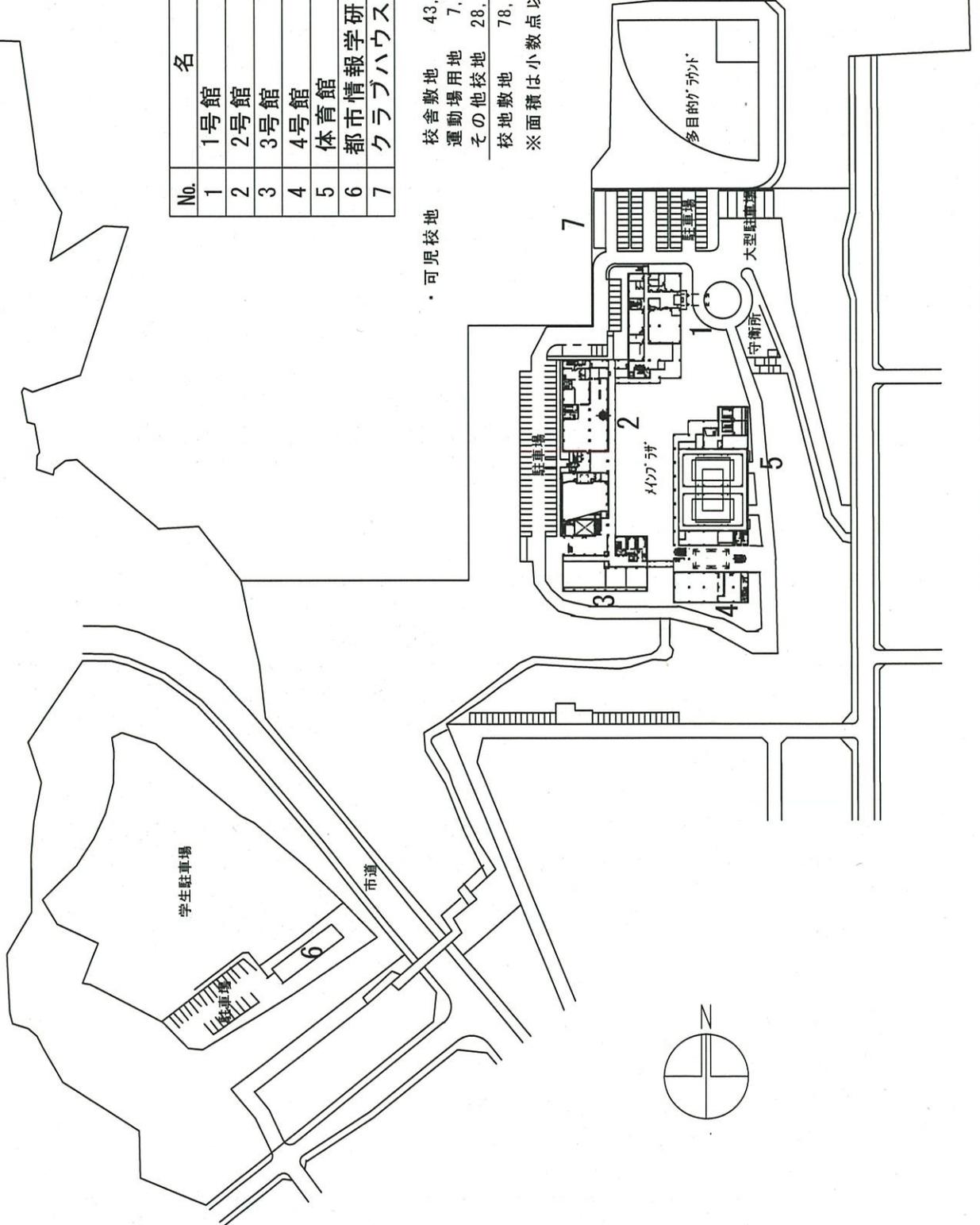
No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

・可児校地

校舎面積 10,032㎡

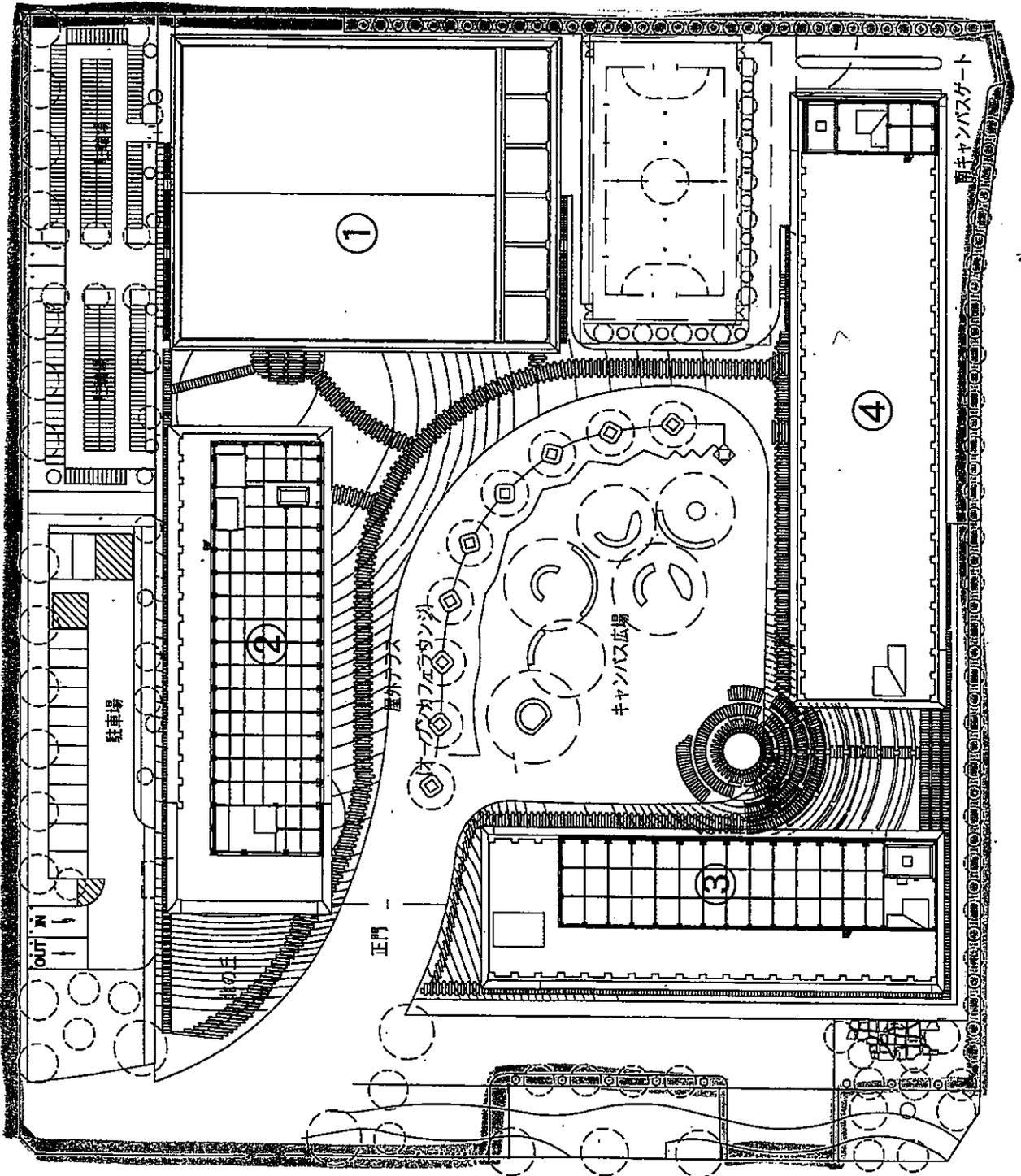
※面積は小数点以下四捨五入。



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズ</small> 鈴 <small>キ</small> 木 <small>チ</small> 千 <small>トシ</small> 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更）)  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書（平成29年度）の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 農学部

＜生物環境科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
農学部長	(オハラ アキヒロ) 小原章裕 (平成27年4月)		
生物環境科学 学科長	(オウ コウキ) 汪光熙 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 生物環境科学科 学士 (農学)	4 年	110 人	- 年次 人	440 人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を ( ) 書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 ( - ) [ - ]	-	100 ( - ) [ - ]	-	100 ( - ) [ - ]	-	110 ( - ) [ - ]	-	1.06 倍	
志願者数	1,091 ( 0 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	1,110 ( 0 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	1,482 ( 0 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	1,370 ( 3 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	1,039 ( 0 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	1,036 ( 0 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	1,410 ( 0 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	1,302 ( 2 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	350 ( 0 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	424 ( 0 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	562 ( 0 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	594 ( 0 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	100 ( 0 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	114 ( 0 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	99 ( 0 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	126 ( 0 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.14		0.99		1.14			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる  
「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている  
場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入して  
ください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 0 ] (0) 100	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 114	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 99	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 126	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 1 ] (14) 120	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (10) 107	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (4) 112	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (3) 100	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 0 ] (2) 95	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (4) 106	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (7) 107	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (6) 111	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 0 ] (8) 143	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (11) 99	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (11) 109	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (5) 106	[ - ] ( - ) -	
計	[ 1 ] (24) 458	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (25) 426	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (22) 427	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (14) 443	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	100 人	5 人	平成26年度	3 人	0 人	進路変更(1人)、他大学入学(2人)	5.00 %
			平成27年度	1 人	0 人	他大学受験(1人)	
			平成28年度	1 人	0 人	就学の意味なし(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	114 人	8 人	平成27年度	6 人	0 人	就学の意味なし(1人)、進路変更(1人)、 他大学受験(1人)、他大学入学(2人)、病 気怪我(1人)	7.01 %
			平成28年度	2 人	0 人	経済的都合(2人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	99 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	進路再考(1人)、他大学入学(1人)	2.02 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	126 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	439 人	15 人					3.41 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 <del>449</del> 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) <del>(12,150)</del>	(14,030) <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更	
										学部名
経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部 以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書 購入費	薬学部 以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	
	共同研究 費等	薬学部 以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備 購入費	薬学部 以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	
	(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-		
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-			
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-			
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円			
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-			
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-			
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士(法学)	1.07	平成11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	平成11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士(経営学)	1.08	平成12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士(経営学)	1.13	平成12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士(経済学)	1.10	平成12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士(経済学)	1.15	平成12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士(理学)	1.02	平成12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士(工学)	1.09	平成16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士(工学)	1.07	平成12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士(工学)	1.09	平成12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士(工学)	0.86	平成25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士(工学)	1.11	平成12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士(工学)	1.04	平成12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士(工学)	1.02	平成25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.12	平成12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士(工学)	1.08	平成12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士(工学)	1.10	平成12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.10	平成11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.11	平成11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.06	平成17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士(薬学)	1.10	平成18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士(都市情報学)	1.07	平成7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士(人間学)	1.08	平成15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士(外国語学)	1.09	平成28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
大学院法学研究科 法律学専攻										
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度			
大学院経営学研究科 経営学専攻										
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度			
大学院経済学研究科 経済学専攻										
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度			
大学院理工学研究科 数学専攻										
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度			
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度			
情報工学専攻										
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度			
電気電子工学専攻										
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度			
材料機能工学専攻										
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度			
応用化学専攻										
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度			
機械工学専攻										
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度			
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度			
交通機械工学専攻										
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度			
メカトロニクス工学専攻										
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度			
社会基盤デザイン工学専攻										
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度			
環境創造学専攻										
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度			
建築学専攻										
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度			

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<農学部 生物環境科学科>

##### (1) 専任教員数等

##### (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	4	1	0	13	8	5	0	0	13	8	5	0	0	13
(8)	(5)	(0)	(0)	(13)						[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

##### (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

##### (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師		早期定年退職のため。(29)

- (注) ・専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

##### (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。

- (注) ・上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <農学部 生物環境科学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">農学部生物環境科学科（400名→440名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系的な、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容 教授：8名 准教授：4名 講師：0名 助教：1名 計13名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>50</td> <td>541</td> <td>532</td> <td>199</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>15</td> <td>412</td> <td>406</td> <td>229</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>10</td> <td>134</td> <td>84</td> <td>16</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>10</td> <td>219</td> <td>216</td> <td>118</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>25</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>32</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>110</td> <td>1,370</td> <td>1,302</td> <td>594</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系的及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p style="margin-top: 20px;">教授：8名 准教授：5名 講師：0名 助教：0名 計13名</p> <p style="margin-top: 10px;">講師1名の退職に伴う後任採用により、内訳の変更を行いました。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	50	541	532	199	39	一般入試 (M方式)	—	—	—	—	0	一般入試 (F方式)	15	412	406	229	43	一般入試 (B方式)	10	134	84	16	4	一般入試 (C方式)	10	219	216	118	14	推薦・特別入試	25	64	64	32	26	合計	110	1,370	1,302	594	126
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	50	541	532	199	39																																												
一般入試 (M方式)	—	—	—	—	0																																												
一般入試 (F方式)	15	412	406	229	43																																												
一般入試 (B方式)	10	134	84	16	4																																												
一般入試 (C方式)	10	219	216	118	14																																												
推薦・特別入試	25	64	64	32	26																																												
合計	110	1,370	1,302	594	126																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自律的学習支援施設であるラーニング commons の設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 農学部 生物環境科学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

(注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，上記様式により提出してください。

ただし，面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には，この書類の提出は不要です。

2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を，建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。

3 校地の計画の変更が生じる場合には，「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に，「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②トーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

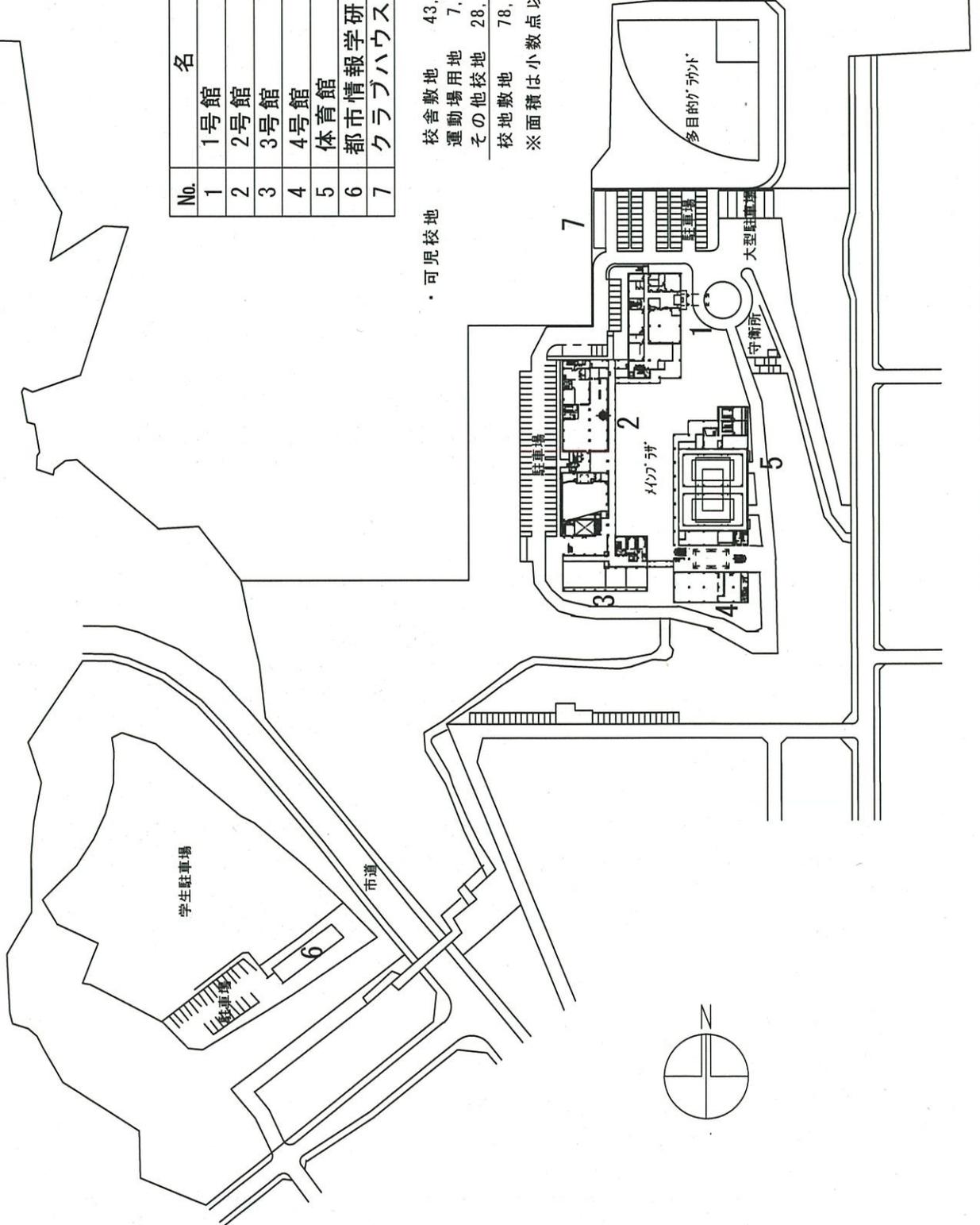
校舎敷地 43,102㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

・可児校地

校舎面積

10,032㎡

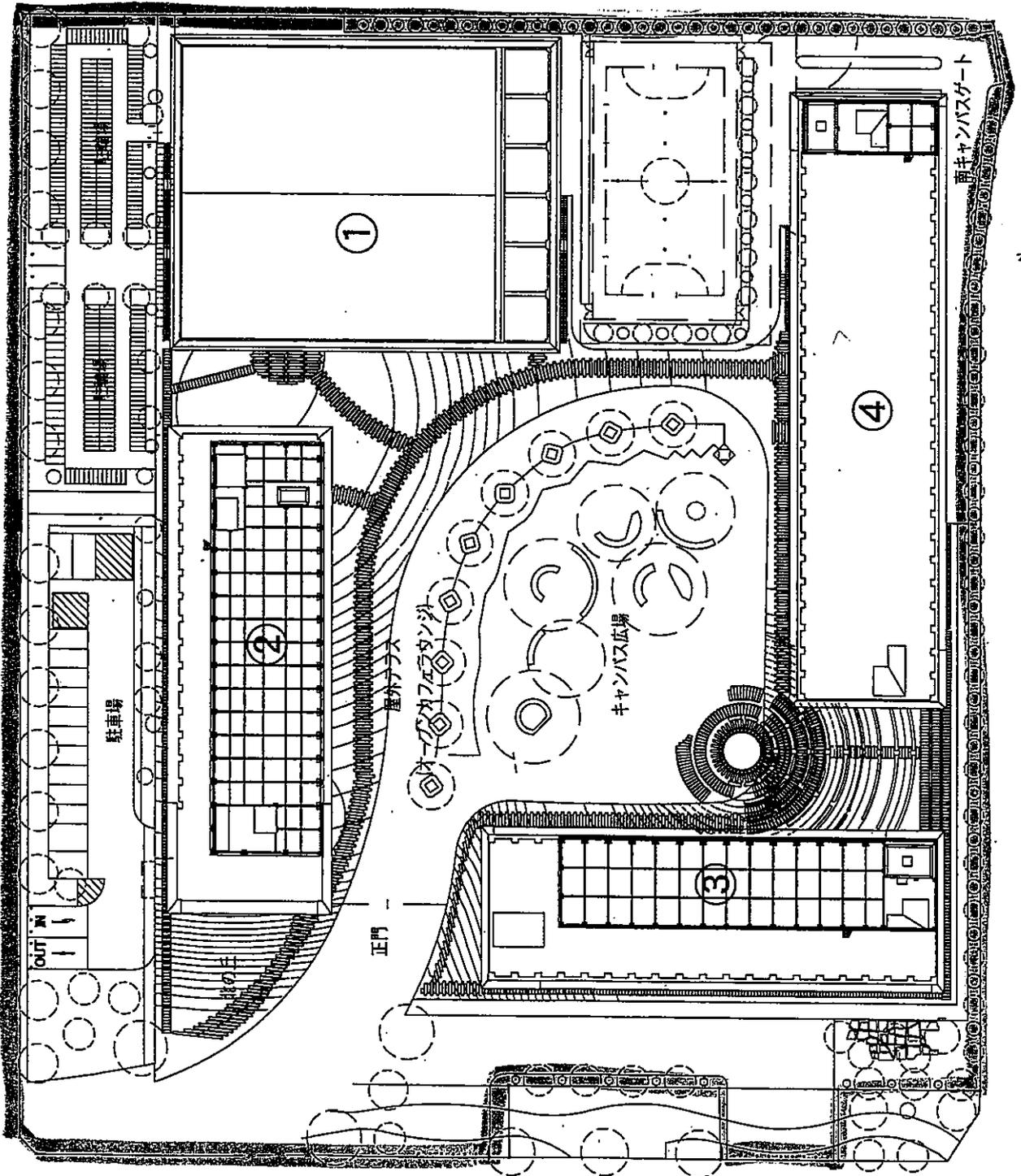
※面積は小数点以下四捨五入。



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
 経済学部 経済学科  
 理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
 材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
 交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
 農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
 薬学部 薬学科（6年制）  
 都市情報学部 都市情報学科  
 人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズキ</small> 木 千 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
 2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
 例) ○○大学 △△学部 □□学科  
 (◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
 3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 薬学部

＜薬学科（6年制）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒468-8503

愛知県名古屋市天白区八事山150番地

(〒468-8502

愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地)

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
薬学部長	(ヒラマツ マサユキ) 平松正行 (平成27年4月)		
薬学科長	(ジンノ ヒデト) 神野透人 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
薬学部 薬学科(6年制) 学士(薬学)	6年	265人	- 年次人	1,590人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで  
記入してください。  
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期												
A 入学定員	人 250 (-) [-]	人 -	人 265 (-) [-]													
志願者数	1,993 (-) [0]	- (-) [-]	2,261 (-) [0]	- (-) [-]	2,642 (-) [0]	- (-) [-]	2,740 (-) [0]	- (-) [-]	2,508 (-) [1]	- (-) [-]	2,546 (-) [0]	- (-) [-]				
受験者数	1,836 (-) [0]	- (-) [-]	2,073 (-) [0]	- (-) [-]	2,456 (-) [0]	- (-) [-]	2,520 (-) [0]	- (-) [-]	2,288 (-) [1]	- (-) [-]	2,361 (-) [0]	- (-) [-]				
合格者数	857 (-) [0]	- (-) [-]	927 (-) [0]	- (-) [-]	882 (-) [0]	- (-) [-]	928 (-) [0]	- (-) [-]	939 (-) [1]	- (-) [-]	974 (-) [0]	- (-) [-]				
B 入学者数	252 (-) [0]	- (-) [-]	296 (-) [0]	- (-) [-]	278 (-) [0]	- (-) [-]	285 (-) [0]	- (-) [-]	269 (-) [0]	- (-) [-]	292 (-) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.00		1.18		1.11		1.14		1.07		1.10		1.10	倍		

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当が  
「-」を記入してください。  
・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている  
場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入して  
ください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 0 ] (14) 266	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (23) 319	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (33) 311	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (28) 313	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (26) 295	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (18) 310	[ - ] ( - ) -			
2年次	[ 0 ] (38) 294	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (27) 257	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (25) 294	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (37) 309	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (43) 307	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (38) 305	[ - ] ( - ) -			
3年次	[ 0 ] (23) 269	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (11) 270	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (24) 251	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (34) 283	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (37) 287	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (37) 288	[ - ] ( - ) -			
4年次	[ 0 ] (2) 262	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 255	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 244	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (1) 217	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (6) 242	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (4) 246	[ - ] ( - ) -			
5年次	[ 0 ] (1) 232	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 262	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 255	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 242	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 211	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (0) 236	[ - ] ( - ) -			
6年次	[ 0 ] (0) 211	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 233	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (9) 269	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (24) 279	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (39) 281	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (35) 246	[ - ] ( - ) -			
計	[ 0 ] (78) 1,534	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (63) 1,596	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (95) 1,624	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (124) 1,643	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (151) 1,623	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (132) 1,631	[ - ] ( - ) -			

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	252 人	25 人	平成24年度	5 人	0 人	進路変更(2人)、他大学入学(3人)	9.92 %
			平成25年度	5 人	0 人	家庭の事情(1人)、進路変更(1人)、成業見込みなし(1人)、病気怪我(2人)	
			平成26年度	5 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(2人)、他大学入学(2人)	
			平成27年度	7 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(1人)、成業見込みなし(1人)、他大学入学(4人)	
			平成28年度	3 人	0 人	一身上の都合(1人)、経済的都合(1人)、進路変更(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	296 人	41 人	平成25年度	13 人	0 人	家庭の事情(1人)、経済的都合(2人)、進路変更(5人)、他大学入学(5人)	13.85 %
			平成26年度	5 人	0 人	進路変更(1人)、成業見込みなし(1人)、他大学入学(2人)、他大学受験(1人)	
			平成27年度	12 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(1人)、成業見込みなし(2人)、他大学入学(4人)、病気怪我(1人)、進路再考(2人)、就学の意思なし(1人)	
			平成28年度	11 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(3人)、成業見込みなし(1人)、進路再考(3人)、他大学受験(1人)、就職(1人)、就職活動(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	278 人	27 人	平成26年度	8 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(5人)、他大学入学(1人)、他大学受験(1人)	9.71 %
			平成27年度	9 人	0 人	進路変更(2人)、成業見込みなし(1人)、他大学入学(2人)、病気怪我(1人)、進路再考(1人)、就学の意思なし(1人)、他大学受験(1人)	
			平成28年度	10 人	0 人	進路変更(4人)、他大学入学(2人)、進路再考(1人)、他大学受験(3人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	285 人	18 人	平成27年度	11 人	0 人	進路変更(1人)、他大学入学(8人)、進路再考(1人)、他大学受験(1人)	6.31 %
			平成28年度	7 人	0 人	経済的都合(1人)、進路変更(3人)、他大学入学(1人)、進路再考(1人)、就職(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	269 人	5 人	平成28年度	5 人	0 人	家庭の事情(1人)、進路変更(3人)、他大学入学(1人)	1.85 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	292 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	1,124 人	50 人					4.44 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)					
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>						
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>						
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>						
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>						
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>						
(2) 校 舎	専 用	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del>	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少					
	(232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	(0.00㎡)	(0.00㎡)	(232,261.33㎡) (238,413.83㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	171室 <del>187室</del>	演 習 室	154室 <del>187室</del>	実験実習室	231室 <del>230室</del>	情報処理学習施設	26室 <del>29室</del>	語学学習施設	5室	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少
	(補助職員 9人)	(補助職員 5人)									
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)					
	大学全体			470 449 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)			
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>				
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>				
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) (12,150)	(14,030) (12,591)	120 (123)				
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)					
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)					
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル									

	区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更	
											開設前年度
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部	474千円	474千円	図書 購入費	薬学部	84,517千円	86,230千円	86,230千円	
			以外	479千円	479千円		以外	218,869千円	218,869千円	218,869千円	
		共同研究 費等	薬学部	476千円	476千円	設備 購入費	薬学部	2,610千円	2,663千円	2,663千円	
			以外	477千円	477千円		以外	6,998千円	6,998千円	6,998千円	
			薬学部	68,632千円	68,632千円		薬学部	510,884千円	318,538千円	318,538千円	
			以外	53,108千円	53,108千円		以外	668,617千円	668,617千円	668,617千円	
		薬学部	12,144千円	12,144千円		薬学部	152,418千円	96,326千円	96,326千円		
		以外	9,656千円	9,656千円		以外	138,049千円	138,049千円	138,049千円		
	学生 1人 当り 納付 金	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-			
		理工学部	1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-			
		農学部	1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-			
		薬学部	2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円			
		都市情報学部	1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-			
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-				
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-				
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等									

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士 (法学)	1.07	平成 11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	平成 11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士 (経営学)	1.08	平成 12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士 (経営学)	1.13	平成 12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士 (経済学)	1.10	平成 12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	1.15	平成 12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士 (理学)	1.02	平成 12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士 (工学)	1.09	平成 16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士 (工学)	1.07	平成 12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士 (工学)	1.09	平成 12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士 (工学)	0.86	平成 25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士 (工学)	1.11	平成 12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士 (工学)	1.04	平成 12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士 (工学)	1.02	平成 25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.12	平成 12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士 (工学)	1.08	平成 12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士 (工学)	1.10	平成 12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.10	平成 11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.11	平成 11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.06	平成 17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士 (薬学)	1.10	平成 18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士 (都市情報学)	1.07	平成 7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士 (人間学)	1.08	平成 15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士 (外国語学)	1.09	平成 28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<薬学部 薬学科（6年制）>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
28	17	0	18	63	26	17	0	17	60	28	17	0	18	63
(26)	(17)	(0)	(17)	(60)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教		死亡退職のため。(29)
2	教授		他大学へ移籍のため。(29)
3	教授		自己都合のため。(29)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

<薬学部 薬学科（6年制）>

### （1）計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">薬学部薬学科（6年制）（1,500名→1,590名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容 教授：28名 准教授：17名 講師：0名 助教：18名 計63名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>100</td> <td>983</td> <td>961</td> <td>397</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>40</td> <td>649</td> <td>631</td> <td>340</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>30</td> <td>429</td> <td>284</td> <td>55</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>10</td> <td>370</td> <td>370</td> <td>108</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>85</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>74</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>265</td> <td>2,546</td> <td>2,361</td> <td>974</td> <td>292</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のとおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：27名 准教授：19名 講師：0名 助教：17名 計63名</p> <p>教授1名の他大学移籍、教授1名・助教1名の退職、助教1名の昇格及び採用計画の変更により、内訳の変更を行いました。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	100	983	961	397	140	一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—	一般入試 (F方式)	40	649	631	340	58	一般入試 (B方式)	30	429	284	55	18	一般入試 (C方式)	10	370	370	108	2	推薦・特別入試	85	115	115	74	74	合計	265	2,546	2,361	974	292
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	100	983	961	397	140																																												
一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—																																												
一般入試 (F方式)	40	649	631	340	58																																												
一般入試 (B方式)	30	429	284	55	18																																												
一般入試 (C方式)	10	370	370	108	2																																												
推薦・特別入試	85	115	115	74	74																																												
合計	265	2,546	2,361	974	292																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモন্ズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 薬学部 薬学科（6年制）		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成35年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

（注）1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，上記様式により提出してください。

ただし，面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には，この書類の提出は不要です。

2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を，建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。

3 校地の計画の変更が生じる場合には，「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に，「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②ドーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

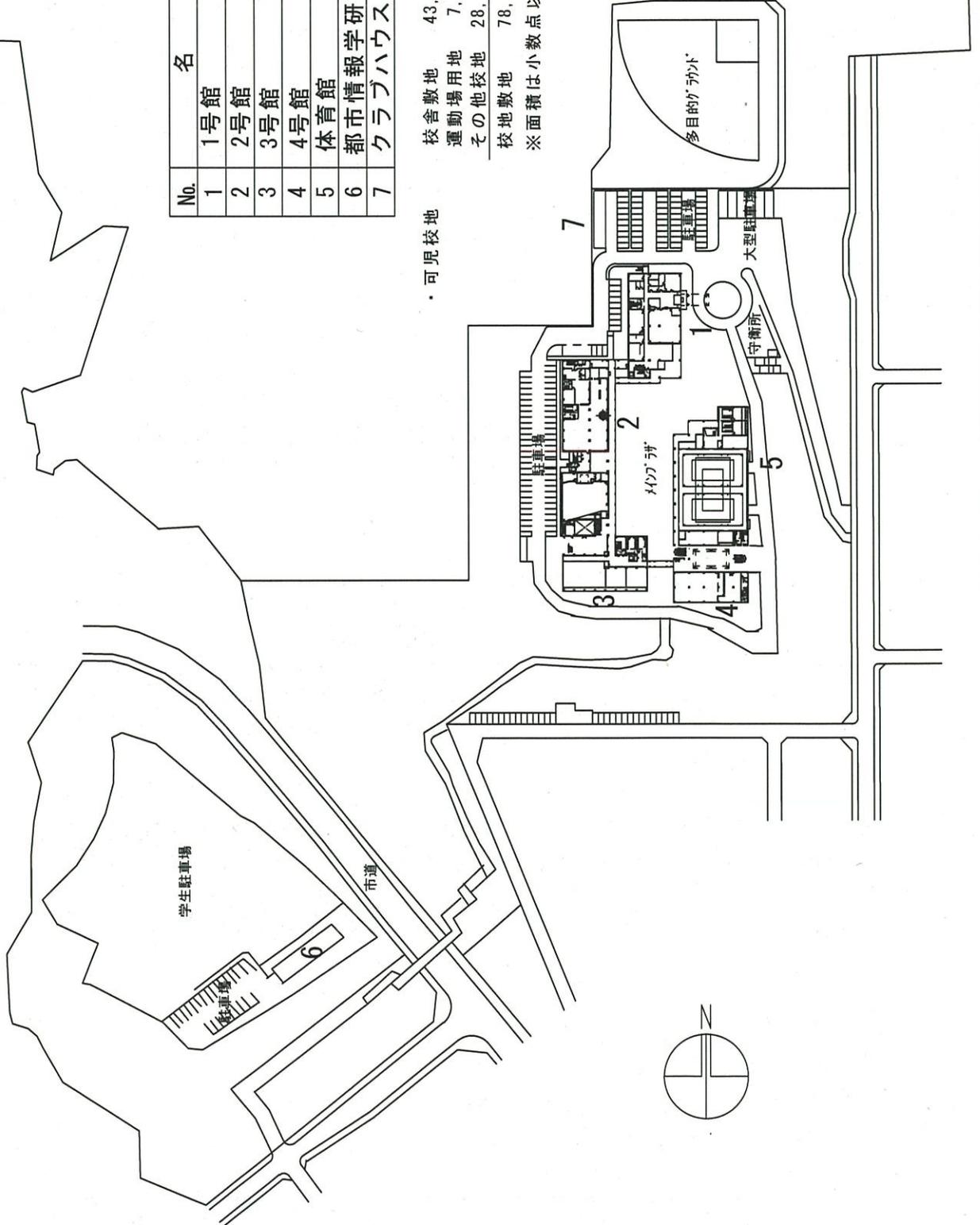
校舎敷地 43,102㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

・可児校地

校舎面積

10,032㎡

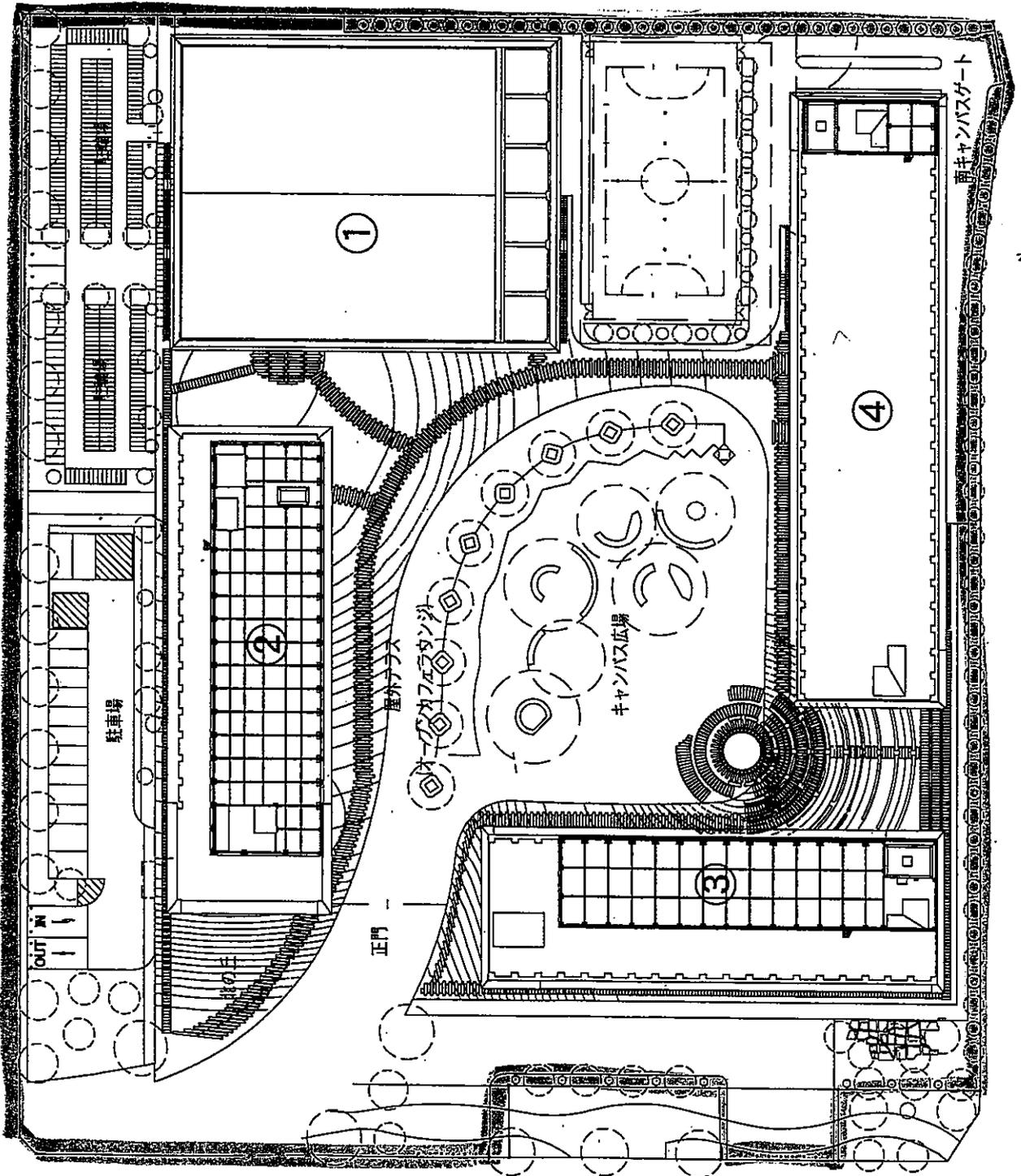
※面積は小数点以下四捨五入。



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

**認可**

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズキ</small> 木 千 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書(平成29年度)の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

都市情報学部

＜都市情報学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒461-8534  
愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9

(〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地)

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
都市情報 学部長	(カマタ シゲノリ) 鎌田繁則 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
都市情報学部 都市情報学科 学士(都市情報学)	4年	220人	- 年次人	880人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	200 (-) [5]	-	200 (-) [5]	-	200 (-) [5]	-	220 (-) [-]	-			1.07 倍	
志願者数	723 (0) [10]	- (-) [-]	1,483 (0) [10]	- (-) [-]	1,333 (0) [4]	- (-) [-]	2,058 (3) [1]	- (-) [-]				
受験者数	675 (0) [10]	- (-) [-]	1,419 (0) [10]	- (-) [-]	1,281 (0) [4]	- (-) [-]	1,995 (3) [1]	- (-) [-]				
合格者数	538 (0) [10]	- (-) [-]	557 (0) [4]	- (-) [-]	526 (0) [1]	- (-) [-]	477 (1) [1]	- (-) [-]				
B 入学者数	197 (0) [10]	- (-) [-]	242 (0) [3]	- (-) [-]	237 (0) [1]	- (-) [-]	202 (1) [1]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	0.98		1.21		1.18		0.91					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 10 ] (4) 201	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (2) 244	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (1) 238	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (3) 205	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 15 ] (29) 237	[ - ] ( - ) -	[ 14 ] (38) 229	[ - ] ( - ) -	[ 6 ] (33) 269	[ - ] ( - ) -	[ 4 ] (32) 269	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 8 ] (0) 188	[ - ] ( - ) -	[ 8 ] (3) 189	[ - ] ( - ) -	[ 6 ] (5) 185	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (3) 229	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 13 ] (37) 224	[ - ] ( - ) -	[ 9 ] (38) 223	[ - ] ( - ) -	[ 9 ] (34) 218	[ - ] ( - ) -	[ 6 ] (24) 203	[ - ] ( - ) -	
計	[ 46 ] (70) 850	[ - ] ( - ) -	[ 34 ] (81) 885	[ - ] ( - ) -	[ 22 ] (73) 910	[ - ] ( - ) -	[ 14 ] (62) 906	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	197 人	13 人	平成26年度	5 人	2 人	他大学入学(5人)	6.59 %
			平成27年度	6 人	2 人	家庭の事情(2人)、他の勉強(1人)、就学 の意思なし(3人)	
			平成28年度	2 人	0 人	就職(2人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	242 人	10 人	平成27年度	5 人	3 人	家庭の事情(1人)、他大学受験(1人)、他 大学入学(3人)	4.13 %
			平成28年度	5 人	0 人	就学の意思なし(3人)、進路変更(2人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	237 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	就学の意思なし(1人)	0.42 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	202 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	878 人	24 人					2.73 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)		
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>			
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>			
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>			
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>			
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少			
	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del> (232,261.33㎡) (238,413.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少		
	171室 <del>187室</del>	154室 <del>187室</del>	231室 <del>230室</del>	26室 <del>29室</del> (補助職員 9人)	5室 (補助職員 5人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)		
	大学全体		470 <del>449</del> 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>	
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) <del>(12,150)</del>	(14,030) <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>(12,150)</del>	14,040 <del>(12,591)</del>	120 <del>(123)</del>	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)		
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)		
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル						

区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更	
										区 分
経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部 以外	474千円 479千円	474千円 479千円	図書 購入費	薬学部 以外	84,517千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	86,230千円 218,869千円	
		薬学部	476千円 477千円	476千円 477千円		薬学部	2,610千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	2,663千円 6,998千円	
	共同研究 費等	薬学部 以外	68,632千円 53,108千円	68,632千円 53,108千円	設備 購入費	薬学部 以外	510,884千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	318,538千円 668,617千円	
		薬学部	12,144千円 9,656千円	12,144千円 9,656千円		薬学部	152,418千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	96,326千円 138,049千円	
	(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-		
理工学部		1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-			
農学部		1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-			
薬学部		2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円			
都市情報学部		1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-			
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-			
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
法学部								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
法学科	4	400	-	1,520	学士(法学)	1.07	平成11年度	
応用実務法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	平成11年度	
経営学部								
経営学科	4	215	-	800	学士(経営学)	1.08	平成12年度	
国際経営学科	4	95	-	365	学士(経営学)	1.13	平成12年度	
経済学部								
経済学科	4	210	-	765	学士(経済学)	1.10	平成12年度	
産業社会学科	4	100	-	400	学士(経済学)	1.15	平成12年度	
理工学部								
数学科	4	90	-	345	学士(理学)	1.02	平成12年度	
情報工学科	4	150	-	585	学士(工学)	1.09	平成16年度	
電気電子工学科	4	150	-	540	学士(工学)	1.07	平成12年度	
材料機能工学科	4	80	-	275	学士(工学)	1.09	平成12年度	
応用化学科	4	70	-	250	学士(工学)	0.86	平成25年度	
機械工学科	4	125	-	485	学士(工学)	1.11	平成12年度	
交通機械工学科	4	125	-	455	学士(工学)	1.04	平成12年度	
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士(工学)	1.02	平成25年度	
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.12	平成12年度	
環境創造学科	4	80	-	350	学士(工学)	1.08	平成12年度	
建築学科	4	145	-	550	学士(工学)	1.10	平成12年度	
農学部								
生物資源学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.10	平成11年度	
応用生物化学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.11	平成11年度	
生物環境科学科	4	110	-	410	学士(農学)	1.06	平成17年度	
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士(薬学)	1.10	平成18年度	
都市情報学部								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9
都市情報学科	4	220	-	820	学士(都市情報学)	1.07	平成7年度	
人間学部								
人間学科	4	220	-	820	学士(人間学)	1.08	平成15年度	
外国語学部								
国際英語学科	4	130	-	260	学士(外国語学)	1.09	平成28年度	

平成28年より  
学生募集停止

大学の名称	名城大学大学院								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
大学院法学研究科 法律学専攻										
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度			
大学院経営学研究科 経営学専攻										
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度			
大学院経済学研究科 経済学専攻										
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度			
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度			
大学院理工学研究科 数学専攻										
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度			
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度			
情報工学専攻										
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度			
電気電子工学専攻										
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度			
材料機能工学専攻										
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度			
応用化学専攻										
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度			
機械工学専攻										
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度			
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度			
交通機械工学専攻										
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度			
メカトロニクス工学専攻										
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度			
社会基盤デザイン工学専攻										
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度			
環境創造学専攻										
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度			
建築学専攻										
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度			

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<都市情報学部 都市情報学科>

##### (1) 専任教員数等

##### (2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
22	4	0	0	26	23	4	0	0	27	23	4	0	0	27
(23)	(4)	(0)	(0)	(27)						[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]

- (注) ・ 「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

##### (2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

##### (2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

##### (3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記(2)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

<都市情報学部 都市情報学科>

### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">都市情報学部都市情報学科（800名→880名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p style="padding-left: 20px;">(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p style="padding-left: 20px;">(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系的な、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p style="padding-left: 40px;">④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p style="padding-left: 20px;">(c) 教員組織の変更内容 教授：22名 准教授：4名 講師：0名 助教：0名 計26名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試(A方式)</td> <td>60</td> <td>674</td> <td>655</td> <td>69</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>一般入試(M方式)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>一般入試(F方式)</td> <td>15</td> <td>532</td> <td>516</td> <td>83</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>一般入試(B方式)</td> <td>15</td> <td>192</td> <td>165</td> <td>16</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>一般入試(C方式)</td> <td>40</td> <td>532</td> <td>531</td> <td>224</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>90</td> <td>128</td> <td>128</td> <td>85</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>220</td> <td>2,058</td> <td>1,995</td> <td>477</td> <td>202</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;">本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系的及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p style="margin-top: 20px;">教授：23名 准教授：4名 講師：0名 助教：0名 計27名</p> <p style="margin-top: 10px;">教授1名の採用に伴い、1名の増員を行いました。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試(A方式)	60	674	655	69	22	一般入試(M方式)	—	—	—	—	—	一般入試(F方式)	15	532	516	83	15	一般入試(B方式)	15	192	165	16	8	一般入試(C方式)	40	532	531	224	71	推薦・特別入試	90	128	128	85	86	合計	220	2,058	1,995	477	202
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試(A方式)	60	674	655	69	22																																												
一般入試(M方式)	—	—	—	—	—																																												
一般入試(F方式)	15	532	516	83	15																																												
一般入試(B方式)	15	192	165	16	8																																												
一般入試(C方式)	40	532	531	224	71																																												
推薦・特別入試	90	128	128	85	86																																												
合計	220	2,058	1,995	477	202																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモন্ズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成 29 年度開設

名城大学 都市情報学部 都市情報学科		
建 物 区 分	認 可 時 の 計 画	変 更 計 画
①天白 1 4 号館	4 2 0 m <sup>2</sup>	8 5 1 m <sup>2</sup>
②ドーム前キャンパス北・東館	1 0, 8 8 9 m <sup>2</sup>	1 3, 7 2 7 m <sup>2</sup>
③可児 1 号館	2, 9 3 4 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
④可児 2 号館	4, 1 9 0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑤可児 3 号館 (A 棟)	7 0 1 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑥可児 3 号館 (B 棟)	1, 8 2 2 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑦都市情報学研究所	3 8 5 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
⑧可児体育館	1, 7 8 3 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
	完成時（平成 33 年 3 月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。  
 ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②ドーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

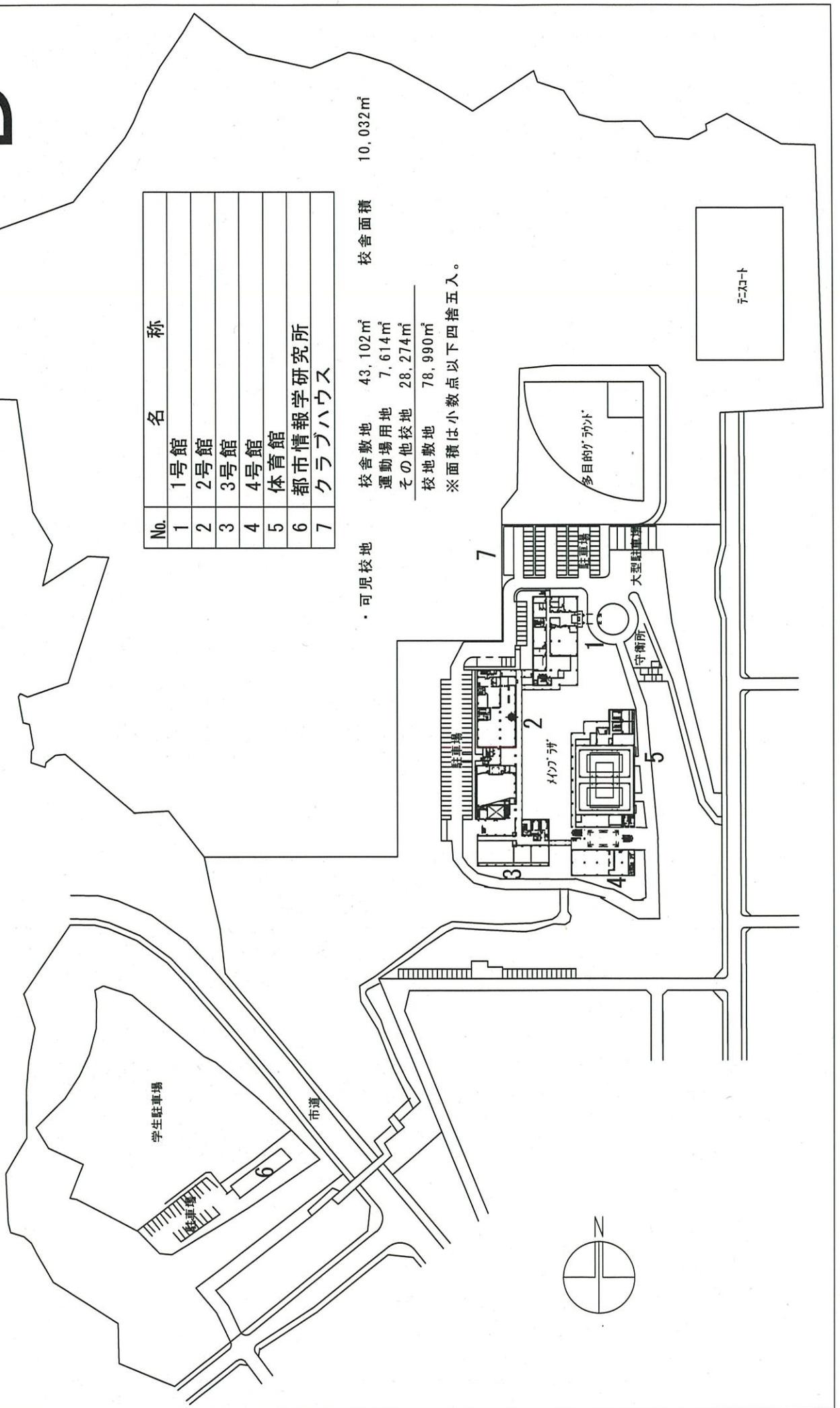
# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡ 校舎面積 10,032㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

※面積は小数点以下四捨五入。

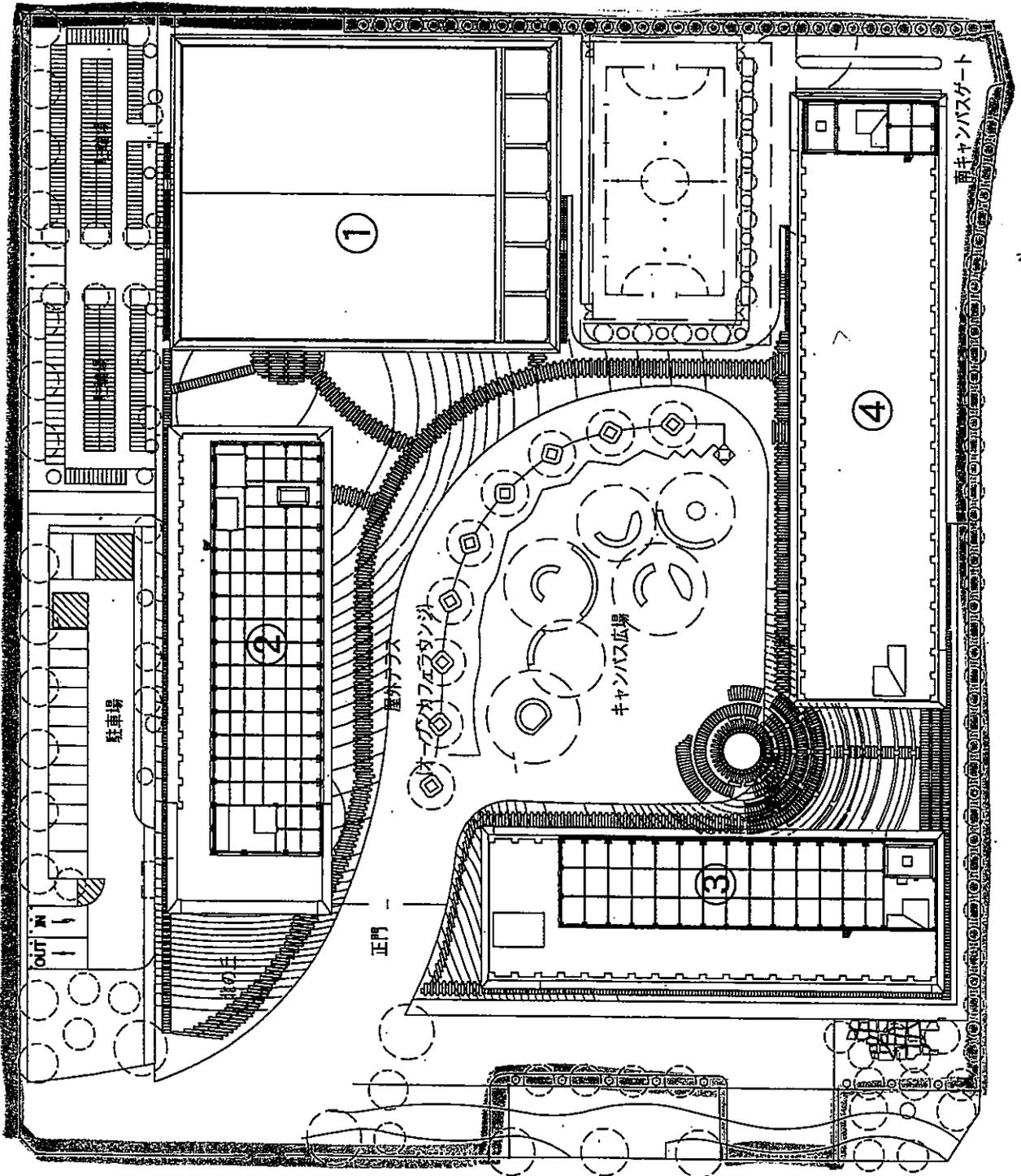
・可児校地



フェニコート

# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス



**大学番号：011**

**認可**

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

名城大学 経営学部 経営学科・国際経営学科  
経済学部 経済学科  
理工学部 数学科・情報工学科・電気電子工学科・  
材料機能工学科・応用化学科・機械工学科・  
交通機械工学科・メカトロニクス工学科・建築学科  
農学部 生物資源学科・応用生物化学科・生物環境科学科  
薬学部 薬学科（6年制）  
都市情報学部 都市情報学科  
人間学部 人間学科

**【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人名城大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	経営本部総合政策部
職名・氏名	課長 <small>スズ</small> 鈴 <small>キ</small> 木 <small>チ</small> 千 <small>トシ</small> 敏
電話番号	052-838-2004
（夜間）	052-838-2004
F A X	052-832-2317
e-mail	oosousei@ccmails.meijo-u.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。  
2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) ○○大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更）)  
3 大学番号の欄については、事務連絡「収容定員に係る学則の変更を行った大学の設置計画履行状況等報告書（平成29年度）の提出について」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 人間学部

<人間学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 施設・設備の整備状況、経費	7
3. 既設大学等の状況	9
4. 教員組織の状況	12
5. 留意事項等に対する履行状況等	13
6. その他全般的事項	14

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人名城大学

## (2) 大学名 名城大学

## (3) 大学の位置

〒461-8534  
愛知県名古屋市東区矢田南四丁目102番9

(〒468-8502  
愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地)

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガサワラ ヒデオ) 小笠原日出男 (平成24年1月)		
学長	(ヨシヒサ コウイチ) 吉久光一 (平成27年4月)		
人間学部長	(ミヤジマ ヒデミツ) 宮嶋秀光 (平成29年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください  
(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位  
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表  
を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成29年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて  
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間学部 人間学科 学士(人間学)	4年	220人	- 年次人	880人	

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( ) 書きで  
記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	200 (-) [-]	-	200 (-) [-]	-	200 (-) [-]	-	220 (-) [-]	-			1.08 倍	
志願者数	1,776 (0) [7]	- (-) [-]	1,200 (0) [3]	- (-) [-]	1,958 (1) [7]	- (-) [-]	2,097 (1) [6]	- (-) [-]				
受験者数	1,735 (0) [6]	- (-) [-]	1,157 (0) [2]	- (-) [-]	1,892 (1) [5]	- (-) [-]	2,017 (1) [4]	- (-) [-]				
合格者数	610 (0) [3]	- (-) [-]	635 (0) [1]	- (-) [-]	605 (0) [1]	- (-) [-]	627 (0) [1]	- (-) [-]				
B 入学者数	212 (0) [3]	- (-) [-]	230 (0) [1]	- (-) [-]	209 (0) [1]	- (-) [-]	240 (0) [1]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.06		1.15		1.04		1.09					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って  
いる場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には  
「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して  
ください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる  
「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)  
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を  
記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けて  
いる場合には, 春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入して  
ください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して  
ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。  
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 3 ] (1) 213	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (0) 230	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (0) 209	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (3) 243	[ - ] ( - ) -	
2年次	[ 5 ] (1) 247	[ - ] ( - ) -	[ 3 ] (1) 213	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (2) 229	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] (2) 208	[ - ] ( - ) -	
3年次	[ 4 ] (5) 216	[ - ] ( - ) -	[ 5 ] (4) 245	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (2) 210	[ - ] ( - ) -	[ 0 ] (5) 231	[ - ] ( - ) -	
4年次	[ 1 ] (25) 232	[ - ] ( - ) -	[ 5 ] (24) 231	[ - ] ( - ) -	[ 5 ] (29) 266	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] (27) 231	[ - ] ( - ) -	
計	[ 13 ] (32) 908	[ - ] ( - ) -	[ 14 ] (29) 919	[ - ] ( - ) -	[ 8 ] (33) 914	[ - ] ( - ) -	[ 4 ] (37) 913	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	212 人	4 人	平成26年度	1 人	0 人	就職(1人)	1.88 %
			平成27年度	2 人	0 人	就学的意思なし(1人)、進路変更(1人)、	
			平成28年度	1 人	0 人	就学的意思なし(1人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	230 人	3 人	平成27年度	3 人	1 人	経済的都合(1人)、進路変更(2人)	1.30 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	209 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	240 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	891 人	7 人					0.78 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少 (29)					
	校 舎 敷 地	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	180,763.77㎡ <del>222,617.33㎡</del>						
	運 動 場 用 地	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	167,348.29㎡ <del>174,962.29㎡</del>						
	小 計	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	348,112.06㎡ <del>397,579.62㎡</del>						
	そ の 他	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	129,642.60㎡ <del>157,916.92㎡</del>						
	合 計	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	477,754.66㎡ <del>555,496.54㎡</del>						
(2) 校 舎	専 用	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	232,261.33㎡ <del>238,413.83㎡</del>	下記2点に伴う、面積の変 更 (29) ・新築建物建設 (1棟) 及 び用途変更 (1棟) による 専用面積の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 専用面積の減少					
	(232,261.33㎡) (238,413.83㎡)	(0.00㎡)	(0.00㎡)	(232,261.33㎡) (238,413.83㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	171室 <del>187室</del>	演 習 室	154室 <del>187室</del>	実験実習室	231室 <del>230室</del>	情報処理学習施設	26室 <del>29室</del>	語学学習施設	5室	大学全体 下記2点に伴う、部屋数の 変更 (29) ・新築建物建設 (1棟) に よる部屋数の増加 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 部屋数の減少
	(補助職員 9人)	(補助職員 5人)									
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の増員に伴う室 数の増加 (29)					
	大学全体			470 449 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電子 ジャーナル 都市情報学部分館の閉 館、ナゴヤドーム前キャン パス図書館の開館に伴 う変更。(29) 視聴覚資料 再点検の結果、点数を修 正したことによる変更。 (29) 機械・器具 ・新築建物建設 (1棟) に よる増加 (29) 標本 ・H28度に除却処理をした ため (29)			
	大学全体	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>				
	計	1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	28,114 <del>12,150</del>	14,040 <del>12,601</del>	120 <del>123</del>				
		1,161,366 [371,199] <del>1,047,360 [366,875]</del>	22,244 [6,800] <del>22,030 [6,731]</del>	19,189 [19,176] <del>16,775 [15,956]</del>	(28,114) (12,150)	(14,030) (12,591)	120 (123)				
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 面積 学部移転に伴う、都市情 報学部分館の閉鎖による 減少 (29) 閲覧座席数・収納可能冊 数 都市情報学部分館の閉館 及びナゴヤドーム前キャン パス図書館開館に伴う 変更。(29)					
	15,504.27㎡ <del>16,947.65㎡</del>	1,668席 <del>1,545席</del>		1,575,305冊 <del>1,533,833冊</del>							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 ・学部移転に伴う、可児 キャンパスの閉鎖による 面積の減少 (29)					
	8,345.18㎡ <del>10,128.26㎡</del>	テ ニ ス コ ー ト プ ー ル									

	区分	学部名	開設年度	完成年度	区分	学部名	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 修正理由：平成28年度 決算及び、平成29年度 予算の確定による変更
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	教員 1人当り 研究費等	薬学部	474千円	474千円	図書 購入費	薬学部	84,517千円	86,230千円	86,230千円
			以外	479千円	479千円		以外	218,869千円	218,869千円	218,869千円
		共同研究 費等	薬学部	476千円	476千円	設備 購入費	薬学部	2,610千円	2,663千円	2,663千円
			以外	477千円	477千円		以外	6,998千円	6,998千円	6,998千円
			薬学部	68,632千円	68,632千円		薬学部	510,884千円	318,538千円	318,538千円
			以外	53,108千円	53,108千円		以外	668,617千円	668,617千円	668,617千円
		薬学部	12,144千円	12,144千円		薬学部	152,418千円	96,326千円	96,326千円	
			9,656千円	9,656千円			138,049千円	138,049千円	138,049千円	
	学生 1人 当り 納付 金	学部名	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		法学部 経営学部 経済学部	1,045千円	845千円	845千円	845千円	-	-		
		理工学部	1,445千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	-	-		
		農学部	1,485千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	-	-		
		薬学部	2,100千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	2,200千円	1,900千円		
		都市情報学部	1,345千円	1,145千円	1,145千円	1,145千円	-	-		
人間学部		1,105千円	905千円	905千円	905千円	-	-			
外国語学部		1,390千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	名城大学								備考			
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地				
	年	人	年次人	人		倍						
法学部									平成28年より 学生募集停止			
法学科	4	400	-	1,520	学士 (法学)	1.07	平成 11年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地				
応用実務法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	平成 11年度					
経営学部										愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
経営学科	4	215	-	800	学士 (経営学)	1.08	平成 12年度					
国際経営学科	4	95	-	365	学士 (経営学)	1.13	平成 12年度					
経済学部											愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	
経済学科	4	210	-	765	学士 (経済学)	1.10	平成 12年度					
産業社会学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	1.15	平成 12年度					
理工学部												愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
数学科	4	90	-	345	学士 (理学)	1.02	平成 12年度					
情報工学科	4	150	-	585	学士 (工学)	1.09	平成 16年度					
電気電子工学科	4	150	-	540	学士 (工学)	1.07	平成 12年度					
材料機能工学科	4	80	-	275	学士 (工学)	1.09	平成 12年度					
応用化学科	4	70	-	250	学士 (工学)	0.86	平成 25年度					
機械工学科	4	125	-	485	学士 (工学)	1.11	平成 12年度					
交通機械工学科	4	125	-	455	学士 (工学)	1.04	平成 12年度					
メカトロニクス工学科	4	80	-	305	学士 (工学)	1.02	平成 25年度					
社会基盤デザイン工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.12	平成 12年度					
環境創造学科	4	80	-	350	学士 (工学)	1.08	平成 12年度					
建築学科	4	145	-	550	学士 (工学)	1.10	平成 12年度					
農学部												
生物資源学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.10	平成 11年度					
応用生物化学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.11	平成 11年度					
生物環境科学科	4	110	-	410	学士 (農学)	1.06	平成 17年度					
薬学部								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地				
薬学科(6年制)	6	265	-	1,515	学士 (薬学)	1.10	平成 18年度					
都市情報学部									愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9			
都市情報学科	4	220	-	820	学士 (都市情報学)	1.07	平成 7年度					
人間学部										愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9		
人間学科	4	220	-	820	学士 (人間学)	1.08	平成 15年度					
外国語学部											愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番地9	
国際英語学科	4	130	-	260	学士 (外国語学)	1.09	平成 28年度					

大学の名称	名城大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院法学研究科 法律学専攻									
修士課程	2	15	-	30	修士(法学)	0.33	昭和42年度		
博士後期課程	3	8	-	24	博士(法学)	0.04	昭和44年度		
大学院経営学研究科 経営学専攻									
修士課程	2	20	-	40	修士(経営学)	0.72	平成13年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度		
大学院経済学研究科 経済学専攻									
修士課程	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	平成12年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士(経済学)	0.22	平成14年度		
大学院理工学研究科 数学専攻									
博士前期課程	2	8	-	16	修士(理学)	0.87	平成14年度		
博士後期課程	3	2	-	6	博士(理学)	0.00	平成7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.73	平成14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士(工学)	1.50	平成14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	1.26	平成14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	-	24	修士(工学)	1.04	平成29年度		
機械工学専攻									
修士課程	2	24	-	44	修士(工学)	1.32	平成14年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士(工学)	0.40	平成4年度		
交通機械工学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	1.18	平成14年度		
メカトロニクス工学専攻									
修士課程	2	20	-	20	修士(工学)	1.15	平成29年度		
社会基盤デザイン工学専攻									
修士課程	2	18	-	38	修士(工学)	0.61	平成14年度		
環境創造学専攻									
修士課程	2	8	-	18	修士(工学)	0.60	平成14年度		
建築学専攻									
修士課程	2	16	-	32	修士(工学)	0.56	平成14年度		

愛知県名古屋市  
天白区塩釜口  
一丁目501番地

大学院理工学研究科 電気電子・情報・材料工学専攻 博士後期課程	3	10	-	30	博士 (工学)	0.30	平成 5年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
社会環境デザイン工学専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	平成 4年度	
大学院農学研究科 農学専攻 修士課程	2	20	-	40	修士 (農学)	1.17	昭和 48年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (農学)	0.20	昭和 51年度	
大学院薬学研究科 薬学専攻 博士課程(4年制)	4	4	-	16	博士 (薬学)	1.56	平成 24年度	愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
大学院都市情報学研究科 都市情報学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (都市情報学)	0.56	平成 11年度	愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (都市情報学)	0.16	平成 13年度	
大学院人間学研究科 人間学専攻 修士課程	2	8	-	16	修士 (人間学)	0.37	平成 23年度	
大学院総合学術研究科 総合学術専攻 博士前期課程	2	8	-	16	修士 (学術)	0.18	平成 14年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
博士後期課程	3	4	-	12	博士 (学術)	0.25	平成 14年度	
大学院法務研究科 法務専攻 専門職学位課程	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成 16年度	平成29年より 学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<人間学部 人間学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	7	0	3	21	12	7	0	3	22	12	7	0	3	22
(12)	(7)	(0)	(3)	(22)						[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 ※H7.4.1以前 採用者：72歳 ※H7.4.2～H17.4.1 採用者：68歳	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合・定年退職者については、後任の専任教員を新規採用するとともに、カリキュラム運営上必要のある場合は、非常勤講師等を採用し学生への履修影響のないように努めるものとする。学生への周知方法については、時間割表及びシラバス等を用いる。
--

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成28年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 6 その他全般的事項

### <人間学部 人間学科>

#### (1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																																
<p>記入例)</p> <p>① 学則変更（収容定員変更）の内容</p> <p>人間学部人間学科（800名→880名）</p> <p>② 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容</p> <p>(a) 教育課程の変更内容 変更なし</p> <p>(b) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 今回の収容定員に伴う教育課程の変更は行いませんが、教育の質の維持・向上に向けて、全学的に以下の取り組みを行っています。</p> <p>①教育課程の検証 平成28年度から、各学部において「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動を行うこととなっており、教育課程の体系性や、人材養成目的・ディプロマポリシーと教育課程との関連性等を検証していきます。</p> <p>②シラバスの作成と点検 本学では、シラバスを教育の質保証を果たすための重要なツールとして位置付けており、全学的に項目や体裁を統一するための「シラバス作成要項」に基づいて、専任教員及び非常勤講師が作成しています。作成されたシラバスは、各学部の事務職員及び教務委員等の教員が点検する体制になっており、学生の履修指導や準備学習・事後学習等の学習支援に活用されるようシラバスの充実を図っています。</p> <p>③FD活動 本学のFD活動は、全学のFD委員会と各学部のFD委員会において推進しており、授業改善アンケートやFDフォーラム、FD学習会等を実施して、教育内容・方法の改善や教員の資質向上を図っています。</p> <p>④自律的な英語学習支援 英語の自律的な学習機会の提供を目的として、平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置します。グローバルプラザでは、自律的な英語学習支援の先駆である神田外語大学の教員を配置して、英語学習へのアドバイスや英語への興味を持たせるセミナー・ワークショップの開催、英語ネイティブとの英会話練習を行うことに加えて、多読用英語図書、英語資格関連図書、DVD等の教材や、スピーキングブース・マルチパーパスルーム等の設備も充実させます。</p> <p>(c) 教員組織の変更内容 教授：11名 准教授：7名 講師：0名 助教：3名 計21名</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>入試区分</th> <th>募集定員</th> <th>志願者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般入試 (A方式)</td> <td>80</td> <td>791</td> <td>778</td> <td>242</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (M方式)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (F方式)</td> <td>25</td> <td>618</td> <td>606</td> <td>133</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (B方式)</td> <td>13</td> <td>158</td> <td>105</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>一般入試 (C方式)</td> <td>17</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>133</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>推薦・特別入試</td> <td>85</td> <td>180</td> <td>178</td> <td>104</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>220</td> <td>2,097</td> <td>2,017</td> <td>627</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>本学では、収容定員変更計画時に掲げた教育の質の維持・向上に向け、以下のように全学的に取り組んでいます。</p> <p>①「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検活動については、平成29年1月27日開催の第17回定例学部長会において、教育課程の体系性及び明瞭性等について、意見交換を行いました。</p> <p>②シラバスについては、定員変更計画時のおり、専任教員及び非常勤講師が「シラバス作成要項」に基づき作成し、各学部教職員による点検活動を実施しています。</p> <p>③FD活動については、授業受講学生を対象にした授業改善アンケートを毎年前期及び後期の2回実施しています。また、本学学生及び教職員並びに他大学教職員を対象にしたFDフォーラム及びFD学習会を毎年開催しています。</p> <p>④平成28年4月に天白キャンパス及びナゴヤドーム前キャンパスにグローバルプラザを設置し、延べ11,775名が利用しました。（平成29年5月時点）</p> <p>教授：12名 准教授：7名 講師：0名 助教：3名 計22名</p> <p>准教授1名の昇格及び准教授1名の採用に伴い、内訳の変更及び1名の増員を行いました。</p>	入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	一般入試 (A方式)	80	791	778	242	86	一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—	一般入試 (F方式)	25	618	606	133	24	一般入試 (B方式)	13	158	105	15	13	一般入試 (C方式)	17	350	350	133	13	推薦・特別入試	85	180	178	104	104	合計	220	2,097	2,017	627	240
入試区分	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数																																												
一般入試 (A方式)	80	791	778	242	86																																												
一般入試 (M方式)	—	—	—	—	—																																												
一般入試 (F方式)	25	618	606	133	24																																												
一般入試 (B方式)	13	158	105	15	13																																												
一般入試 (C方式)	17	350	350	133	13																																												
推薦・特別入試	85	180	178	104	104																																												
合計	220	2,097	2,017	627	240																																												

<p>③ 施設・設備の対応</p> <p>講義室、演習室等の施設については、平成29年4月時点で講義室187室、演習室187室、実験実習室230室、情報処理学習施設29室、語学学習施設5室を整備しており、収容定員を増加した後も、その施設・設備を活用することで、収容定員変更前の教育研究環境と同等の環境を担保することができます。</p> <p>また、今後の各キャンパスに係る再開発計画では、平成28年度のナゴヤドーム前キャンパス開設（平成29年に都市情報学部、人間学部が移転予定）をはじめとして、国際化の拠点としたグローバルプラザの設置（天白キャンパス・ナゴヤドーム前キャンパス）、学生の自立的学習支援施設であるラーニングコモন্ズの設置（ナゴヤドーム前キャンパス）、研究実験設備の充実や耐震化を目的とした研究実験棟Ⅲ（天白キャンパス）や新本館（附属農場）の建設等を予定しており、教育の質向上に向けて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p> <p>校地・校舎の面積についても、大学設置基準に定められている変更後の収容定員に基づく基準面積校地140,100㎡、校舎111,732㎡に対して、校地555,496.54㎡、校舎238,413.83㎡と大きく上回る面積を整備しており、収容定員を変更した後も、上記の施設・設備と合わせて十分な教育環境を整えています。</p>	<p>可児キャンパスの閉鎖及びナゴヤドーム前キャンパス南館の建設に伴い、平成29年5月時点では大学全体で講義室171室、演習室154室、実験実習室231室、情報処理学習施設26室、語学学習施設5室、校地477,754.66㎡、校舎232,261.33㎡に変更となりました。室数及び面積は減少しましたが、人間学部が天白キャンパスから、都市情報学部が可児キャンパスから、それぞれナゴヤドーム前キャンパスへの移転を行い、また、天白キャンパスでは新校友会館を建設するなど、定員変更計画時と同等の教育研究環境を担保しています。</p> <p>今後も教育の質向上に向け、各キャンパスにおいて施設・設備の更なる充実を図っていきます。</p>
---	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあった  
 に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って  
 適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## 建築等設置計画変更書

平成29年度開設

名城大学 人間学部 人間学科		
建物区分	認可時の計画	変更計画
①天白14号館	420㎡	851㎡
②ドーム前キャンパス北・東館	10,889㎡	13,727㎡
③可児1号館	2,934㎡	0㎡
④可児2号館	4,190㎡	0㎡
⑤可児3号館（A棟）	701㎡	0㎡
⑥可児3号館（B棟）	1,822㎡	0㎡
⑦都市情報学研究所	385㎡	0㎡
⑧可児体育館	1,783㎡	0㎡
	完成時（平成33年3月時）における変更  ① 用途変更による面積増加のため ② 建築面積が具体化されたため ③～⑧ キャンパス移転のため	

(注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，上記様式により提出してください。

ただし，面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には，この書類の提出は不要です。

2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を，建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。

3 校地の計画の変更が生じる場合には，「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に，「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

新旧対照表

建物	項目	新	旧	備考
①天白14号館	面積	420㎡	851㎡	用途変更による面積増加のため
②ドーム前キャンパス北・東館	面積	10,889㎡	13,727㎡	建築面積が具体化されたため
③可児1号館	面積	2,934㎡	0㎡	キャンパス移転のため
④可児2号館	面積	4,190㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑤可児3号館（A棟）	面積	701㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑥可児3号館（B棟）	面積	1,822㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑦都市情報学研究所	面積	385㎡	0㎡	キャンパス移転のため
⑧可児体育館	面積	1,783㎡	0㎡	キャンパス移転のため

# 名城大学可児キャンパス全体配置図 1 : 2500

□ : 大学所有の校地

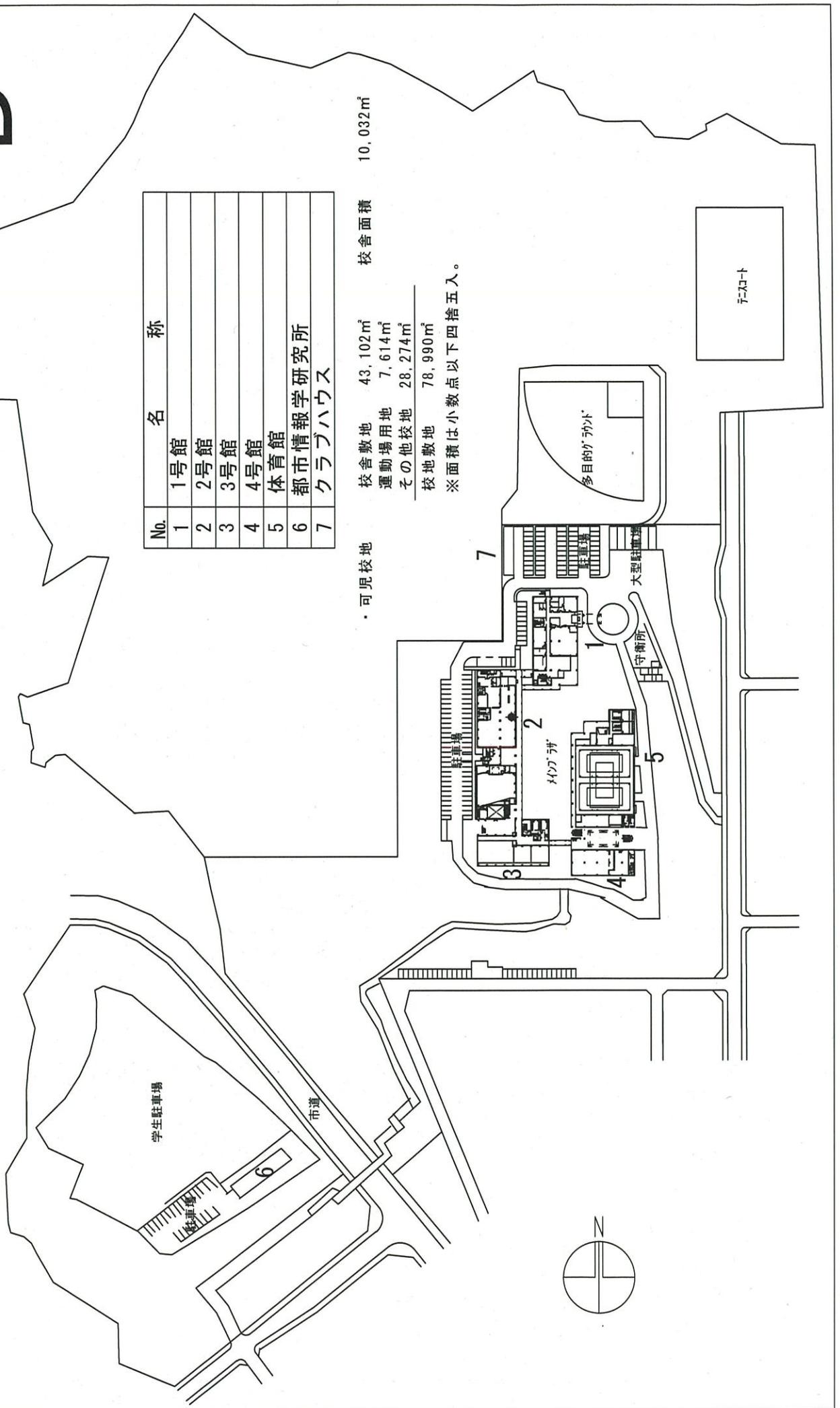
# D

No.	名称
1	1号館
2	2号館
3	3号館
4	4号館
5	体育館
6	都市情報学研究所
7	クラブハウス

校舎敷地 43,102㎡ 校舎面積 10,032㎡  
 運動場用地 7,614㎡  
 その他校地 28,274㎡  
 校地敷地 78,990㎡

※面積は小数点以下四捨五入。

・可児校地

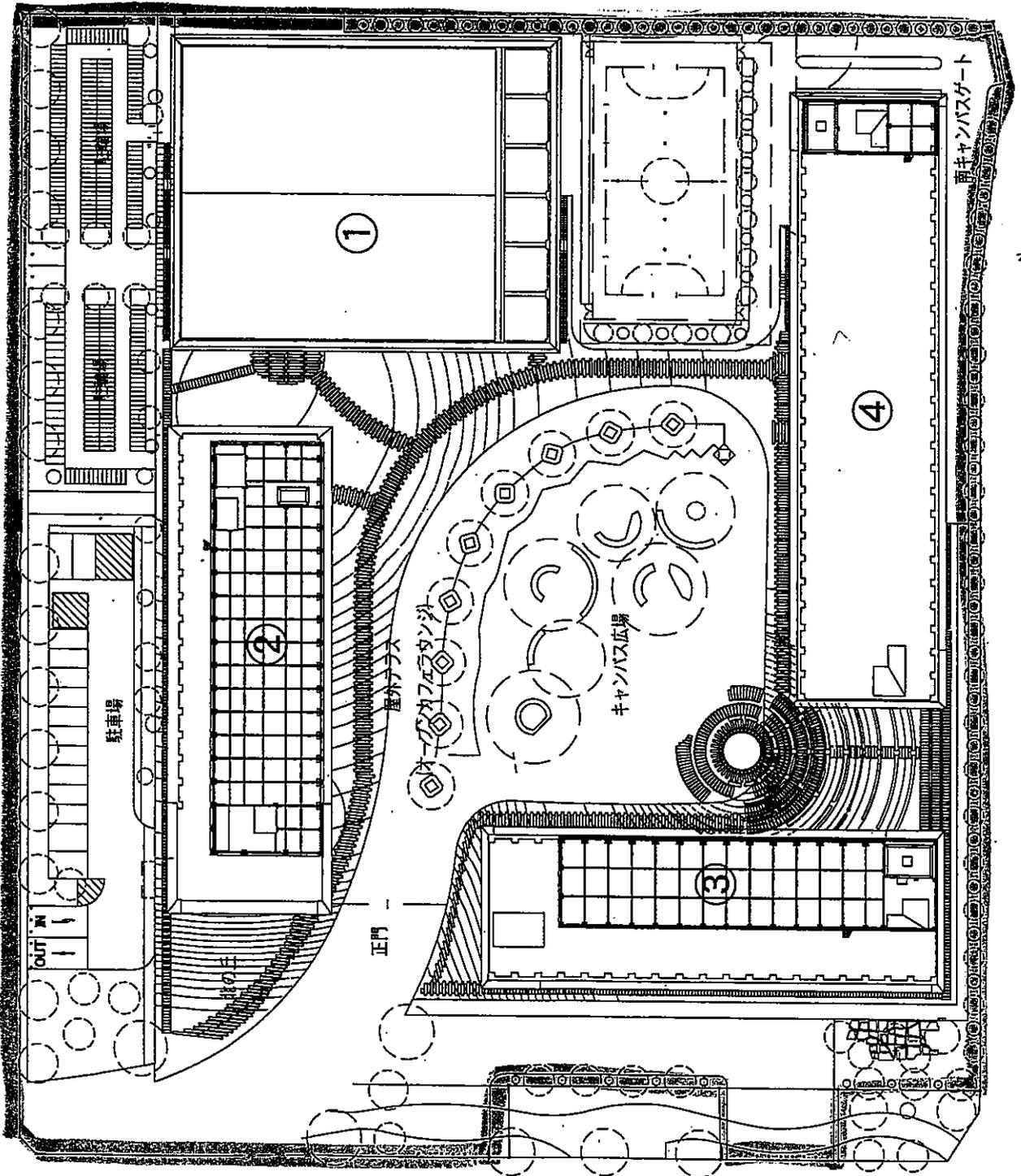


テニスコート



# 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

# K



▨ : 大学所有の校地

No.	名称
①	東館 (仮称) [地上4階、一部地下1階]
②	北館 (仮称) [地上5階]
③	西館 (仮称) [地上7階]
④	南館 (仮称) [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス

